

令和4年度

# 遠野の教育



遠野市教育委員会

遠野市教育委員会関係機関 共通ロゴマーク  
(平成27年7月10日制定)



子育て総合支援センター、保育協会、総合食育センター、教育委員会の4つの教育機関を4枚の葉で表し、4つの教育機関に共通する「育」の字を中央に配しました。

幸せの四つ葉のクローバーのように、「遠野の子どもたちが幸せに育つように」という思いを込めています。

《表紙写真の紹介》

GIGAスクールの学習用端末(パソコン)を使用した授業が本格的に始まっています。(写真は、宮守小学校の様子)

( 遠野市総務企画部経営企画課 撮影 )

# 遠野市民憲章

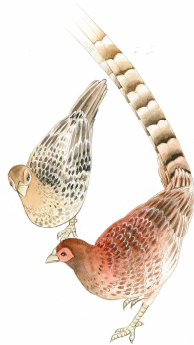
わたくしたちは、悠久の時を越えて継承してきたうるわしい郷土と、伝統ある文化に誇りを持ち、このすばらしい宝<sup>たから</sup>玉を、さらに「永遠<sup>にほん</sup>の日本のふるさと遠野」として、創造・発展させるため、ここに、この憲章をさだめます。

わたくしたちは

- 1 豊かな自然を愛し、平和で住みよいまちをつくります。
- 1 心と体をきたえ、温かい家庭と明るいまちをつくります。
- 1 創意をあつめ、産業と交流の元気なまちをつくります。
- 1 恵まれた文化を活かし、夢を育む学びのまちをつくります
- 1 共に考え支えあって、未来を望む協働のまちをつくります。



市の木「いちい」



市の鳥「やまどり」



市の花「やまゆり」

## 遠野市民歌

作詞・作曲 船越由佳

深き霞 天にほどき

そびゆる蒼き早池峰

希望を乗せ 風よ飛び立て

朝露ゆらし 彼方へ

透きとおる夏に

憧れを追いかけて

黄金<sup>こがね</sup>の秋

遥かな明日を祈った

いとしき人よ ほほえむ人よ

いつも心で寄り添い合えば

瞳に光る まばゆき遠野

燃ゆる残照 水面に抱き

流るる清き猿ヶ石

木々よ眠れ 夢を受け継ぎ

遠き未来へ語ろう

雪明かりの冬

銀河をかすめる流星<sup>ほし</sup>

芽吹く春に

願いはかなうと信じた

優しき友よ 変らぬ友よ

いつも心で名前を呼べば

めぐる季節に きらめく遠野

今日も日は沈み

ひとつずつ灯はともり

そしてまた日は昇る

やまゆり照らして

いとしき人よ 優しき友よ

いつも心で君を想えば

瞳に光る まばゆき遠野

## 【目次】

---

1	遠野市の状況	1
	遠野市の概況と特性、遠野市の人口構造	1
	遠野市の沿革、面積と土地利用、気象の状況	2
2	遠野市の教育行政	3
	(1) 第2次 遠野市総合計画（後期基本計画）	3
	(2) 第2期 遠野市教育振興基本計画	4
	(3) 令和4年度遠野市教育行政推進の基本方針	8
	(4) 教育委員会及び関係機関等	13
	(5) 教育委員会の関係付属機関	14
	(6) 遠野市教育委員会機構図（令和4年4月1日現在）	16
	(7) 総合教育会議	17
	(8) 各種事業の推進	18
3	学校教育	19
	(1) 令和4年度遠野市「学校教育指導指針」	19
	Ⅰ 遠野市「学校教育目標」	19
	Ⅱ 遠野市「学校教育目標達成に向けた視点」	19
	Ⅲ 遠野市「学校教育目標達成に向けた取組の重点」	20
	Ⅳ 遠野市「学校教育目標達成に向けた取組の重点」に係る指標等	21
	Ⅴ 遠野市学校教育指導指針に係る学校教育構想図	23
	(2) 事業・具体的取組・関連事業等	24
	Ⅰ 全体像	24
	Ⅱ 主要事業	25
	i 学校経営の質的向上	25
	ii 確かな学力の育成	26
	iii 豊かな人間性の育成	27
	iv 特別支援教育の充実	29
	v 健やかな体の育成	30
	Ⅲ 遠野市授業づくりスタンダード	31
	(3) 遠野市教育研究所	32
	(4) 学校保健	38
	(5) 奨学資金	40

(6) 学校一覧	41
(7) 市立小・中学校、県立高等学校要覧	42
遠野市立遠野小学校	42
遠野市立遠野北小学校	43
遠野市立綾織小学校	44
遠野市立小友小学校	45
遠野市立附馬牛小学校	46
遠野市立土淵小学校	47
遠野市立青笹小学校	48
遠野市立上郷小学校	49
遠野市立宮守小学校	50
遠野市立達曾部小学校	51
遠野市立鱒沢小学校	52
遠野市立遠野中学校	53
遠野市立遠野東中学校	54
遠野市立遠野西中学校	55
岩手県立遠野高等学校	56
岩手県立遠野緑峰高等学校	57
(8) 参考資料	58
① 遠野市生徒指導推進協議会組織図	58
② 遠野市教育相談ネットワーク	59
③ いじめ問題への対応について	60
4 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）	61
5 学校教育課の運営方針と計画	63
6 総務企画部（管財課） / 学校総務課の運営方針と計画	65
7 学校給食センターの運営方針と計画	67
8 社会教育行政（市民センター生涯学習スポーツ課）の運営方針と計画	69
9 文化行政（市民センター文化課 / こども本の森運営企画室）の運営方針と計画	71
10 少子化対策・こども・子育て支援（健康福祉部子育て支援課）の運営方針と計画	74

# 1 遠野市の状況

## ○ 遠野市の概況と特性

遠野市の市域は、東西、南北ともに約38km、総面積は825.97km<sup>2</sup>となっています。

本県を縦断する隆起準平野といわれる北上高地の中南部に位置し、標高1,917mの早池峰山を最高峰に、標高300m～700mの高原群が周りを取り囲み、東は釜石市と上閉伊郡大槌町に、南は奥州市と気仙郡住田町に、西は花巻市に、北は宮古市に接しています。

市域の中央に遠野盆地があり、中心市街地が形成されています。また、北上川の支流である猿ヶ石川は、早瀬川、小友川、宮守川、達曾部川など大小多くの河川と合流しながら西走し、それらの河川沿いを中心に耕地と集落が形成されています。

冷涼な気候と豊かな自然環境を生かした農林業を基幹産業とし、米を中心に、野菜、ホップや葉たばこなどの農産物と畜産を組み合わせた複合経営がされており、日本一の乗用馬生産地として知られています。

また、四季が織り成す豊かで美しい広大な自然は、日本の原風景として全国の多くの人々に親しまれて、令和2年6月に発刊110周年を迎えた柳田國男の『遠野物語』に代表される、地域に息づく豊富な有形・無形の資源を生かした、歴史と文化によるまちづくりに取り組んでいます。

幹線交通網として、花巻市と釜石市を結ぶJR釜石線及び国道283号が市域を東西に横断するほか、鱒沢地区、小友地区を通り北上市以西方面と大船渡市方面を結ぶ国道107号、住田町から市の東部を南北縦断して宮古市を結ぶ国道340号（平成30年11月29日復興支援道路として全線開通）、綾織地区から達曾部地区を経て盛岡市方面を結ぶ国道396号などがあります。

また、釜石市から秋田県秋田市までを結ぶ総延長211kmの「東北横断自動車道釜石秋田線」が平成31年3月9日に全線開通しました。

（出典：第2次遠野市総合計画 後期基本計画及び2021 遠野市勢要覧【統計編】）

## ○ 遠野市の人口構造

国勢調査による遠野市の人口は、平成22年が29,331人、平成27年では28,062人、令和2年では25,366人と人口減少は加速化傾向にあります。

また、国立社会保障・人口問題研究所による将来見通しでは、少子高齢化が進行し、令和12年には年少人口（0～14歳人口）比率が9.9%、生産年齢人口（15～64歳）比率が46.3%、高齢人口（65歳以上）比率が43.8%になるものと推測されています。

こうした人口減少・少子高齢化の流れの中において、遠野市で暮らす人々がよりよい生活を築いていくためには、地域資源を生かした産業の振興と雇用の確保を図り、市民所得の向上、定住人口・交流人口の拡大等に取り組むとともに、保健・医療・福祉に関する施策の充実や、学校・家庭・地域の連携協力のもと、保育・教育に関する施策の推進を図り、遠野の未来を担う子どもたちを安心して産み、育てることができる環境の整備に引き続き取り組んでいくことが求められます。

## 遠野市の沿革

	遠野市	宮守村
明治初期	30あまりの小村	上宮守村、下宮守村、達曾部村、上鱒沢村、下鱒沢村の5村
町村制 (明治22年)	遠野町、松崎村、綾織村、小友村、附馬牛村、土淵村、青笹村、上郷村の1町7村	宮守村、達曾部村、鱒沢村の3村
昭和の大合併	遠野市(昭和29年12月1日)	宮守村(昭和30年2月11日)
平成の大合併	遠野市(平成17年10月1日)	

	人口(人)			0～14歳 (人)	15～64歳 (人)	65歳以上 (人)	世帯数 (世帯)
	男	女	合計				
平成24年	14,282	15,464	29,746	3,280	16,400	10,066	10,705
平成25年	14,209	15,378	29,587	3,223	16,171	10,193	10,795
平成26年	14,107	15,203	29,310	3,180	15,850	10,280	10,875
平成27年	13,863	14,967	28,830	3,065	15,376	10,389	10,845
平成28年	13,779	14,750	28,529	3,005	14,979	10,545	10,886
平成29年	13,576	14,522	28,098	2,927	14,615	10,556	10,890
平成30年	13,259	14,245	27,504	2,815	14,138	10,551	10,809
平成31年	12,964	13,935	26,899	2,717	13,688	10,494	10,749
令和2年	12,711	13,667	26,378	2,618	13,313	10,447	10,759
令和3年	12,481	13,415	25,896	2,535	12,916	10,445	10,716
令和4年	12,271	13,058	25,329	2,404	12,472	10,453	10,679

資料：住民基本台帳（各年3月31日現在）

## 面積と土地利用の状況

(単位：km<sup>2</sup>)

	総面積	田	畑	宅地	山林	牧場	原野 雑種地	その他
面積	825.97	38.88	28.70	9.84	428.17	18.70	56.09	245.59
構成割合	100.0%	4.7%	3.5%	1.2%	51.8%	2.3%	6.8%	29.7%

資料：総務部税務課「土地に関する概要調査報告書」（令和3年1月1日現在）

## 近年の気象の状況

	気温(℃)			日照時間 (h)	降水量 (mm)
	最高極	最低極	平均		
平成29年	33.2	-18.0	9.4	1,556.5	1,087.0
平成30年	34.9	-17.9	9.9	1,700.3	1,121.5
令和元年	34.1	-13.0	10.0	1,716.5	1,018.5
令和2年	33.7	-13.2	10.3	1,482.3	1,276.0
令和3年	34.2	-22.3	10.1	1,489.2	1,339.5

資料：盛岡地方気象台

## 2 遠野市の教育行政

### (1) 第2次 遠野市総合計画（後期基本計画）

少子高齢化、高度情報化社会の急速な進展や国際化の潮流など社会が大きく変化する中、地球温暖化による異常気象にともなう自然災害の増加・拡大化や新型コロナウイルス感染症への対応など、市民を取り巻く環境も大きく変化しています。

このように先行きの見えない状況の変化に柔軟に対応し、地域の特性や資源を生かしながら、市民と行政が協働・連携し、将来予測をしっかりと持ったまちづくりを推進するため、平成27年6月に「第2次遠野市総合計画 基本構想(平成28年度～令和7年度)」を策定し、令和2年12月には令和3～7年度の5ヵ年を計画期間とする「後期基本計画」を策定しました。

遠野市の教育行政は、「第2次遠野市総合計画 基本構想」及び「後期基本計画」の各大綱、政策及び施策に基づき各種事業を推進します。

### 第2次 遠野市総合計画（後期基本計画）の体系

◀ 基本理念 ▶ 遠野スタイルの創造・発展

◀ 将来像 ▶ 永遠の日本のふるさと遠野

▷ 教育行政関連大綱 / 政策 / 施策

大綱2	健やかに人が輝くまちづくり
政策1	健康づくりの推進
施策1	健康づくり活動の推進
政策3	子育て支援の推進
施策1	少子化対策・子育て支援
施策2	児童・母子等福祉の充実
大綱4	ふるさとの文化を育むまちづくり
政策1	ふるさと教育の推進
施策1	就学前教育の充実
施策2	学校教育の充実
政策2	生涯学習の推進
施策1	社会教育の充実
施策2	芸術文化活動の推進
政策3	ふるさと文化の継承・創造
施策1	文化的資料の保存と活用
施策2	文化財の保護
施策3	歴史の継承と人づくり



## (2) 第2期 遠野市教育振興基本計画

遠野市教育委員会では、平成28年3月に「第2期 遠野市教育振興基本計画」を策定しました。この計画は、遠野市が目指すべき将来像の実現に向けたまちづくりの基本方針として策定された「第2次遠野市総合計画」（計画期間：平成28年度から令和7年度までの10年間）との整合性を図りながら、遠野市の教育振興に関する基本理念と基本方針を定めるとともに、その達成に向けた各種施策とその展開の方向性について示すものです。

<p><b>【計画期間】</b> 平成28年度から令和7年度までの10年間 (第2次遠野市総合計画(前期/後期基本計画)と連動)</p> <p><b>【計画の位置づけ】</b> ・教育基本法第17条第2項の規定に基づく「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」 ・「基本理念」及び「基本方針」を、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定に基づき首長が策定する「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」として位置づける。</p> <p><b>【第2次遠野市総合計画(前期/後期基本計画)との連動】</b> 第2次遠野市総合計画との整合性を図り、同計画の基本構想に定める5つの大綱のうち、下記の2つの大綱に関わる基本計画に登載の政策・施策を推進する。 ・大綱2「健やかに人が輝くまちづくり」 (健康づくり、生涯スポーツ、少子化対策、子育て支援など) ・大綱4「ふるさとの文化を育むまちづくり」 (就学前教育、学校教育、生涯学習、芸術文化、文化財の保護など)</p>
--

## 第2期 遠野市教育振興基本計画の体系

◀ 基本理念 ▶ ふるさとの文化を生かし、  
『夢』と『誇り』を育む学びのまちづくり

### ▷ 基本方針 / 政策

1	ふるさと教育の推進	政策 (1) 就学前教育の充実 (2) 学校教育の充実 (3) 高等学校への支援
2	生涯学習の推進	政策 (1) 社会教育の充実 (2) 芸術文化活動の推進
3	ふるさとの文化の継承・創造	政策 (1) 文化的資料の保存と活用 (2) 文化財の保護 (3) 歴史の継承と人づくり
4	健康づくりの推進	政策 (1) 健康づくり活動の推進
5	子育て支援の推進	政策 (1) 少子化対策・子育て支援 (2) 児童・母子等福祉の充実

## 基本理念

# ふるさとの文化を生かし、 『夢』と『誇り』を育む 学びのまちづくり

教育基本法の理念に基づき、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進します。

遠野市における最上位の計画に位置づけられ、市の目指すまちづくりの目標とその実現に向けた政策を示す「遠野市総合計画」の基本理念に基づき「学びのまちづくり」を進めます。

少子高齢化の進行など、社会環境の大きな変化の中で、新しい時代を切り拓いていく心豊かでたくましい人間を育てていくことを目指し、すべての人が安全、安心でゆとりある子育てができる支援と環境整備を、地域を含めた社会全体で進めます。

市民一人ひとりが、郷土の豊かな自然や文化にふれあい、希望をもって学ぶことを通して、郷土への愛着や誇りを培うとともに、未来を拓く知恵と豊かな人間性を身に付けていくことを目指します。

誰もが生涯にわたり、学ぶことができる環境を整備するとともに、芸術文化活動やスポーツなどに親しむ機会を充実させ、潤いのある生活と明日への活力を生みだすことを目指します。

## 基本方針

### 1 ふるさと教育の推進

【市総合計画大綱4】

《教育環境の充実を図り、学校・家庭・地域と協力して、

生きる力を育む教育を進めます》

子どもたちが安心して教育を受けられ、個性や能力を發揮できる教育の環境づくりを進めるとともに、知育・徳育・体育をバランスよく育成し、明日の遠野を担う子どもたちが、生きる力を身に付け、郷土に誇りを持ち、夢を育むことができる教育の実現を、学校・家庭・地域の連携、協力のもと推進します。

さらに、学校給食では、地産地消拠点としての総合食育センターによる安心安全な給食の提供を推進します。

## 2 生涯学習の推進

【市総合計画大綱4】

《いつでも、どこでも、だれもが学習できる環境と  
優れた芸術に触れる機会の充実に努めます》

市民がいつでも自由を選択して学習できる「生涯学習社会」を目指し、市民のニーズに応じた学習機会の拡充を進めます。

芸術振興においては、遠野物語ファンタジーに代表される市民協働の理念のもと、優れた芸術に触れる機会の充実を図り、潤いのある生活と豊かな感性を備えた人材育成に努めます。

## 3 ふるさとの文化の継承・創造

【市総合計画大綱4】

《誇りあるふるさとの文化を大切にする心を育み、次世代につなげます》

文化財の保護を通じて国指定重要文化財千葉家住宅や遠野遺産、郷土芸能などの文化的資産を次世代に継承するとともに、図書館・博物館を拠点施設として、『遠野物語』をはじめとした郷土の歴史や民俗資料の収集・調査研究を進めながら遠野市史編さんに取り組み、その成果を広く発信して、文化によるまちづくりを進めます。

## 4 健康づくりの推進

【市総合計画大綱2】

《生涯にわたり健康で豊かな生活をおくるための食習慣形成と  
スポーツライフを応援します》

健康づくり総合プログラムの推進を図るとともに、子どもの体力、運動能力の向上に努めます。

さらに、市民への夢と感動を与える競技スポーツやスポーツ少年団活動の促進を図りスポーツの普及、振興に努めます。

また、地域の食文化への理解を深め、生きる力を育む「食育」の推進を図ります。

## 5 子育て支援の推進

【市総合計画大綱2】

《子どもを産み育てることに夢がもてるまちづくりを推進し  
「子育てするなら遠野」の構築を目指します》

子育て支援においては、病児等保育の充実をはじめとする多様なニーズに対応した保育サービスを行うとともに、児童館や児童クラブの充実により、子どもの健全育成の強化を図るなど、総合的な「わらすっこプラン」を推進します。

また、遠野市わらすっこ条例の理念のもと児童の福祉を増進するとともに、市民が安心して子どもを産み育てる環境を整え、仕事と子育ての両立の支援に努めます。

## 基本方針と計画の体系

基本方針	政 策	施 策
1 ふるさと教育の推進	(1) 就学前教育の充実	① 家庭や地域での教育
		② 教育・保育の充実
	(2) 学校教育の充実	① 教育内容の充実
		② 教育環境の充実
		③ 学校給食の充実
		④ 学校と家庭、地域との連携の充実
	(3) 高等学校への支援	① 魅力ある高校づくり応援事業の推進
2 生涯学習の推進	(1) 社会教育の充実	① 総合推進体制の整備
		② 家庭や地域教育の充実
		③ 成人教育の充実
		④ 高齢者教育の充実
		⑤ 青少年の健全育成と活躍推進
	(2) 芸術文化活動の推進	① 芸術文化団体の育成と支援
		② 芸術文化活動の振興
3 ふるさとの文化の継承・創造	(1) 文化的資料の保存と活用	① 博物館活動の推進
		② 図書館活動の推進
	(2) 文化財の保護	① 文化財調査・保護
		② 郷土芸能伝承活動の推進
		③ 遠野遺産の認定と保護活動の推進
	(3) 歴史の継承と人づくり	① 市史編さん事業の推進
		② 歴史や文化を継承・発信する人づくり
		③ 本と文化と子育ての融合
	4 健康づくりの推進	(1) 健康づくり活動の推進
② スポーツの振興		
③ 食育の推進		
5 子育て支援の推進	(1) 少子化対策・子育て支援	① 少子化対策・子育て支援総合プランの推進
		② 子育て支援の充実
	(2) 児童・母子等福祉の充実 * 関連する政策・施策として追記	① 保育環境の充実
		② 児童の健全育成
		③ ひとり親家庭等への支援の充実

### (3) 令和4年度遠野市教育行政推進の基本方針

令和4年3月遠野市議会定例会  
令和4年2月22日（月）

令和4年3月遠野市議会定例会の開会に当たり、令和4年度の「遠野市教育行政推進の基本方針」について申し述べます。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが不透明な中、児童生徒及び教職員のコロナワクチン接種、市内小中学校へのスクールサポートスタッフの配置、感染予防対策の徹底などを実施し、子どもたちの学習活動を保障するために学校、家庭、地域、関係機関等が連携・協力し、教育活動を継続してまいりました。

将来の変化を予測することが困難な時代を迎えるにあたり、子どもたちが身につけるべき力は「生きる力」、すなわち「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健やかな体」であります。これら「知・徳・体」をバランスよく育てていくことが、これからの時代を生き抜く子どもたちに必要不可欠であり、教育の果たす役割は極めて大きいものと認識しております。

このような背景を踏まえ、令和4年度の主要な施策の概要について「遠野市総合計画後期基本計画」大綱4「ふるさとの文化を育むまちづくり」及び「遠野市教育振興基本計画」に沿って申し上げます。

大綱4、政策の第1は「ふるさと教育の推進」、第2は「生涯学習の推進」、そして第3は「ふるさとの文化の継承・創造」であります。

政策の第1「ふるさと教育の推進」については、「就学前教育の充実」と「学校教育の充実」の2つの施策に取り組んでまいります。

まず施策の1つ目、「就学前教育の充実」についてであります。

子どもたちの心身の健全な発達を図りつつ、生涯にわたる人格形成と「生きる力」の基礎が培われる重要な時期であることを踏まえ、生活や遊びを通じた人との関わりを大切にし、健康な体づくりや探求心、コミュニケーション能力などを育む教育を推進するとともに、保育所、幼稚園及び認定こども園は、家庭や地域社会との緊密な連携の下、就学後や生涯にわたる学習とのつながりを見通しながら、幼児一人ひとりの「学びの芽生え」を育む教育と保育を推進してまいります。

また、「療育教室」、「幼児ことばの教室」、「臨床心理士による出張心理相談」等の療育支援事業を実施し、障がいがあり特別な支援を必要とする子どもたちに対して、学校や関係機関等と緊密に連携しながら、小学校入学に向けた円滑な就学支援に取り組んでまいります。

次に施策の2つ目、「学校教育の充実」については、4つの方針に沿って進めてまいります。

方針の1つ目、「教育内容の充実」についてであります。5つの重点を掲げ、遠野市の学校教育目標達成に向けて取り組んでまいります。

重点の1つ目は「学校経営の質的向上」であります。

令和4年度は「令和の日本型学校教育」を推進し、「学校運営協議会制度」いわゆるコミュニティ・スクールをスタートする年度であります。校長のリーダーシップの下、児童生徒の「個別最適な学び」

と「協働的な学び」を一体的に展開するとともに、学校運営への保護者・地域の積極的な参画を促し、「社会に開かれた教育課程」を推進してまいります。

そのためには、教職員が児童生徒と向き合う時間の確保が必要でありますので、令和3年度に策定した「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき取組を進めてまいります。

重点の2つ目は「確かな学力の育成」であります。

「確かな学力の育成」には、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学んだことを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力、人間性」の3つの力を柱にした学びを推進し、児童生徒が社会に出てからも学校で学んだことを活かせるようにすることが大切であります。

現状として、GIGAスクール構想により令和2年度末に整備した1人1台の端末は、令和3年度から各教科等で活用されており、「協働的な学び」が推進されております。

令和4年度は、デジタル教科書等を効果的に活用した学習や、オンラインによる遠隔授業、交流活動などを取り入れ、「協働的な学び」を一層推進するとともに、児童生徒が主体的に家庭学習に取り組む環境整備としてドリル教材等のソフトを導入することに加え、諸調査の分析結果を活用し、より適切な個別指導を進め「個別最適な学び」の充実に努めてまいります。

一方、「令和の日本型学校教育を担う教員の学び」の取組として、中学校区における授業実践交流会や研修会を実施し、教員の指導力等の向上を図ってまいります。

また、小学校外国語の教科化に対応し、実用英語技能検定を活用した英語力向上事業の推進、児童生徒が生きた英語に触れる機会を保障するための外国語指導助手の中学校区配置、小学校英語専科教員の配置を実施し、重層的な指導体制の下、英語によるコミュニケーション能力の育成に努めてまいります。

重点の3つ目は「豊かな人間性の育成」であります。

「遠野市わらすっこ条例」に掲げる理念及び道徳教育や復興教育により、「人権を尊重する心」、「自他の生命を大切に作る心」の育成を図り、豊かな心を育む教育を推進してまいります。

まず、キャリア教育については、小中高を貫く「ふるさと教育」を柱とした「遠野市キャリア・パスポート」を活用し、12年間を見通した取組を進めてまいりますし、本市と八戸市それぞれの児童が歴史的つながりを肌で感じ、郷土の歴史や文化等を直接体験から学ぶ児童交流の場である「令和・南部藩寺子屋交流事業」を、コロナ等の状況にもよりますが、令和4年度は是非実施したいと考えております。

次に、不登校対策やいじめ防止等の生徒指導上の諸課題への対応であります。各学校における教育相談体制や生徒指導体制の強化に努めるとともに、教育相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家の活用を促しながら、児童生徒個々の状況や抱えている課題などに応じて適切に対応するとともに、「通級指導教室」の専任相談員が、通級児童生徒個々に応じた学習支援を行うなど、通級児童生徒の段階的な学校復帰や望ましい進路の実現に向けた支援をしてまいります。

重点の4つ目は「健やかな体の育成」であります。

学校及び家庭と連携した新型コロナウイルス感染症対策の徹底を継続するとともに、児童生徒の健康の保持増進と体力向上の推進に努めてまいります。

本市の児童生徒には、永久歯の虫歯の率と肥満傾向者率が全国平均を上回っているという課題があります。永久歯の虫歯の率の改善のため、令和元年度から学校におけるフッ化物洗口に取り組み、令和3年度においては実施率が9割近くまで向上しましたので、これからも引き続き継続し課題解消に努めてまいります。

併せて、疾病の早期発見や望ましい生活習慣の確立を目指し、肥満の予防、改善に向けた学校保健活動を支援するとともに、遠野市学校保健会と連携しながら、児童生徒の健康づくりに努めてまいります。

体力向上に向けた取組については、県が推奨している「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」と併せて、各小学校で実施している業間運動等の取組を進めてまいります。

また、中学校の部活動については、「遠野市における部活動の基本方針」に基づき、部活動の果たす機能を大切にしながら、心身の健全な発達に資する活動となるよう支援してまいります。

重点の5つ目は「特別支援教育の充実」であります。

特別な支援を必要とする幼児児童生徒への、切れ目ない支援と継続した一貫性のある指導のため、幼児期では「サポートファイルすてっぷ」、小中学校では「引継シート」を活用してまいります。

障がい種に応じた対応といたしましては、例えば、「病弱」の生徒には、オンラインを活用した学習支援、「聴こえの障がい」のある児童生徒には、音声の入出力をサポートする機器による支援等を実施しており、今後も児童生徒の自立に向け、適切な対応に努めてまいります。

また、市内2つの小学校には「言葉の障がい」がある児童に対応する通級指導教室を設置しております。設置校以外の9校には、専任講師による巡回指導を行い、全ての小学校において発音改善等に向けた専門的な指導を受けられる体制を継続してまいります。

加えて、通常学級に在籍する個別の支援が必要な児童生徒への対応として、市内全ての小中学校に特別支援教育支援員を配置し、学習支援等を行うなど、一人一人のニーズに応じた指導と支援に努めてまいります。

方針の2つ目、「教育環境の充実」についてであります。

「学校施設」については、「遠野市学校施設長寿命化計画」に基づき計画的に施設改修を進めるとともに、学校施設点検結果により修繕や危険な樹木の伐採等を実施してまいります。

次に「児童生徒の登下校時等の安全確保」としては、関係機関等との連携による通学路合同点検結果に基づき、必要な安全対策を講じるとともに、老朽化したスクールバスを順次更新し、児童生徒の登下校の安全を確保することに加え、特別運行による校外活動等への支援を継続してまいります。

また、自然災害等においては、防災関係機関と連携し対応するとともに、「緊急情報連絡網システム」により、学校や保護者等への適切な情報提供に努め、児童生徒の安全確保に万全を期して対応してまいります。

次に、「児童生徒の学びを支えるための環境の充実」としては、木製の学習机及び椅子を、老朽化や児童生徒の成長にあわせ、計画的に更新を進めるとともに、児童生徒が木の温もりに直接触れ、森林資源の利活用や環境保全の理解を深める学習の機会として活用してまいります。

最後に、「経済的な理由で学びを止めないための環境の充実」としては、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、国の基準により、学用品費やクラブ活動費などの支給を継続するとともに、オンライン学習に係る費用の支給要件を拡充し、保護者の経済的負担の軽減に努めてまいりますし、奨学金制度の周知に努め、経済的理由により修学が困難である優秀な学生へ学資を貸与し、有能な人材の確保に努めてまいります。

方針の3つ目、「学校給食の充実」についてであります。

学校給食については、食物アレルギーをもつ児童生徒や保護者へ分かりやすい献立表による情報提供を実施し、誤食の防止と安全・安心な給食の提供に努めてまいります。

また、「生きる力」を育む食育の推進を図るため、食に関する指導者を学校に派遣し、成長期にある児童生徒の心身の成長を促す授業を実施するとともに、学校給食が提供されるまでに、様々な方々が携わっていることを実感してもらうことをねらいとした「交流すまいる給食」等を実施してまいります。

方針の4つ目、「学校と家庭、地域との連携の充実」についてであります。

令和3年度から開始した「小さな拠点」の考え方を踏まえ、地域の皆さんの学校運営への参画を得て、「ふるさと教育」の推進、学校や地域を取り巻く諸課題への対応等を進め、地域で子どもたちの「生きる力」を育むことを目的に、学校運営協議会を中学校区ごとに設置いたします。

中学校区において「生きる力」を育むために、義務教育9年間の取組に地域の皆さんに参画していただくことにより、各学校の教育活動の活性化を図ってまいりたいと考えております。

政策の第2、「生涯学習の推進」については、「社会教育の充実」と「芸術文化活動の推進」の2つの施策に取り組んでまいります。

まず施策の1つ目、「社会教育の充実」については、2つの方針に沿って進めてまいります。

方針の1つ目、「家庭や地域教育の充実」であります。

「教育内容の充実」でお示した「学校運営協議会制度」を推進するにあたり、学校教育、社会教育、そして地域づくりを担当する3つのセクションが協働・連携し、学校・家庭・地域等を支援してまいります。

また、家庭における教育力の向上を図るため「家庭教育ゼミナール」を開催し、「情報メディアとの上手な付き合い方」など家庭教育の課題に即した学習機会を充実し、子どもたちの健全育成や家庭・地域の教育力の向上に努めてまいります。

方針の2つ目、「成人及び高齢者教育の充実」であります。

市民の学ぶ機会を提供する場や仲間づくりへの支援として、社会教育に係る団体や趣味のサークルの情報、知識を有する講師情報等を発信するとともに、市民のニーズに対応した「郷土理解講座」や「絵画教室」などを開催し、豊かな人間性、想像力・感性を備えた人材の育成に努めてまいります。

また、高齢者の協力を得て、世代別の特性に配慮した学習活動や地域活動への支援を図り、高齢者の幅広い経験、知識、技能を、次の世代へ継承することに努めてまいります。

次に施策の2つ目、「芸術文化活動の推進」についてであります。

豊かな感性を備えた人材の育成を図るため、国・県と連携して、市内小中学生を対象に「青少年劇場」、「いわて芸術家派遣事業」などに取り組み、子どもたちに本物の芸術に直接触れる機会を提供してまいります。

政策の第3、「ふるさとの文化の継承・創造」については、「文化的資料の保存と活用」、「文化財の保護」、「歴史の継承と人づくり」の3つの施策に取り組んでまいります。

まず施策の1つ目、「文化的資料の保存と活用」については、2つの方針に沿って進めてまいります。

方針の1つ目、「博物館活動の推進」であります。

令和4年が柳田国男没後60年であることを機に、市内小中学校向けに開催している博物館教室では、「遠野物語」の理解を深める学習機会を提供するとともに、遠野まちなか・ドキ・土器館においては、小中学生の郷土学習や、市民・観光客の学習交流施設としての役割を果たしてまいります。

方針の2つ目、「図書館活動の推進」であります。

「第四次遠野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもたちが読書に親しむ機会を広げるため、小中学校・児童館・福祉施設等への貸出図書の実と移動図書館車の効率的な運行に努めるとともに、児童向けの映画会を定期的で開催し、視聴覚教育の充実を図るなど、読書の推進と利用しやすい図書館を目指してまいります。

次に施策の2つ目、「文化財の保護」については、3つの方針に沿って進めてまいります。

方針の1つ目、「文化財調査・保護」であります。

文化財の適切な保護に努めるとともに、案内板・説明板の整備や、学習機会の充実に取り組むなど文



化財の周知に努めてまいります。

また、鍋倉城の国指定史跡に向けた働きかけを行うなど、市内の重要史跡の保護と積極的な活用を進め、遠野の文化の奥深さを示す取り組みを進めてまいります。

方針の2つ目、「郷土芸能伝承活動の推進」であります。

伝承活動に必要な用具整備や発表の支援を積極的に行うとともに、映像などを記録・保存することにより、後継者の育成と地域に伝わる多様な無形民俗文化財の継承を推進してまいります。

方針の3つ目、「遠野遺産の認定と保護活動の推進」であります。

地域の宝である遠野遺産の認定を行い、広く周知することで遠野らしい文化・風景を次世代に継承するとともに、まちづくりに生かす方策等を検討してまいります。

施策の3つ目、「歴史の継承と人づくり」については、3つの方針に沿って進めてまいります。

方針の1つ目、「市史編さん事業の推進」であります。

市史編さん委員会、各専門部会は、市民と協力しながら「資料編」「通史編」「民俗編」の編さん作業を着実に進めるとともに、調査資料を活用した講座等を開催しながら、遠野の歴史に触れる機会の提供と人材育成に努めてまいります。

方針の2つ目、「歴史や文化を継承・発信する人づくり」であります。

遠野の文化を生かした講座等の開催や、子ども語り部の認定を行うとともに、これまでに認定された「遠野語り部1000人プロジェクト」の語り部の発表の機会を提供するなど、次世代への文化伝承を担う人づくりに努めてまいります。

方針の3つ目、「本と文化と子育ての融合」であります。

世界的建築家・安藤忠雄氏から寄贈していただいた「こども本の森遠野」を着実に運営し、子どもたちに本と触れ合う機会を提供するとともに、夢のあるイベントを企画し、子どもたちの「想像力と創造力」いわゆる「イメージーションとクリエイション」を育む居場所となるよう努めてまいります。

また、絵本を介し赤ちゃんと家族との効果的なコミュニケーションを図る「ブックスタート事業」、たくさんの本に出会い豊かな心を育む「こども本の森遠野」、読書に親しみ教養を高められる図書館事業が相互に連携し、未来を担う子どもたちを育む環境づくりに引き続き努めてまいります。

以上、令和4年度の遠野市教育行政推進に関する基本方針と主要な施策の概要について、申し述べました。

遠野市の未来を担う子どもたちのため、学校、家庭、地域が連携して取り組み、本市の教育振興基本計画に掲げる基本理念「ふるさとの文化を生かし、「夢」と「誇り」を育む学びのまちづくり」の下、本市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」の実現のため、子どもたちの豊かな成長を支えてまいります。

「遠野だからこそできる教育、やるべき教育」を合言葉として、令和4年度は「令和の日本型学校教育」の推進と、学校・家庭・地域が協働して取り組む「学校運営協議会制度」による活動の2つを基軸として遠野の教育を進めてまいります。

議員各位、並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます、令和4年度に向けた教育行政推進の基本方針といたします。

#### (4) 教育委員会及び関係機関等

(令和4年4月1日現在)

##### ① 教育委員会（教育長及び委員）

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	佐々木 一人	令和4年4月1日	令和7年3月31日
委員(教育長職務代理者)	菊池 崇	令和2年4月1日	令和6年3月31日
委員	千田 由美子	令和1年11月26日	令和5年11月25日
委員	菊池 和子	平成30年11月26日	令和4年11月25日
委員	藤山 重理子	令和2年11月26日	令和6年11月25日

##### ② 教育委員会事務局・教育機関・関係機関

機関名	所在地	電話
遠野市教育委員会事務局	遠野市東館町8-12	☎0198-62-4412 F A X 0198-62-2789
遠野市教育研究所	同上	同上
遠野市学校給食センター	遠野市松崎町白岩31-44-1	☎0198-62-2032 F A X 0198-62-6523
遠野市民センター	遠野市新町1-10	☎0198-62-4411 F A X 0198-62-3302
遠野市勤労青少年ホーム	同上	☎0198-62-4413 F A X 0198-62-0210
遠野市少年センター	同上	同上
遠野市立図書館	遠野市東館町3-9	☎0198-62-2340 F A X 0198-62-5758
	宮守ゆうYOUソフト館 遠野市宮守町下宮守30-37-5	☎0198-67-2012
遠野市立博物館	本館 遠野市東館町3-9	☎0198-62-2340 F A X 0198-62-5758
	遠野蔵の道ギャラリー 遠野市中央通り4-28	☎0198-62-2680
	遠野まちなか・ドキ・土器館 遠野市新町5-3	☎0198-62-7820
	加守田章二陶房跡 遠野市青笹町糠前9-5-3	—
遠野市中央公民館	遠野市新町1-10	☎0198-62-4411 F A X 0198-62-0210
遠野市遠野地区公民館	同上	同上
遠野市綾織地区公民館	遠野市綾織町下綾織字且の鼻26	☎0198-62-2838 F A X 0198-62-2838
遠野市小友地区公民館	遠野市小友町16-105-1	☎0198-68-2001 F A X 0198-68-2001
遠野市附馬牛地区公民館	遠野市附馬牛町下附馬牛11-40-1	☎0198-64-2001 F A X 0198-64-2001
遠野市松崎地区公民館	遠野市松崎町白岩字薬研淵1-3	☎0198-62-2885 F A X 0198-62-2885
遠野市土淵地区公民館	遠野市土淵町土淵6-5-3	☎0198-62-2837 F A X 0198-62-2837
遠野市青笹地区公民館	遠野市青笹町青笹13-3-1	☎0198-62-2836 F A X 0198-62-2836
遠野市上郷地区公民館	遠野市上郷町板沢11-5-4	☎0198-65-2022 F A X 0198-65-2022
遠野市宮守地区公民館	遠野市宮守町下宮守29-77	☎0198-67-2115 F A X 0198-67-2157
遠野市達首部地区公民館	遠野市宮守町達首部15-31-1	☎0198-69-5055 F A X 0198-69-5055
遠野市鱒沢地区公民館	遠野市宮守町下宮守29-77	☎0198-67-2115 F A X 0198-67-2157
遠野市健康福祉部子育て支援課 (遠野市子育て総合支援センター)	遠野市東館町8-12	☎0198-62-2111 F A X 0198-62-9422

##### ③ 岩手県立学校

学校名	所在地	電話
遠野高等学校	遠野市六日町3-17	☎0198-62-2823 F A X 0198-62-2805
遠野緑峰高等学校	遠野市松崎町白岩21-14-1	☎0198-62-2827 F A X 0198-62-2828
花巻清風支援学校遠野分教室小学部	遠野市東館町11-28(遠野小学校内)	☎0198-62-3351 F A X 0198-62-3351
花巻清風支援学校遠野分教室中学部	遠野市松崎町白岩11-30(遠野中学校内)	☎0198-62-2211 F A X 0198-62-2239

##### ④ 幼稚園・保育所

幼稚園・保育所名	所在地	電話
認定こども園めぐみ 遠野聖光こども園	遠野市中央通り3-10	☎0198-62-2150 F A X 0198-62-4493
光の園幼稚園	遠野市東穀町14-7	☎0198-62-3341 F A X 0198-62-3341
遠野保育園	遠野市材木町3-21	☎0198-62-2034 F A X 0198-62-2034
神明保育園	遠野市六日町8-22	☎0198-62-2036 F A X 0198-62-2036
綾織保育園	遠野市綾織町下綾織字且の鼻37-36	☎0198-62-2812 F A X 0198-62-2812
岩滝保育園	遠野市小友町16-105-3	☎0198-68-2333 F A X 0198-68-2333
附馬牛保育園	遠野市附馬牛町下附馬牛11-31-2	☎0198-64-2330 F A X 0198-64-2330
白岩保育園	遠野市松崎町白岩13-42-1	☎0198-62-2395 F A X 0198-62-2395
松崎保育園	遠野市松崎町駒木24-50	☎0198-62-2826 F A X 0198-62-2826
土淵保育園	遠野市土淵町土淵3-53-3	☎0198-62-2458 F A X 0198-62-2458
青笹保育園	遠野市青笹町青笹11-22-4	☎0198-62-2022 F A X 0198-62-2022
上郷保育園	遠野市上郷町板沢11-6-2	☎0198-65-2030 F A X 0198-65-2030
認定こども園 宮守保育園	遠野市宮守町下宮守26-87-2	☎0198-67-2130 F A X 0198-67-2130
達首部保育園	遠野市宮守町達首部15-31	☎0198-67-6131 F A X 0198-67-6131
鱒沢保育園	遠野市宮守町下鱒沢33-218-1	☎0198-66-2210 F A X 0198-66-2210

## (5) 教育委員会の関係付属機関

### ① わらすっこ支援委員会（事務局：健康福祉部・子育て支援課）

職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	松田 希実	令和4年8月25日	令和6年7月31日
副委員長	菊池 健也	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	阿部 杏海	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	菊池 一郎	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	菊池 和恵	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	菊池 春夫	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	菊池 深雪	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	菊池 洋二	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	木下 敏子	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	小井口 未来	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	小森 千夢	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	佐藤 賀多子	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	新張 一枝	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	松田 富子	令和4年8月25日	令和6年7月31日
委員	松田 隼人	令和4年8月25日	令和6年7月31日

### ② 市民センター運営協議会（事務局：市民センター/市民協働課）

職名	氏名	就任年月日	任期
会長	石直 典高	令和4年6月1日	令和6年5月31日
職務代理	佐々木 正二	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	箱山 勇	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	松田 篤	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	阿部 優一	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	運 萬 勇	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	奥寺 啓蔵	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	菊池 正明	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	八重樫 正昇	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	佐々木 和子	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	小友 善衛	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	菊池 文正	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	熊谷 義弘	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	海老 糸子	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	村上 洋子	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	高橋 淳	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	新田 光志	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	佐々木 芳夫	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	留場 榮一	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	林 英道	令和4年6月1日	令和6年5月31日
委員	菊池 寿	令和4年6月1日	令和6年5月31日

### ③ 文化財保護審議会（事務局：市民センター/文化課）

職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	葛西 四朗	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	菅原 伴耕	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	菊池 平蔵	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	横山 恵一	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	林 英道	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	岩崎 真幸	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	菊池 恭二	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	熊谷 常正	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	小向 裕明	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	小笠原 晋	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	竹原 明秀	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	佐々木 栄洋	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	菊池 正彦	令和3年4月1日	令和5年3月31日

④ 奨学生選考委員会（事務局：教育委員会事務局/学校総務課）

職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	新里佳子	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	三浦芳昌	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	菊池都代子	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	日影館亨	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	堀村克利	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	多田康幸	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	佐々木秀章	令和4年4月1日	令和5年3月31日

⑤ いじめ問題調査委員会 \* 事案発生に応じて適宜設置（過去の設置実績なし）

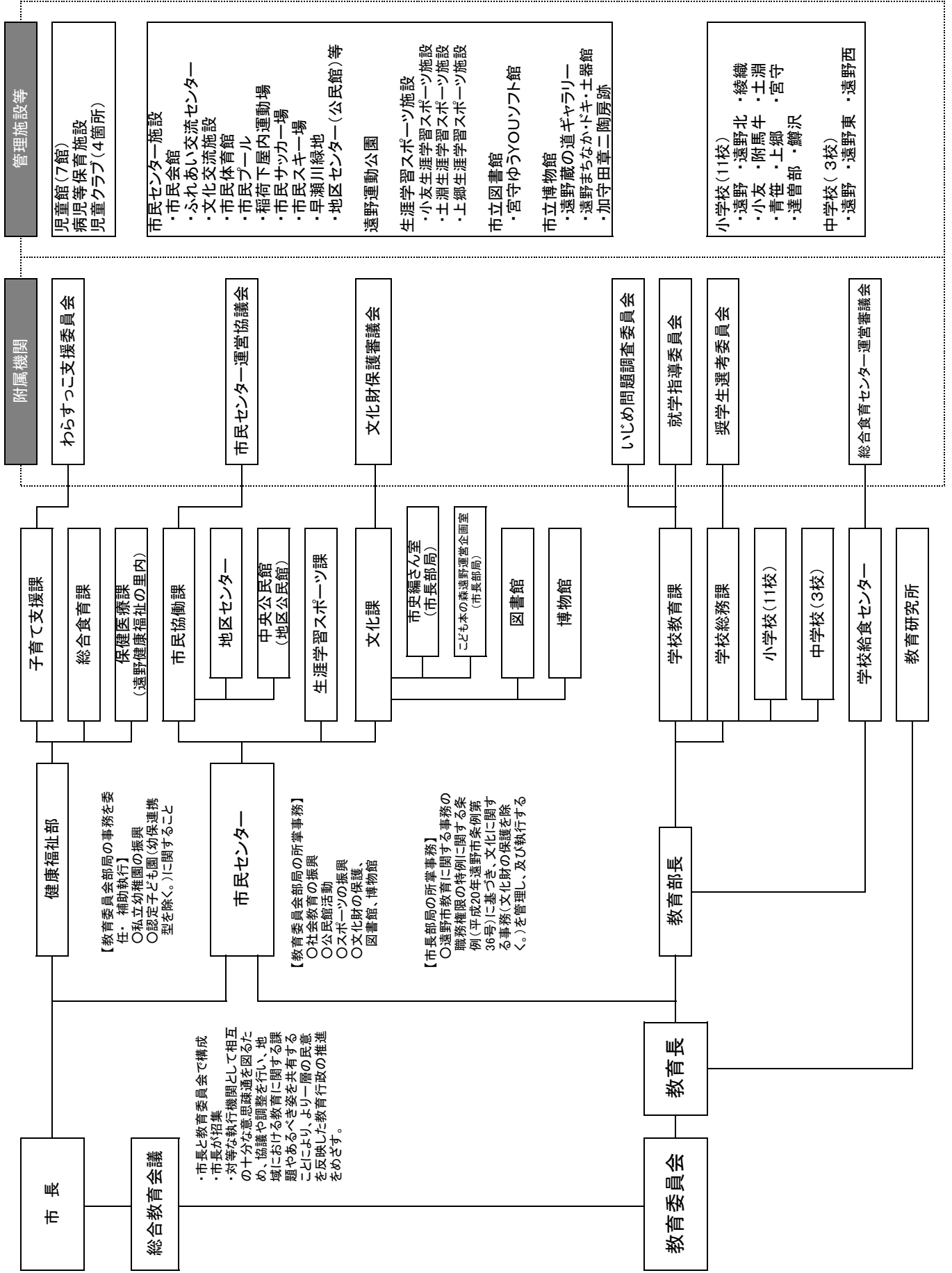
⑥ 就学指導委員会（事務局：教育委員会事務局/学校教育課）

職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	佐々木美紀	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	鈴木久美子	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	木元康生	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	熊谷恵美	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	高橋美恵子	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	菊池佳奈子	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	藤原琢也	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	平山朱子	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	小鎚弥奈子	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	加藤正志	令和4年4月1日	令和5年3月31日
委員	後藤昌子	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	菊池寿子	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	菊池幸枝	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	高野美穂	令和3年4月1日	令和5年3月31日
委員	千葉陽子	令和4年5月1日	令和5年3月31日
アドバイザー	小野寺輝子	令和3年4月1日	令和5年3月31日

⑦ 総合食育センター運営審議会（事務局：健康福祉部/総合食育課、教育委員会事務局/学校給食センター）

職名	氏名	就任年月日	任期
会長	多田宜史	令和3年7月1日	令和5年6月30日
委員	鈴木よし子	令和3年7月1日	令和5年6月30日
委員	菊池俊彦	令和3年7月1日	令和5年6月30日
委員	馬場光男	令和3年7月1日	令和5年6月30日
委員	照井福子	令和4年7月1日	令和5年6月30日
委員	河内正好	令和3年7月1日	令和5年6月30日
委員	久保きよ子	令和3年7月1日	令和5年6月30日
委員	佐藤一江	令和3年7月1日	令和5年6月30日
委員	菊池純伸	令和3年7月1日	令和5年6月30日
委員	福地千津子	令和3年7月1日	令和5年6月30日
委員	白金恵一	令和4年7月1日	令和5年6月30日
委員	高橋淳	令和4年7月1日	令和5年6月30日
委員	熊谷真由美	令和4年7月1日	令和5年6月30日
委員	松山和弘	令和4年7月1日	令和5年6月30日

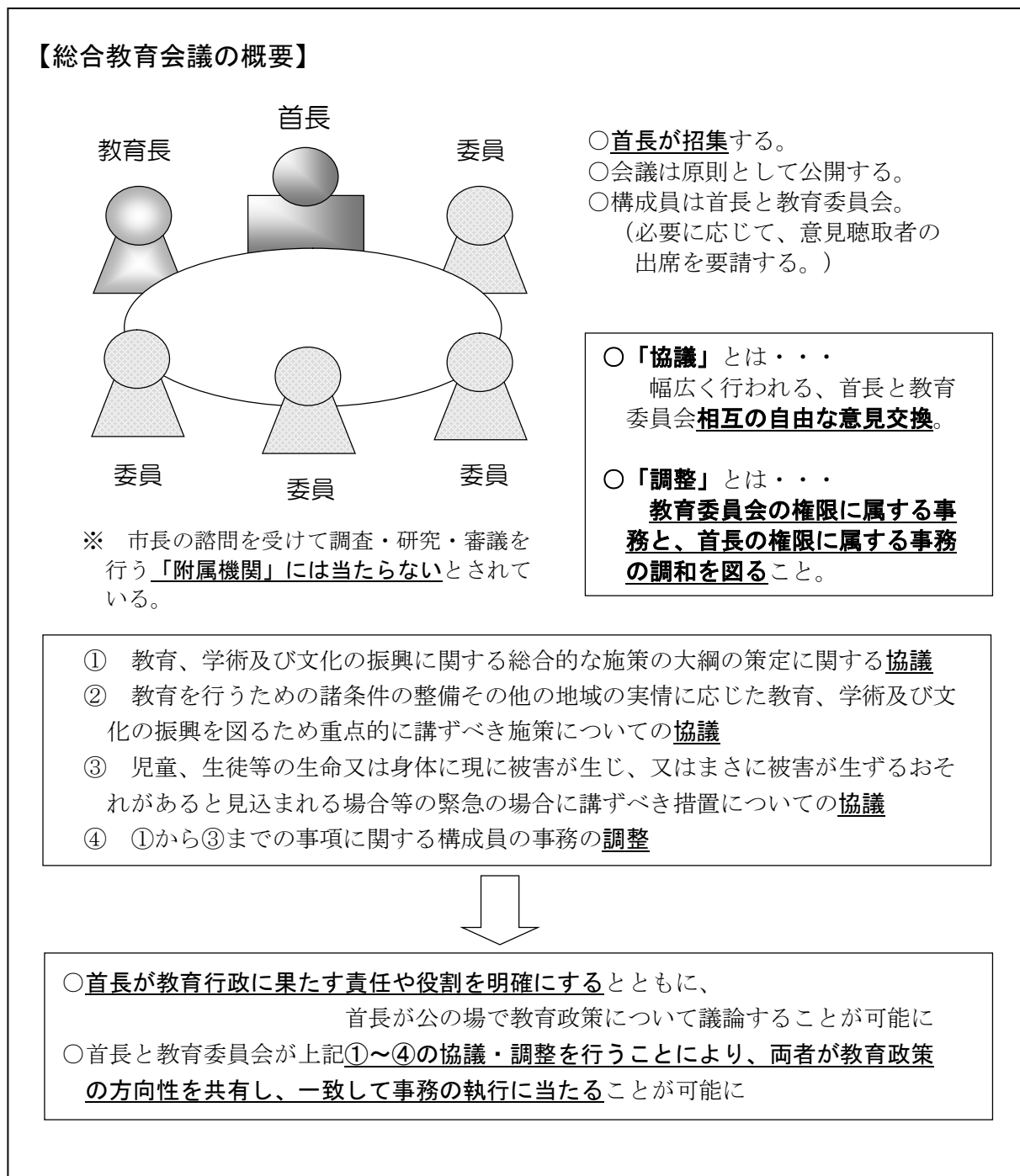
(6) 遠野市教育委員会機構図 (令和4年4月1日現在)



## (7) 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）の一部改正（平成27年 4月 1日施行）に伴い、地方公共団体の長（首長）は、同法第 1 条の 4 第 1 項の規定により、「総合教育会議」を設けることとされました。

総合教育会議は、首長と教育委員会とで構成され、両者が対等な執行機関として相互の十分な意思疎通を図るため、下の図に掲げる協議や調整を行い、地域における教育に関する課題やあるべき姿を共有することにより、より一層の民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。



## (8) 各種事業の推進

**教育環境分野**においては、第2期遠野市教育振興基本計画の基本方針に基づき、明日の遠野を担う子どもたちが安全かつ健康に、また、心豊かに安心して学校生活を送ることができる教育環境づくりのため、教材の充実、就学援助等の取組を推進するとともに、学校施設の計画的な整備や維持補修の適切な実施、スクールバスの安全な運行体制の構築等に取り組んでいます。

**学校教育分野**においては、『知・徳・体のバランスのとれた人間形成～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～』の実現に向け、「基礎的な知識・技能の習得及び課題解決のための思考力等の育成」「豊かな心の育成」「健やかでたくましい心身の育成」の3点を重点課題とした取組を行っています。

**生涯学習分野**においては、市民協働の視点を重視しながら、地域における教育・学習・文化の活動拠点である市民センター及び地区センター（地区公民館）の機能の充実に努めるとともに、市民による芸術活動の推進に取り組んでいます。

**スポーツの振興・健康づくり分野**においては、市民の健康の増進と生涯スポーツ社会の実現に向け、「健康づくり総合プログラム」を実践するとともに、競技スポーツやジュニアスポーツのレベルアップを図るなどの取組を行っています。

**文化行政分野**においては、遠野市の豊かな地域資源や文化を後世に継承するため、文化財の保全や郷土資料・民俗資料の調査・研究を行い、その成果を広く発信する取組を行っています。

これらの取組に加え**子育て分野**においては、市政の重要課題として位置づけている「少子化対策・子育て支援」の推進のため、市健康福祉部との連携のもと、各種事業に取り組むとともに、幼児期から小学校、中学校、高等学校に至るまでの総合的な教育環境の整備に資するため、市内の県立高等学校とも一層の連携を図りつつ、「地域資源を生かした高等学校のさらなる魅力化」にも取り組んでいます。

**地元県立高校支援分野**においては、少子化及び人口減少が深刻な問題となっている県内過疎地域における適正な教育環境を維持するため、県内各市町村とも連携しながら、全国一律ではない岩手県ならではの高校少人数学級導入及び教員定数の確保、並びに新たな判断基準に基づく小規模高等学校の存続を求める要望等に加え市独自の高校魅力化推進事業の取組を行っています。

### 3 学校教育

#### (1) 令和4年度 遠野市「学校教育指導指針」

##### I 遠野市「学校教育目標」

**知・徳・体のバランスのとれた人間形成**  
**～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～**

「遠野や日本・世界の発展に貢献する人材」とは、グローバル社会にあつて、世界で通用する人材のことであり、次のような人間となることを指す。

- ① 幅広い知識と柔軟な思考力を身に付けた人間。
- ② 価値観や言語の違う人々とも理解し合えるコミュニケーション能力を身に付けた人間。
- ③ よく考え、自信を持って自分の意見を発信できる人間。
- ④ 自分の特性にあった進路を選択し、社会で活躍できる人間。
- ⑤ 夢や希望を持ち、難問課題を克服するために努力できる人間。
- ⑥ 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心を持った人間。
- ⑦ 心身ともに健康で、たくましく未来を切り拓いていく人間。

##### 【遠野市「学校教育目標」設定の理由】

###### 1. 時代背景から

###### 社会情勢

これからの社会は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代である。知識基盤社会の特質としては、①知識には国境がなく、グローバル化が一層進む ②知識は日進月歩であり、競争と技術革新が絶え間なく生まれる ③知識の進展は旧来の「一時代の支配的な物の見方」の転換を伴うことが多く、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断が一層重要になる、等が挙げられる。

このような社会では、知識を更新する能力が重要であり、激しい変化に柔軟に対応できる力が求められる。

###### 2. 遠野市内児童生徒の実態

(「R3県学習状況調査」における児童生徒質問紙等から)

###### 【長所】

- (1) 県と比較して、「自分にはよいところがある」と感じている児童生徒の割合が高い。
- (2) 地域行事への参加率及び地域に貢献したいという気持ちを強く持っている児童生徒が多い。
- (3) 授業内での話し合い活動を通じて、互いに考えを深めたり、広げたりしようとする児童生徒の割合が高い。
- (4) 「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と考えている児童生徒が多い。

###### 【課題】

- (1) 自分の弱点を克服するための取組や、発展的な学習への取組に対して、積極的とは言えない状況がみられる。
- (2) 家庭学習では自分で計画を立て、与えられた宿題に真剣に取り組んでいるが、県と比較して取組時間が短い傾向にある。
- (3) 小中学校ともに、スマホや携帯電話の所持率が増加傾向にある。

##### II 遠野市「学校教育目標達成に向けた視点」

1. 基礎的な知識・技能の習得及び課題解決のための思考力等の育成
2. 豊かな心の育成
3. 健やかでたくましい心身の育成



### Ⅲ 遠野市「学校教育目標達成に向けた取組の重点」

#### 1. 学校経営の質的向上

- (1) 評価・公表・改善のサイクルによる学校経営の充実
- (2) 研修の機会の積極的な活用
- (3) 課題の解決に向けた組織的で継続的な取組の推進
- (4) 授業力や学級経営力などの実践的指導力を高める人材育成の推進
- (5) 保護者や地域の人材及び地域資源の積極的な活用
- (6) 校長のリーダーシップによる魅力ある学校づくりの推進
- (7) 社会に開かれた教育課程による学校経営の充実

#### 2. 確かな学力の育成

- (1) 「中学校区ごとの2つの視点」に基づいた授業改善の継続と質的向上の推進
- (2) 「できた・わかった」を実感させるための授業の在り方に関する研究の継続推進
- (3) 個の実態に応じた学習支援の在り方及び授業づくりに関する取組の推進
- (4) 家庭学習の量と質の向上に係る実践研究の推進
- (5) 諸調査の分析結果に基づいた組織的な学校取組の推進
- (6) 各中学校区での授業交流会及び全教員対象とした研修会の継続実施
- (7) 特定教科集中対策事業の継続による特定教科への対策
- (8) 児童生徒が活きた英語に触れることができる機会の保障

#### 3. 豊かな人間性の育成

- (1) 豊かな感性を育み、命や思いやりを大切にする心の教育の推進
- (2) 「特別の教科 道徳」に係る研修会の充実
- (3) 郷土の歴史、文化及び自然の良さを見つめ直す機会の確保
- (4) いじめ、問題行動及び不登校等への迅速かつ組織的な対応の強化
- (5) 個々の課題に応じた教育相談体制や指導体制への支援の充実
- (6) P T A等との連携による「ネット依存」の防止に向けた啓発活動の実施
- (7) 組織的な推進体制による道徳教育の充実
- (8) 生徒指導の機能を生かした教育活動及び学級経営の推進
- (9) 発達段階に応じたキャリア教育の充実
- (10) 岩手の復興教育の充実
- (11) 文化行事奨励事業の推進

#### 4. 健やかな体の育成

- (1) 「遠野市における部活動の在り方に関する方針」による活動の充実
- (2) 齲歯率と肥満傾向が高い現状を改善するための取組支援
- (3) 体力及び運動能力の向上並びに健康教育の推進
- (4) 児童・生徒の永久歯の齲歯率の改善

#### 5. 特別支援教育の充実

- (1) 特別支援学級新設校との連携による学習環境の整備
- (2) 通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援のための体制整備
- (3) 聞こえ及び言葉の障がいを持つ児童への指導の充実

#### IV 遠野市「学校教育目標達成に向けた取組の重点」に係る指標等

指標	●遠野市教委の具体的推進方策指標 ○県教委の具体的推進方策指標	◆いわて幸福関連指標 表記がないものの単位はいずれも%	2022 目標値	根拠となる調査等
<b>1. 学校経営の質的向上</b>				
○地域住民などによる見守り活動が行われている学校の割合			81.0	文科調査及び 県教委保健体育課調べ
○学校経営計画の目標を概ね達成できたと評価した学校の割合			100	県教委学校調整課調べ
○悩み相談ができる学校以外の相談窓口を知っている児童生徒の割合			小 100 中 100	県学調 児童生徒質問紙調査
○学校における男女混合名簿の使用率			小 100 中 100	県教委学校調整課調べ
<b>2. 確かな学力の育成</b>				
●第2次遠野市総合計画 後期基本計画 みんなで取り組むまちづくり指標の 偏差値 【※】			小 52.1 中 48.8	標準学力検査
●◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合			小 84.9 中 81.2	県学調 児童生徒質問紙調査
●◆授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合			小 84.7 中 84.0	県学調 児童生徒質問紙調査
○児童生徒が調べたことなどを適切に表現する指導をしている学校の割合			小 100 中 100	県教委学校調整課調べ
●○授業内で学習を振り返っている児童生徒の割合			小 89.0 中 87.0	県学調 児童生徒質問紙調査
●○学校の授業がよく分かる児童生徒の割合			小 94.0 中 81.0	県学調 児童生徒質問紙調査
○幼保小の円滑な連携に取り組んでいる小学校の割合			小 100	県教委学校調整課調べ
●○つまづきに対応した授業改善が行われていると感じている児童生徒の割合			小 89.0 中 92.0	県学調 児童生徒質問紙調査
●○弱点を克服するための学習や発展的な学習に自ら取り組んでいる児童生徒 の割合			小 82.0 中 70.0	県学調 児童生徒質問紙調査
○中学校3年生において、求められている英語力を有している生徒の割合			中 50.0	英語教育実施状況調査
<b>3. 豊かな人間性の育成</b>				
◆将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合			小 88.5 中 76.5	全国学調
○自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児 童生徒の割合			小 68.0 中 66.0	全国学調
○自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合			小 75.0 中 65.0	県学調 児童生徒質問紙調査
◆人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合			小 70.0 中 68.0	県学調 児童生徒質問紙調査
◆自己肯定感をもつ児童生徒の割合			小 85.0 中 80.0	全国学調
○自他の良さを認め合う学級であると感じている児童生徒の割合			小 94.0 中 93.0	県学調 児童生徒質問紙調査
○学校や地域が行う体験活動に参加し、今後も継続して参加したいと思う 児童生徒の割合			小 86.0 中 87.0	県学調 児童生徒質問紙調査

○「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合	小 50.0 中 51.0	県生涯学習文化財課調査
○様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合	小 77.0 中 78.0	県学調 児童生徒質問紙調査
○話し合いの場で、少数意見にも耳を傾け、意見をまとめている児童生徒の割合	小 85.0 中 89.0	県学調 児童生徒質問紙調査
○社会の動きや出来事に関するニュースに関心がある児童生徒の割合	小 86.0 中 87.0	県学調 児童生徒質問紙調査
○いじめはいけないと思う児童生徒の割合	100	全国学調
○認知したいじめが解消した割合	100	県教委学校調整課調べ
○学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合	小 91.0 中 91.0	県学調 児童生徒質問紙調査
○ルールを守って情報機器（スマートフォン等）を利用することが大切だと思う児童生徒の割合	100	県学調 児童生徒質問紙調査

#### 4. 健やかな体の育成

◆体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	小男 75.0 小女 83.0 中男 78.0 中女 91.5	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査
○運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	89.0	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査
○部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が共通理解を図る部活動連絡会を開催している学校の割合	100	県教委保健体育課調べ
○「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合	小 91.0 中 89.0	健康診断結果集計
○喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	100	薬物乱用防止教室開催状況調査 (文科省)

#### 5. 特別支援教育の充実

○「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	100	いわて特別支援教育推進プラン 進捗状況調査
○通級による指導に係る研修を受講した教員の割合	100	学校教育課調べ

・指標は「いわて県民計画（2019～2028）」第1期アクションプラン指標一覧表から本市の取組の重点に合わせて抽出している。

・目標値は県の数値に準じているが、 は本市として設定した目標値。

・網掛けは重点項目。

【※】数値目標  は実績値

まちづくり指標		単位	R3	R4	R5	R6	R7
1	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	52.1 (50.1)	52.1 ( )	52.2 ( )	52.2 ( )	52.3 ( )
2	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	48.8 (48.6)	48.8 ( )	48.9 ( )	48.9 ( )	49.0 ( )

【みんなで取り組むまちづくり指標】（第2次遠野市総合計画 後期基本計画 R3～R7）

・前期基本計画（H28～R2）の実績値をもとに設定

# V

## 遠野市学校教育指導指針に係る学校教育構想図

### 遠野市「学校教育目標」

### 知・徳・体のバランスのとれた人間形成

～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～

### 「生きる力」の育成（学習指導要領の理念）

#### 確かな学力【知育】

○知識・技能 ○思考・判断・表現力 ○学ぶ意欲 など

#### 豊かな人間性【徳育】

○自律心 ○他人を思いやる心 ○感動する心 など

#### 健やかな体【体育】

○たくましく生きるための健康・体力 など

### 児童生徒の学習意欲を高め、安心で安全な学校生活を送るため、個性を生かした質の高い教育を提供

#### 【遠野市学校教育目標達成に向けた取組の重点】

##### 1. 学校経営の質的向上【知育・徳育・体育】

- 評価・公表・改善のサイクルによる学校経営の充実
- 研修機会の積極的な活用
- 課題の解決に向けた組織的・継続的な取組の推進
- 授業力や学級経営力などの実践的指導力を高める人材育成の推進
- 保護者や地域の人材及び地域資源の積極的な活用
- 校長のリーダーシップによる魅力ある学校づくりの推進
- 社会に開かれた教育課程による学校経営の充実

##### 2. 確かな学力の育成【主として知育】

- 「中学校区ごととの22つの視点」に基づいた授業改善の継続と質的向上の推進
- 「できた・わかった」を実感させる授業の在り方に関する研究の継続推進
- 授業の実態に合った学習支援の在り方と授業力の向上の推進
- 家庭学習の量と質の向上に係る実践的取組の推進
- 諸調査の分析結果に基づいた組織的な学校区での授業交流及び全教員対象とした研修会の継続による「特定教科集対策」の継続による特定教科への対策
- 児童生徒が活躍できる機会を確保
- 「特定教科集対策」の継続による
- 児童生徒が活躍できる機会を確保

##### 3. 豊かな人間性の育成【主として徳育】

- 豊かな感性を育み、命や思いやりを大切にする心の教育の推進
- 「特別の教科 道徳」に係る研修会の充実
- 郷土の歴史・文化及び自然の良さを見つめ直す機会の確保
- いじめ・問題行動、不登校等への迅速かつ組織的な対応の強化
- 個々の課題に応じた教育相談体制や指導体制への充実
- PTA等との連携による「ネット依存」の防止に向けた啓発活動の実施
- 組織的な推進体制による道徳教育の充実
- 生徒指導の機能を生かした教育活動及び学習指導の推進
- 発達段階に応じたキャリア教育活動の充実
- 若手・中堅教員の充実
- 文化行事奨励事業の推進

##### 4. 健やかな体の育成【主として体育】

- 「遠野市における部活動の在り方に関する方針」による活動の充実
- 齷齪率と肥満傾向が高い現状を改善するための取組支援
- 体力及び運動能力の向上並びに健康教育の推進
- 児童生徒の永久歯の齷齪率の改善

##### 5. 特別支援教育の充実【主として知育】

- 特別支援学級新設校との連携による環境の整備
- 通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援のための体制整備
- 聞こえ及び言葉の障がいを持つ児童への指導の充実

##### ①「まなびフェースト」の設定

- 学校評価の実施
- 学校懇談会
- 教務主任会議
- 魅力ある学校づくり事業

##### ①指導主事の派遣

- 授業力向上のための「一人一授業」相互研修
- 外国語指導助手招へい事業
- 特定教科集対策事業
- 教育研究所事業

##### ①道徳地区公開講座

- JFAこころのプロジェクト - 遠野わらすこ「夢の教室」
- 文化行事奨励事業
- 令和・南部藩寺子屋交流事業
- 生徒指導主事会議
- 遠野市いじめ防止等対策委員会

##### ①「遠野市における部活動の在り方に関する方針」の周知

- 部活動指導員の配置

##### ①特別支援教育支援員の配置

- 学習指導講師の配置
- 就学指導委員会
- 就学指導担当者会議

右記は、主として「第2次遠野市総合計画後期基本計画(令和3～7年度)事業要求書」掲載事業であること

学力向上対策事業費  
特定教科集対策事業費

遠野わらすこ「夢の教室」事業費  
令和・南部藩寺子屋交流事業費

学校教育事務費

特別支援教育推進事業費



## Ⅱ 主要事業

### i 学校経営の質的向上

#### 1 魅力ある学校づくり推進事業

(1) 目的

学校が、地域の特性や児童生徒の実態に応じて、創意工夫を生かした魅力ある学校づくりを推進する。

(2) 内容

- ① 自然を愛し共生する心を育む学習の推進
- ② 「健やかに人が輝くまちづくり」に関する学習の推進
- ③ 「活力を創意で築くまちづくり」に関する学習の推進
- ④ 「ふるさとの文化の継承・創造」に関する学習の推進
- ⑤ 「みんなで考え支えあうまちづくり」に関する学習の推進

(3) 実施期日等

令和4年4月1日～令和5年3月31日

#### 2 学校懇談会（次年度の研究指定予定校）

(1) 目的

教育委員等が学校を訪問し、授業参観や施設見学等をとおして、学校の実態を把握するとともに、学校における教育上の諸問題について懇談し、教育活動の充実及び教育行政の推進に役立てる。

(2) 内容

授業参観、施設視察、懇談会

(3) 期 日

令和4年 6月 23日（木） 青笹小学校  
令和4年 9月 29日（木） 附馬牛小学校  
令和4年 10月 21日（金） 宮守小学校

(4) 出席者

教育長 教育委員 教育部長 学校教育課長 学校総務課長 当該校教職員 指導主事

#### 3 教務主任会議

(1) 目的

令和5年度の岩手県・遠野市の教育行政についての理解を深め、教育課程編成及び実施に役立てる。

(2) 内容

- ① 次年度の岩手県教育委員会、中部教育事務所、遠野市教育委員会事業について
- ② 教育課程の編成・年間計画について

(3) 期 日 令和5年2月21日（火）13：30～16：30

(4) 会 場 東館庁舎3階大会議室

(5) 対 象 市内小中学校教務主任

## ii 確かな学力の育成 [※]は教育研究所事業

<b>1 授業力向上のための「一人一授業」 [※]</b>
(1) 目的 学級担任、教科担任をもつ教師が1年に1度、原則として助言者を位置付けた研究授業を実施することにより、授業技術、教師としての資質向上を目指す。
(2) 取組内容 ・ 単元指導デザインシートを作成する。 ・ 単位時間における授業改善に終わらず、単元構想に基づく実践を推進する。
<b>2 授業力向上のための「相互研修」(含 研究員部会) [※]</b>
(1) 目的 校内での授業研究会等に他校の教員が参加することにより、授業実践交流会(公開研究会)などと同様に教員研修の場を広める機会を提供する。併せて、校内研修会の活性化の一助とする。
(2) 取組内容 ・ 校内研修会等を実施する期日、教科・単元、学年を学区内の各学校へ連絡する。 ・ 校長は、事業の趣旨を判断し、教員の校内研修会等への参加を奨励する。(計画的)
<b>3 外国語指導助手招へい事業</b>
(1) 目的 グローバル化の進展に対応し、次代に生きる日本人を育成するために、児童生徒の国際的視野を広げ、国際理解を深め、国際協調の精神を養うとともに、国際社会に貢献できる資質と能力の育成を図る。又、各国の文化を正しく理解し、互いに尊重し合うために外国語伝達能力の向上を図る。
(2) 勤務内容及び訪問計画 ① 勤務内容は、小中学校における外国語活動の指導の助手を主とする。 ② 学級数に応じて訪問計画を立てることとする。
<b>4 特定教科集中対策事業 [※]</b>
特定教科支援員事業 (1) 目的 各種調査結果に基づき、特定の教科の授業において、教科担任を補助する役割として、学習支援員を配置し、形成的評価時・達成目標評価時に支援を要すると評価された生徒を支援することにより、授業において「わかった」という生徒を増やすことを目的とする。
(2) 内容 ・ 授業中の学習支援及び家庭学習における支援。
英検を活用した英語力向上事業 (1) 目的 英語力を客観的に計ることができる英語検定を利用し生徒一人ひとりが目標や目的意識をもって英語の学習に取り組めるようにすることを目的とする。
(2) 内容 ・ 中学校3年生の10月に行なわれる第2回の英検の受験費用を全額助成し全員が受験 ・ 英検3級受験対策学習会(4回)、1次試験前(3回)、2次試験前(1回) ・ 中学1年生 英検 IBA(テストE)・中学2年生 英検 IBA(テストD)

## 5 ICTを活用した学習環境の整備 【※】

### (1) 目的

国のGIGAスクール構想に基づき、学校でICTを活用するためのハード・ソフト・指導体制の環境を整えることで、子どもたち一人ひとりに個別最適化された学びを提供し、全ての児童生徒の学力向上を図る。

### (2) 内容

- ・校内への高速大容量のネットワーク整備
- ・一人一台端末の整備
- ・ICT教育部会による活用方法等の検討・提案・収集

## iii 豊かな人間性の育成

### 1 道徳地区公開講座

#### (1) 目的

保護者はもとより地域に広く道徳の授業を公開することを通して、道徳教育についての理解を得るとともに、道徳教育の要としての「道徳の時間」の充実を図る。

#### (2) 実施校

市内全小中学校

### 2 生徒指導主事会議

#### (1) 目的

生徒指導に関する情報交換及び指導に係る研修等により、市内の生徒指導の充実に資する。

#### (2) 期 日

第1回小中高生徒指導担当者会議 令和4年5月24日(火) 13:30～14:20

生徒指導主事会議 令和4年6月20日(月) 15:30～16:40

第2回小中高生徒指導担当者会議 令和4年11月7日(月) 13:30～14:20

※ 生徒指導推進協議会の事前において実施

### 3 JFAこころのプロジェクト — 遠野わらすっこ「夢の教室」

#### (1) 目的

公益財団法人日本サッカー協会(JFA)によって運営されている「JFAこころのプロジェクト」を活用し、人格形成において重要な時期である小学校高学年の児童及び中学校の生徒が、指導講師(夢先生)の授業を通し、夢や目標を持ち、自律及び共同の精神や規範意識に基づき主体的に生きていく心情や態度等、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深めさせ、キャリア教育(人生設計力の育成)の一助とする。

#### (2) 令和4年度の実施校

遠野小学校(5学年)

遠野北小学校(5学年)

小友小学校(5・6学年)

附馬牛小学校(5・6学年)

青笹小学校(5・6学年)

宮守小学校(5・学年)

鱒沢小学校(5・6学年)

※ 実施日は各校と協議の上決定



#### 4 文化行事奨励事業

(1) 目的

各種文化行事を実施することにより、芸術に親しみながら感性や表現力を高めるとともに、作品制作を通して目標に向かって努力する心と向上心などを養い、もって心の教育の充実に資する。

(2) 内容

- ① 小中学校児童生徒作品展 : 令和4年12月22日(木)～令和5年1月13日(金)  
※ 会場: 遠野市役所本庁舎1階
- ② 小中学校児童生徒文集 : 応募締切 令和4年10月27日(木) 予定

#### 5 幼稚園・保育園・小学校交流研修会

(1) 目的

市内の幼稚園・保育園(所)・小学校の教職員が、授業や保育を参観し交流を深めることにより、それぞれの実態や改善点を理解し合い、幼・保・小の連携を深めるとともに、幼児期及び少年期の教育の充実を図る。

(2) 対象 遠野市内幼稚園・保育園(所)・小学校教職員

(3) 期日及び会場(各小学校区で主体的に実施する。)

#### 6 令和・南部藩寺子屋交流事業

(1) 目的

根城南部氏の縁でつながる八戸市との児童交流を通じ、日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図る。

(2) 事業内容

- ① 交流事業 児童交流会等
- ② 派遣事業 表敬訪問、市内見学、児童交流会等

(3) 実施期日等

- ① 八戸市小学生使節団との交流事業(以下「交流事業」という。)  
令和4年7月27日(水)～7月29日(金)(交流は27日(水))
- ② 遠野市少年使節団派遣事業(以下「派遣事業」という。)  
令和4年8月3日(水)～8月4日(木)【1泊2日】

(4) 参加者

- ① 児童  
遠野市内小学校6年生に在籍する児童とする。学校または地域におけるリーダー的存在であり、学校長の推薦を受けた者
- ② 令和4年度引率者  
引率者 団長: 遠野小学校長、救護: 附馬牛小養護教諭、引率教諭: 遠野北小、土淵小

(5) 参加者数

小学生 26名(予定) 遠野小と遠野北小は男女2名ずつ、他の小学校は男女1名ずつ  
引率教員 4名 教育委員会事務局員 2名

#### 7 教育相談員による学校訪問 [※]

(1) 目的

市内各小中学校を訪問し、児童生徒等の状況について情報共有を図り、適切な支援・指導につなげる。

(2) 内容

- ・遠野市教育研究所 教育相談員 上野 晶美 による各校年間2回訪問
- ・対応は各小中学校副校長、訪問日については後日、調整の上、連絡

## iv 特別支援教育の充実

### 1 特別支援教育推進事業

#### (1) 特別支援教育支援員（19名）の配置

##### ① 目的

通常学級に在籍している教育上特別の支援を必要とする児童生徒(以下「要支援児童生徒」という)に対して、学校生活上の介助、学習活動上の支援等を行う特別支援教育支援員を配置し、一人一人の教育的ニーズに応える。

##### ② 内容

- ・ 要支援児童生徒の学校生活上の介助
- ・ 要支援児童生徒の学習活動上の支援
- ・ その他目的達成のため所属長が必要と認めた事項で所属長の承認を得たもの

##### ③ 配置校

遠野小3名、遠野北小3名、綾織小1名、小友小1名、附馬牛小1名、土淵小1名、青笹小1名、上郷小1名、宮守小1名、達曾部小1名、遠野中2名、遠野東中1名、遠野西中2名

#### (2) 学習指導講師（1名）の配置

##### ① 目的

通常学級に在籍している教育上特別の支援を必要とする児童生徒(以下「要支援児童生徒」という)に対して、学習活動上の支援及び発達上の課題改善に向けた支援等を行う学習指導講師を配置し、一人一人の教育的ニーズに応える。

##### ② 内容

- ・ 要支援児童生徒の学習活動上の支援
- ・ 要支援児童生徒の抱える発達上の課題改善に向けた支援
- ・ その他目的達成のため所属長が必要と認めた事項

#### (3) 特別支援教育コーディネーター連絡会議

##### ① 目的

各校の特別支援教育コーディネーターに対して、市の就学指導の流れを周知するとともに、支援を要する児童生徒への取組み、支援員の活用等、特別支援教育の推進について共通確認の場とする。

##### ② 期 日 令和4年4月19日（火）15：30～16：30

### 2 就学指導委員会

#### (1) 目的

障がいのある児童生徒の適切な就学指導を推進するために、様々な分野の専門家が個々の児童生徒の障がいの種類や程度について調査や審議を行い、市教育委員会に対して助言を行う。

#### (2) 期 日

第1回遠野市就学指導委員会	令和4年 5月18日(水)	15：30～16：30
第2回遠野市就学指導委員会	令和4年 10月18日(火)	13：30～16：30
第3回遠野市就学指導委員会	令和4年 11月15日(火)	15：00～16：40
第4回遠野市就学指導委員会	令和5年 1月10日(火)	15：00～16：40

#### (3) 委 員

- ①医師 ②識見を有する者 ③関係教育機関の職員 ④関係行政機関の職員

#### (4) 調 査 員

遠野市立小中学校に在籍又は就学する児童生徒の適切な就学指導(支援)を行うために、専門的事項を調査することを目的として派遣する。

## v 健やかな体の育成

### 1 部活動指導員

#### (1) 目的

遠野市立中学校において、中学校の教育計画に基づき、生徒の自主的、自発的な参加により行われるスポーツ、文化、科学等に関する教育活動である部活動の適切な指導体制を構築するとともに、校長の監督の下で部活動に関する技術的な指導を行うことにより、生徒の健全な体の育成に資するために部活動指導員をおく。

#### (2) 内容

部活動に関する技術的な指導を行うため、次に掲げる職務を行う。

- ① 実技指導に関すること。
- ② 安全・障がい予防に関すること。
- ③ 学校外での活動（大会及び練習試合等）の引率に関すること。
- ④ その他学校長が部活動指導のために必要と認めること。

#### (3) 配置校及び人数

遠野中学校	2名
遠野東中学校	2名
遠野西中学校	2名

【遠野市 授業づくりスタンダード(R04)】

授業までに	<p><b>□ この時間にどんな力をつけるのかを明確にする。↔</b> <span style="background-color: yellow;">目標と評価規準の明確化</span></p> <p>※この時間は、児童生徒にとって何が出来る(分かる)ようになることよいか、教師自身が一言で言い表せるよう明確にしてから授業に臨む。</p> <p><b>□ 児童生徒同士が学び合う時間を構想する。</b> <span style="background-color: yellow;">育成を目指す資質・能力(指導事項)を児童生徒の姿で具体化する。</span></p> <p>※児童生徒同士が学び合うためには、発問が大切である。 やってみたい、考えてみたいと思わせる発問を考えてみる。 (知識や経験のギャップ、必要感、驚きや疑問、学習者の自己選択、きっかけを生む資料提示)</p>
導入	<p><b>□ 何を考えるのか、何を学ぶのかを明確にした導入を心がける。</b></p> <p>(例)・単元の学びや前時までの学習と本時の学習を関連づける。 ・児童生徒の気付きや考え、興味・関心、知識や経験のギャップ、必要感、驚きや疑問、学習者の自己選択、きっかけを生む資料提示から問いを引き出していく。</p> <p style="text-align: center;"><b>課題につなげる!</b></p> <p><b>いわての授業づくり 視点1</b> <b>学習の見通し</b> をもたせる。</p> <p>(例)・課題解決に向けて、用いるもの(既習事項)や用い方(考え方)を確認し、児童生徒が、課題解決の方法や過程についての見通しをもてるようにする。</p> <p style="text-align: right;"><span style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px;">課題意識の持続(遠中区)</span> <span style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px;">学習意欲の持続(東中区)</span> <span style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 2px;">学習意欲の向上(西中区)</span></p>
学習過程・授業場面	<p><b>いわての授業づくり 視点2</b> <b>学習課題を解決するための学習活動</b> に取り組む。</p> <p style="text-align: center;">【児童生徒の学習活動例】</p> <p><b>□ 自分の考えをもつ。</b> <span style="background-color: blue; color: white; padding: 2px;">【柱2】①</span></p> <p>・自分の考えを書き表す。 ・根拠となる部分にサイドラインを引く。 ※「書くことは考えること」</p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 2px;">言語活動の充実(西中区)</span></p> <p><b>□ 学び合う。</b> <span style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 2px;">児童生徒が主体となる学び合い(東中区)</span></p> <p>・ペアやグループ、全体で考えたことを交流する。</p> <p>※交流の例 ○自分の考えを出し合う。 ○同じ点、異なる点を比較する。 ○補足し、よりよい考えにする。</p> <p style="text-align: center;">【教師の留意点】</p> <p><b>□ 一人一人の思考、つまづきを把握する。</b> <span style="background-color: blue; color: white; padding: 2px;">【柱2】④</span></p> <p>・机間指導では、一人一人の状況を確認しながら、称揚して自信をもたせる。 ・支援が必要な子には、既習内容に立ち返らせるなど、具体的な解決法を示す。</p> <p style="text-align: right;"><span style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px;">達成状況の把握(遠中区)</span></p> <p><b>□ 発問(指示)を吟味する。</b></p> <p>・同じ発問は繰り返さない。</p> <p><b>□ 児童生徒が主体となる交流(対話)にする。</b></p> <p>・教師は支援者として、発言をつなげるなど、学び合いをコーディネートする。 ・大事なことは児童生徒の気付きから引き出すようにする。</p> <p style="text-align: center; border: 1px dashed red; padding: 5px;"><b>「主体的・対話的で深い学び」の実現</b></p> <p><b>□ 学習したことをまとめる。</b></p> <p>・本時の課題をまとめ、「何が出来るようになったのか、何がわかったのか」考える。</p> <p><b>□ 構造的な板書を心がける。</b></p> <p>・1時間の学習の足跡を残す。</p> <p><b>□ 児童生徒の考え(発言)をもとにして、本時の課題をまとめる。(整合性を図ること)</b></p>
終末	<p><b>□ まとめた考えを活用して個人の問題に取り組む。</b> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px;">達成状況の把握(遠中区)</span></p> <p>・一人のできるかやってみる。 ・できないとき、分からない時は質問して、できるまで、わかるまでやってみる。 ・自分の言葉で言い表す、書き表す。</p> <p><b>□ 最後は、個人で問題に取り組みせ、児童生徒一人一人に、「できた」「わかった」を実感させる。</b></p> <div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p> この問題が一人のできるようになったよ！ 〇〇になるには、〇〇だったからね。理由がよくわかったわ！</p> </div>
末	<p><b>いわての授業づくり 視点3</b> <b>学習の振り返り</b> をさせる。 ※自分の言葉で記述したり、発表したりすることが大切。</p> <p>(振り返りの視点例)</p> <p>・【学習方法】どんな学び方(学習方法、プロセス、他者の考え)をしたか <span style="background-color: blue; color: white; padding: 2px;">【柱2】②</span></p> <p>・【学習内容】何を学んだか(できた、分かった、できなかった)</p> <p>・【学ぶ態度】自分の変容(粘り強さ、試行錯誤、興味・関心、充実感、達成感)</p> <p>※教師は、振り返りを意図的に次時の授業にいかす。</p> <p style="text-align: right;"></p> <p style="background-color: yellow; padding: 5px;">授業でできたことを、家庭学習でやってみよう。明日の問題にもチャレンジしてみようかな。</p>

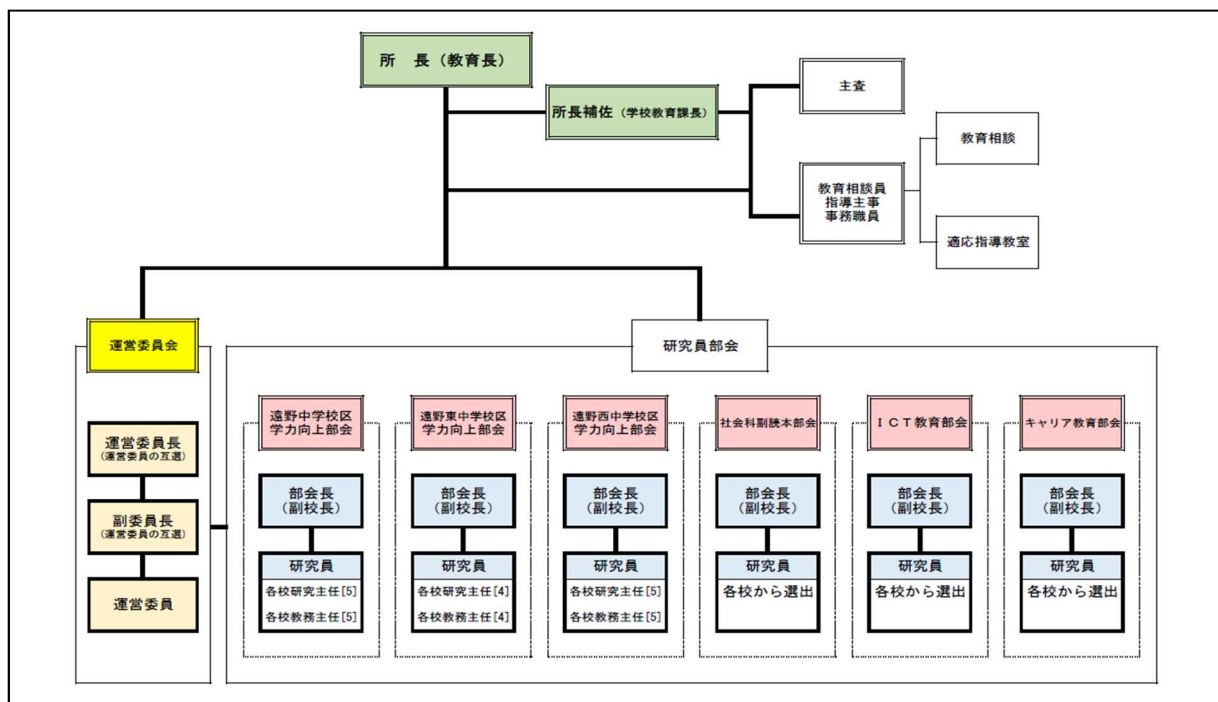
**【柱2】⑤ □ 授業内容の理解を促進する家庭学習の課題(宿題)を計画的に出し、学習内容の確実に定着させる。**

# ・遠野市教育研究所

## 1 目 的

遠野市学校教育の諸問題について調査・研究し、その成果を教育研究発表会や教育研究所の諸事業で発表することにより、本市学校教育の向上に資する。また、他地区教育研究所との情報交換を通して教育研究についての研修を深める。

## 2 教育研究所組織図



研 究 推 進	学力向上対策会議	学力向上対策会議（年2回開催）
	研究員部会	各中学校区学力向上部会 （年4回開催：中学校区ごと3回、一斉1回） 社会科副読本部会（年3～6回程度開催）※R04は休会 I C T教育部会（年3回程度開催） キャリア教育部会（年3回程度開催）
	研究発表会等	全体研修会 教育研究発表会 市内環境・科学研究発表会
	教育研究指定校 （主任）指導主事	毎年度各中学校区から2校研究指定（1校公開研究会） 校内研等学校訪問による指導・助言等
	学力実態調査	標準学力検査（NRT）及び知能検査の実施 ・N R T：小学校2年生～中学校3年生対象 ・知能検査：小学校2、4、6年、中学校2年対象
	先進校視察研修	研究員部会の研究員等を派遣
教 育 相 談	まごころ教育相談	教育上の問題点や悩みの相談 学校不適応児童生徒の支援
	適応指導教室	不登校児童生徒の学校復帰支援
事務局	事務局	予算・決算、連絡・調整 運営委員会等の資料準備 他の研究機関との連携

【令和4年度の事業予定について】

**1 学力実態調査(知能検査・標準学力検査)**

- (1) 目的：個々の学力の実態を把握して、年間を通じて、個に応じた学習支援・指導の資料とする。
- (2) 実施期間：令和4年4月11日(月)～5月6日(金)
- (3) 対象：小2～小5(国語 算数)
- (4) 内容：小6～中1(国語 算数・数学 社会 理科)  
中2～中3(国語 社会 数学 理科 英語)  
小2、小4、小6、中2(知能検査)
- (5) その他
  - ・標準学力検査と知能検査でバッテリーを組み、個々の学力を義務教育期間、継続して把握する。
  - ・中学校進学時に引継ぎを確実にを行うこと。

まちづくり指標	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
小学校標準学力検査偏差値	53.9	53.9	52.1	52.1	52.2	52.2	52.3
(実数値)	<b>51.2</b>	<b>50.8</b>	<b>50.1</b>				
中学校標準学力検査偏差値	48.6	48.6	48.8	48.8	48.9	48.9	49.0
(実数値)	<b>48.8</b>	<b>47.8</b>	<b>48.6</b>				

【みんなで取り組むまちづくり指標】(第2次遠野市総合計画 後期基本計画)

**2 特定教科集中対策事業**

- (1) 中学校数学の個別支援を行う。
  - ※ 校種・教科・配置先について必要に応じて検討
- (2) 遠野市中学生英語検定支援
  - ・中学校3年生に対する実用英語技能検定受検料の全額助成(1回分)
  - ・英検受験対策学習会の設定(4回)  
1次試験前に3回、2次試験前に1回を予定。
  - ① 令和4年9月3日(土) ② 令和4年9月19日(月)
  - ③ 令和4年10月1日(土) ④ 令和4年10月29日(土)(2次対策)
  - ※会場は東館庁舎3階大会議室
  - ・英検I B Aの実施(2月下旬頃に実施)
    - ①中学校2年生：英検I B A(テストD)(英検3～5級程度)
    - ②中学校1年生：英検I B A(テストE)(英検4～5級程度)

**3 運営委員会・各部会**

- (1) 運営委員会
  - ・運営委員長1名(校長)、中学校区運営委員3名(校長)  
社会科副読本部会、ICT教育部会、キャリア教育部会運営委員各1名(校長)
  - <R4年度の運営委員>
  - 運営委員長→中学校長による輪番(R2:東中 R3:西中 **R4:遠中**)
  - 副委員長→各中学校区による輪番(R2:西中学区 R3:遠中学区 **R4:東中学区**)
  - 運営委員→次年度(R5)公開校長：遠野北小、遠野東中(副委員長)、達曾部小  
社会科副読本部会：鱒沢小校長 ICT教育部会：上郷小校長  
キャリア教育部会：遠野小校長

- ・年3回会議を実施
  - ①令和4年 4月19日（火）9：30～11：00
    - ・事業及び運営について
  - ②令和4年11月14日（月）9：30～11：00
    - ・各中学校区の学力向上の取組について中間総括
    - ・課題や改善点についての協議
  - ③令和5年 2月24日（金）9：30～11：00
    - ・年間の取組についての総括
    - ・次年度の方向性の確認

## （2）学力向上研究員部会

- ・令和4年度の組織
 

遠野中学校区	：運営委員	遠野北小校長
	部会長	遠野小副校長
	研究員	遠野中学校区各校研究主任
遠野東中学校区	：運営委員	遠野東中校長
	部会長	土淵小副校長
	研究員	遠野東中学校区各校研究主任
遠野西中学校区	：運営委員	達曾部小校長
	部会長	遠野西中副校長
	研究員	遠野西中学校区各校研究主任
- ・部会長会議 令和4年 4月19日（火）9：30～11：00  
 ※第1回運営委員会との合同会議として開催。
- ・年4回の部会
  - ※（概要版）の項目に沿って、部会を進めていく。
  - ①第1回授業交流会 実施時（中学校区ごとの設定） ※交流会会場校
    - ・学区2つの視点、目指す授業像、重点取組の確認
    - ・本学区の課題について確認
    - ・学校の組織的な取組についての交流
    - ・次回日程の確認と校内研日程の交流
  - ②第2回授業交流会 実施時（中学校区ごとの設定） ※交流会会場校
    - ・NRTの結果を踏まえ、学区の課題の見直し
    - ・ここまでの実践で明らかになったことの交流
    - ・「UAをゼロに！」取組についての交流
    - ・学区アンケートについての協議
  - ③令和4年11月18日（金）14：00～16：40 ※一斉会場開催
    - ・今年度の成果と課題を検討
    - ・ここまでの実践で明らかになったことの中間総括
    - ・諸調査結果の分析
    - ・課題解決のための具体的取組についての協議
    - ・教育研究発表会に向けた役割分担及び作業
  - ④令和4年12月26日（月） ※部会長所属校
    - ・今年度の成果と課題をまとめる
    - ・次年度の方向性をまとめる
    - ・諸調査結果の考察
    - ・教育研究発表会に向けた準備

### (3) 社会科副読本部会

- ・令和4年度の組織  
運営委員：鱒沢小校長 部会長：小友小副校長 研究員：なし
- ・令和4年度の主な活動予定  
2年度作成した副読本及び3年度に作成した評価テストの見直し  
副読本のデジタル化についての検討 等
- ・4年度は休会とし、必要事項は運営委員、部会長、事務局で行う。

### (4) ICT教育部会

- ・令和4年度の組織  
運営委員：上郷小校長 部会長：附馬牛小副校長 研究員：6名
- ・令和4年度の主な活動予定  
ICT利活用（端末持ち帰りを含む）の具体検討・実践事例の収集と蓄積
- ・年3回程度の活動

### (5) キャリア教育部会

- ・令和4年度の組織  
運営委員（兼部会長）：遠野小校長 研究員：小中高副校長8名
- ・令和4年度の主な活動予定  
キャリアパスポート活用状況の共有・推進、指導と評価の一体化  
地域との協働によるふるさと教育の推進
- ・年3回（4・7・12月）の活動

※ 各部会とも内容と回数を吟味したうえで実施する。  
場合によってはオンラインでの実施も検討する。

## 4 学力向上対策会議

- ・運営委員（第1回のみ）、部会長、学力向上研究員に教務主任を加えての会議。  
①令和4年4月25日（月）14：00～16：40
  - ・今年度の授業改善の進め方について、研究主任とともに共通確認する。
  - ・昨年度の諸調査の状況について確認し、課題の焦点化を図る。
  - ・中学校区取組（授業改善2つの視点、授業交流会）について確認、計画する。  
②令和5年2月14日（火）14：00～16：40
  - ・今年度の総括と次年度の取組みについて協議する。

## 5 中学校区部会ごとの授業交流会

(1) 開催期日及び会場：（開催場所及び開催日は現段階のもの）

授業交流会・遠野中学校区	①	遠野中学校	5月25日（水）
	②	遠野小学校	9月30日（金）
授業交流会・遠野東中学校区	①	土淵小学校	6月2日（木）
	②	上郷小学校	9月2日（金）
授業交流会・遠野西中学校区	①	遠野西中学校	5月26日（木）
	②	宮守小学校	11月10日（木）

(2) 内容

- ・各中学校区で定めた授業改善のための「2つの視点」に基づく授業研究会



## 6 授業力向上のための「一人一授業」

- ・学級担任、教科担任をもつ教師が1年に1度、原則として助言者（校長、副校長でも可）を位置付けた研究授業を実施する。  
 ※実施後は様式（単元指導デザインシート）を随時指定フォルダに提出。（全員が格納したことを確認し、研究主任は2月末日までに事務局に報告）  
 ※活用について、学力向上対策会議等で周知し、各校において共通理解を図る。

## 7 教育研究発表会

- ・令和5年1月11日（水）13：20～16：45
- ・全体会と分科会で構成する予定。  
 前半（全体会）：各中学校区学力向上取組の発表、他3部会の報告 等  
 後半（分科会）：中学校区ごとに今年度の研究のまとめ等の意見交流

## 8 教育研究指定校

- ・2年目（公開）：綾織小学校（算）、遠野東中学校（一般）、小友小学校（算）
- ・1年目：遠野北小学校、達曾部小学校
- ※指定校連絡協議会 令和4年5月9日（月） 15：00～16：30

【研究指定校一覧】

遠野中学校区	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09
研究指定校(1年目)	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小
研究指定校(公開校)	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小
運営委員(校長)	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小
部会長(副校長)	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小	綾織小	遠野北小	附馬牛小	遠野中	遠野小

遠野東中学校区	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09
研究指定校(1年目)	青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	
研究指定校(公開校)		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中
運営委員(校長)	青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	①	青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	③
部会長(副校長)	遠野東中		青笹小	上郷小	土淵小	遠野東中	②	青笹小	上郷小	土淵小

遠野西中学校区	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09
研究指定校(1年目)	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小
研究指定校(公開校)	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小
運営委員(校長)	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小
部会長(副校長)	小友小	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中	小友小	達曾部小	宮守小	鱒沢小	遠野西中

- ◎ 部会長は、研究指定校（2年目）の副校長が翌年度担当することを原則とする。  
 → 前年度の公開課題を当該年度の研究員に伝えることができ、課題解決の連続性が図られる。
- ◎ 運営委員は、研究指定校（1年目）の校長が当該年度担当することを原則とする。
- ◎ 遠野東中学校区は、学校数が4校であるため、授業実践交流会を実施しない年度がある。
- ◎ 表中の①②③を担当する学校は、当該学校間で協議して決定する。

## 9 (主任) 指導主事等の派遣

- ・校内研等学校訪問による指導、助言  
※講義等も対応。  
※個別指導(授業参観、教材研究等)も対応。
- ・市内指導教諭及び専門的知見や優れた指導技術をもつ教諭等の積極的活用

## 10 環境・科学研究発表会

- ・令和5年2月4日(土)9:00~12:00
- ・市教研理科部会に後援依頼。(運営委員の推薦、部会の運営)
- ・環境・科学発表会運営委員会議 令和5年2月1日(水)15:30~16:30

## 11 先進校視察研修

- ・中学校区ごとに同一の視察先を選定し、令和5年2月までに実施。  
(1日又は1泊2日)

	遠野中学校区	遠野東中学校区	遠野西中学校区
H28	【3中学校区合同】秋田県東成瀬村の小中学校		
H29	青森県八戸市の小中学校	【2中学校区合同】秋田県横手市の小中学校	
H30	【3中学校区合同】岩手町立一方井小学校・一方井中学校 学校公開研究会		
R01	宮古市立千徳小学校 宮古市立宮古西中学校	【2中学校区合同】 秋田県大館市立南小学校 大館市立南中学校	
R02	なし	なし	なし
R03	なし	なし	なし
R04	1学期中に選定予定	1学期中に選定予定	1学期中に選定予定

- ・旅費は、市教委から支出。  
※視察先の具体的選定(候補)、視察先との連絡調整等については市教委事務局で対応する。(詳細は、要項に記載)

## 12 教育研究所全体研修会

- ・令和4年7月29日(金)14:00~16:00
- ・分科会及び講師:継続分科会については、講師は内諾済み(①④は未定)  
分科会:①道徳 ②復興教育 ③特別支援教育 ④教育相談 ⑤言語活動

## 13 教育相談員の配置(中学校配置)・(教育研究所配置)

- ・中学校配置:各1名配置
- ・教育研究所:上野晶美教育相談員

## 14 適応指導教室(かりんルーム)

- ・令和3年度と同様開設。  
※開設場所として、東館庁舎内に専用の部屋を設置する。

#### (4) 学校保健

##### ① 学校保健関係事業

児童・生徒の健康

- ・児童・生徒の健康診断（年1回）
- ・生活習慣病予防健診（小4、中1）
- ・尿検査（年1回）
- ・貧血検査（中1、中2）
- ・脊柱側弯検査（小5、中1）
- ・心臓検診（小1、小4、中1）
- ・就学時健康診断（入学予定者）
- ・全児童・生徒（希望者）を対象としたフッ素化合物洗口（週1回）

##### ② 児童生徒の身長・体重の平均値（男女別・年齢別、県・全国との比較）

性別	年齢	身長			体重				
		人数	遠野市 (R3)	岩手県 (R2)	全国 (R2)	人数	遠野市 (R3)	岩手県 (R2)	全国 (R2)
男子平均	6	62	117.4	117.1	117.5	62	22.0	22.4	22.0
	7	93	124.2	122.8	123.5	93	25.2	25.2	24.9
	8	93	128.9	128.6	129.1	93	29.3	27.9	28.4
	9	94	134.1	134.5	134.5	94	32.7	32.6	32.0
	10	96	140.1	139.5	140.1	96	36.9	35.9	35.9
	11	103	145.9	145.5	146.6	103	40.5	40.3	40.4
	12	113	152.6	153.0	154.3	113	45.9	46.1	45.8
	13	99	161.0	161.0	161.4	99	53.1	51.6	50.9
	14	121	165.0	165.5	166.1	121	54.7	56.4	55.2
女子平均	6	84	116.5	116.0	116.7	84	22.8	21.7	21.5
	7	96	122.9	121.9	122.6	96	24.7	24.4	24.3
	8	88	128.4	127.8	128.5	88	26.8	27.9	27.4
	9	83	134.6	133.8	134.8	83	31.9	31.0	31.1
	10	88	142.3	140.6	141.5	88	37.8	36.2	35.4
	11	88	148.0	147.3	148.0	88	41.8	40.5	40.3
	12	88	152.1	151.8	152.6	88	44.6	45.2	44.5
	13	82	154.1	154.8	155.2	82	49.3	48.5	47.9
	14	113	155.2	156.3	156.7	113	51.0	50.8	50.2

③ 令和4年度 学校医師及び学校薬剤師分担表

(令和4年4月1日現在)

学校名		学校医師				学校薬剤師
		内科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	
小学校	遠野	熊坂康二	遠野病院と委託契約	宮本博之	田中勝	奥寺徹
	遠野北	守口尚	同上	同上	打越岳	奥寺徹
	綾織	千葉純子	同上	同上	佐藤圭士郎	菊池佳代
	小友	大野和範	同上	同上	深澤範子	菊池優子
	附馬牛	高橋倫子	同上	同上	飯高哲	奥寺徹
	土淵	川上格	同上	同上	佐々木慶子	田中博子
	青笹	熊坂幸絵	同上	同上	田中昭彦	田中博子
	上郷	山口淳	同上	同上	沼崎琢也	田中博子
	宮守	柏原紀文	同上	同上	深澤範子	谷地千明
	鱒沢	柏原紀文	同上	同上	深澤範子	菊池優子
達曾部	柏原紀文	同上	同上	柏原宏則	谷地千明	
中学校	遠野	菊池俊彦	同上	同上	田中昭彦 佐藤圭士郎	奥寺徹
	遠野東	川上格	同上	同上	田中俊	田中博子
	遠野西	柏原紀文	同上	同上	深澤範子	菊池優子

## (5) 奨学資金

### ① 制度の目的

教育の機会均等の精神に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学が困難である方に対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。

### ② 奨学生の資格等

遠野市に住所を有する方の子弟で、高等学校、大学又はこれと同程度の学校に入学を予定している、又は在学している優秀な学生であって、経済的事由により修学が困難と認められる者。

※ これまで奨学資金の貸与を必要としていなかった在学中の学生・生徒であつても、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響で家計の状況が急変したものに対し、令和2年度から追加募集を行っている。

### ③ 奨学金の貸与額

ア 高等学校又はこれと同程度の学校に在学する者 月額 15,000円以内  
イ 大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者 月額 40,000円以内

### ④ 奨学金の貸与期間

正規の修学期間とする。ただし、休学した期間については貸与しない。

### ⑤ 奨学金の返還

貸与期間が満了し、又は貸与を廃止した月の翌月から起算して6月を経過した月から15年以内に返還するものとする。

### ⑥ 貸与実績

(単位 人)

年度	申請者数			貸与決定者数		
	大学生等	高校生	計	大学生等	高校生	計
H24	39	0	39	31	0	31
H25	31	0	31	31	0	31
H26	28	0	28	28	0	28
H27	31	5	36	31	5	36
H28	23	4	27	23	4	27
H29	20	3	23	20	3	23
H30	25	1	26	25	1	26
R元	28	3	31	28	3	31
R2	19	1	20	19	1	20
R3	14	0	14	14	0	14

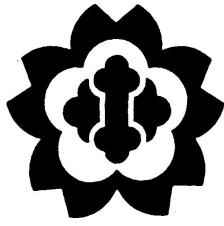
(6) 学校一覧

令和4年5月調べ 注：( )内は特別支援学級再掲

学校名	学級数	児童数 (人)	所在地	電話	創立年月	校地面積 (㎡)	校舎面積(㎡)				屋内運動場(㎡)		屋外運動場 (㎡)		教室数(室)		プール(㎡)	
							鉄筋コン クリート造	鉄骨造	木造	計	面積	構造	普通	特別	計	面積	構造	
遠野小学校	14(3)	236(7)	遠野市東館町11-28	62-3231	明治6年5月	25,669	5,340			5,340	1,092	木造	14,588	17	14	31	325	RC
遠野北小学校	13(2)	269(8)	遠野市松崎町白岩字薬研淵43	62-2030	昭和46年4月	21,069	3,263	147	276	3,686	1,273	木造	8,948	13	13	26	400	AL
綾織小学校	7(2)	53(3)	遠野市綾織町下綾織13-13-5	62-2803	明治6年12月	19,039			2,348	2,348	860	鉄骨造	9,003	8	8	16	400	ST
小友小学校	6(2)	32(3)	遠野市小友町16-133	68-2220	明治7年12月	18,652	1,854	34		1,888	715	鉄骨造	9,693	6	7	13	400	ST上屋有
附馬牛小学校	5(1)	40(1)	遠野市附馬牛町下附馬牛11-43-1	64-2220	明治7年10月	17,307	206		1,351	1,557	861	鉄筋コンクリート造	10,424	5	7	12	350	AL上屋有
土淵小学校	8(2)	79(5)	遠野市土淵町土淵6-1	62-2804	明治10年10月	24,269	2,316	64	14	2,394	699	鉄骨造	11,427	8	9	17	350	AL
青笹小学校	8(2)	135(5)	遠野市青笹町青笹11-1	62-2802	明治8年2月	24,705			2,936	2,936	890	鉄筋コンクリート造	10,354	7	9	16	350	AL上屋有
上郷小学校	6(2)	47(2)	遠野市上郷町佐比内46-56-1	65-2031	明治7年11月	17,127			3,107	3,107	900	木造	9,995	7	10	17	350	AL
宮守小学校	8(2)	81(3)	遠野市宮守町下宮守26-6	67-2135	明治7年	20,363	2,422	64	42	2,528	711	鉄筋コンクリート造	5,462	7	7	14	350	ST
達曽部小学校	6(2)	43(3)	遠野市宮守町達曽部15-10	67-6133	明治7年	32,083	886		1,474	2,360	600	鉄骨造	15,245	6	7	13	400	RC
鱒沢小学校	4(1)	15(1)	遠野市宮守町下鱒沢17-5	66-2270	明治7年	15,491	1,354	40		1,394	708	鉄骨造	6,602	4	6	10	425	RC
計		1,030(41)				235,774	17,641	349	11,548	29,538	9,309		111,741	88	97	185	4,100	
学校名	学級数	生徒数 (人)	所在地	電話	創立年月	校地面積 (㎡)	校舎面積(㎡)				屋内運動場(㎡)		屋外運動場 (㎡)		教室数(室)		プール(㎡)	
							鉄筋コン クリート造	鉄骨造	木造	計	面積	構造	普通	特別	計	面積	構造	
遠野中学校	16(4)	343(15)	遠野市松崎町白岩11-30	62-2814	平成25年4月	42,638	3,456		2,202	5,658	1,738	鉄筋コンクリート造	18,814	17	11	28	400	RC
遠野東中学校	8(2)	131(7)	遠野市青笹町青笹10-16	62-2816	平成25年4月	30,353	485		2,033	2,518	854	木造	25,111	7	9	16	325	ST
遠野西中学校	6(1)	103(1)	遠野市宮守町下宮守39-65	67-2139	平成25年4月	30,104	2,779	375	10	3,164	975	鉄骨造	14,385	7	11	18	325	ST
計		577(23)				103,095	6,720	375	4,245	11,340	3,567		58,310	31	31	62	1,050	

※ 青笹小学校及び遠野中学校の屋内運動場の面積は、地域学校連携施設分の面積を含む。

(7) 市立小・中学校、県立高等学校要覧 ※ 児童生徒数、職員数は令和4年5月1日現在。



## 遠野市立 遠野小学校

所在地 〒028-0515 遠野市東館町11-28  
電話 0198-62-3231 FAX 0198-62-8922

校長 佐々木 美 紀 児童数 236名  
副校長 及 川 雅 洋 職員数 24名

### ●主な沿革

明治6年 瑞応院に横田村第一小学校として創設  
昭和23年 遠野小学校と改称  
昭和36年 遠野東小学校が分離創設  
昭和43年 遠野東小学校火災  
昭和44年 遠野小学校と遠野東小学校が名目統合  
昭和45年 新校舎に引っ越し  
昭和46年 遠野北小学校設置に伴い、一部名目分離、  
遠野北小学校遠野校舎を設置  
昭和48年 遠野北小学校遠野校舎が廃止  
遠野北小学校として分離  
遠野小学校創立百周年記念式典挙行  
昭和49年 ことばの教室開設  
昭和57年 全校音楽集会活動「遠野の里の物語」発表  
昭和58年 きこえの教室開設  
昭和62年 情緒障害児学級開設  
平成4年 遠野小学校創立120周年記念式典挙行  
平成5年 校舎大規模改造事業開始  
平成8年 校舎大規模改造事業完成  
平成13年 西体育館解体  
ことばの教室増設（通級）  
平成14年 遠野小学校創立130周年並びに全校表現活  
動20周年記念講演会開催  
平成16年 東体育館屋根修理  
平成18年 全校表現活動25周年  
平成19年 岩手県立花巻養護学校（現・岩手県立花巻  
清風支援学校）分教室開室  
平成21年 特別支援学級増設（自閉症・情緒障がい）  
耐震化工事完成  
平成22年 全校表現活動 県芸術祭開幕フェスティバルで発表  
平成23年 全校表現活動 文化による復興シンポジウムin東京  
全校表現活動30周年  
平成24年 体育館完成  
平成28年 特別支援学級増設（聴覚障がい）  
平成29年 遠野小森林愛護少年団発足  
平成30年 全校表現活動市民センター大ホール発表  
令和3年 全校表現活動「遠野の里の物語」  
第40回記念発表会

### ●地域の状況

本校は、遠野市の行政、文化関連施設のある中心市街地に位置している。

学区は商業住宅地域であるが、中心地域の児童数が減少。宅地整備に伴い南側地域の児童数が増加してきている。父母や地域住民の教育に対する理解と関心が高い。遠野町地域教育協議会など各種団体や地区に支えられている。

町民運動会、河川一斉清掃、遠野まつり、地区子ども会等への参加を通して、子ども達は地域の中で育てられている。

### ●教育目標

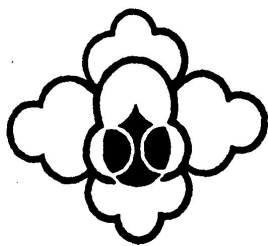
- 1 本気で自ら学ぶ子ども（知育）
- 2 心豊かでやさしい子ども（徳育）
- 3 たくましく丈夫な子ども（体育）

### ●本年度の研究主題

「児童が自ら学び、達成感をもてる授業」  
—国語科・算数科における、主体的に学び合う学習活動の工夫を通して—

### ●特色ある教育活動

- 1 郷土に対する誇りと自信を育て、国語科・音楽科・体育科・総合学習で培った力を集結した全校表現活動「遠野の里の物語」の展開
- 2 「いきいきタイム」を活用した多様な活動  
・集会活動  
・全校表現活動  
・パワーアップテスト（国語・算数）等の学力向上
- 3 花巻清風支援学校遠野分教室との交流  
・学習や学校行事での交流（運動会・学習発表会・修学旅行・宿泊学習）  
・休み時間・児童会活動の交流
- 4 体力向上をめざした取組  
・運動会での高学年リズムなわとび  
・体力向上運動「チャレラン」



# 遠野市立 遠野北小学校

所在地 〒028-0541 遠野市松崎町白岩字薬研淵43  
電話 0198-62-2030 FAX 0198-62-2031

校長 宮川 信子 児童数 269名  
副校長 八幡 ますみ 職員数 28名

## ●主な沿革

- 昭和46年 遠野市立遠野北小学校名目統合（松崎・駒木・遠野校舎）
- 昭和47年 校舎新築工事竣工
- 昭和48年 屋内体育館竣工・校庭整備完了
- 昭和53年 プール並びに白岩児童館落成式
- 昭和55年 校舎増築工事（4教室）竣工  
開校10周年記念式典（校旗・校章旗披露）
- 昭和56年 遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
- 平成2年 文部省指定「社会科」学校公開  
開校20周年記念式典（薬研太鼓編成・緞帳設置他）
- 平成7年 ことばの教室開設
- 平成9年 コンピュータ室設置  
遠野市教育委員会指定「社会科・生活科」学校公開
- 平成12年 創立30周年記念式典（薬研沼造成）
- 平成14年 岩手県教育委員会・遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
- 平成15年 交通安全優良校として全国表彰受賞
- 平成16年 学力向上フロンティアスクールとして学校公開
- 平成20年 遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開  
校舎改造工事竣工
- 平成21年 プール・体育館完成
- 平成22年 太陽光パネル発電設備・多目的ホール棟完成・屋外環境整備工事完成  
情緒障がい児学級開設  
創立40周年記念式典・教育環境整備完成
- 平成23年 職員室拡張工事・給食搬入口移設工事・薬研沼移設工事等完成
- 平成24年 ことばの教室開設20周年記念式典
- 平成25年 遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開  
岩手県算数教育研究大会会場校  
岩手ユネスコ賞文化賞受賞「薬研太鼓」
- 平成27年 優良少年消防クラブ消防庁長官受賞  
再生可能エネルギー等設備設置工事完成
- 平成28年 岩手県交通安全模範校表彰
- 平成30年 特に優良な少年消防クラブ 総務大臣賞受賞  
遠野市教育委員会指定「算数科」学校公開
- 平成31年 病弱学級開設
- 令和2年 創立50周年記念式典・教育環境整備完成

## ●地域の状況

本校は、早瀬川の北寄りから清流猿ヶ石川に沿った遠野盆地の中央に位置し、松崎町全域と遠野第12区、第13区を学区としている。バイパスの開通に伴い、住宅化と商業地域としての再開発が進み、ますます市街化が拡大している。

文化的には、横田城跡、松崎観音、母也神社など遠野物語にまつわる史跡も多く、訪れる人も多い。

本校は、昭和46年、遠野小学校の一部と松崎小学校、駒木小学校の3校の統合により設置され、令和2年に創立50周年を迎えた。

地域住民、保護者の教育に対する理解と関心が高い地域である。

## ●教育目標

『豊かな心を持ち 心身ともに健康な子ども』の育成

- ・よく学びよく考える子ども
- ・明るく思いやりのある子ども
- ・心身ともに健康な子ども
- ・進んで仕事をする子ども

## ●本年度の研究主題

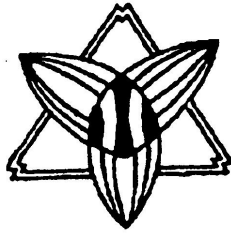
主体的に学ぶ児童の育成

～確かな力を身につける算数科の指導を通して～

## ●特色ある教育活動

- 1 学校とPTAが協働して「まなびフェスト」に取り組み、基本的な生活習慣の確立と豊かな心の醸成を図る。
- 2 キャリア教育をめざした郷土理解学習や地域人材・場の活用を図りながら、地域と連携した教育活動の推進を図る。
- 3 薬研太鼓を中心とした表現力を高める教育活動の推進を図る。





# 遠野市立 綾織 小学校

所在地 〒028-0532 遠野市綾織町下綾織13-13-5  
電 話 0198-62-2803 FAX 0198-62-2803

校 長 平 芳 則 児童数 53名  
副校長 豊 川 浩 子 職員数 16名

## ●主な沿革

- 明治6年 光明寺庫裡に綾織小学校開校  
明治45年 綾織尋常小学校校舎、新崎尋常小学校校舎、山口尋常小学校校舎改築落成式を3校合同で挙行  
大正6年 綾織尋常小学校となる  
昭和13年 綾織、新崎、山口の3校を合併し、綾織尋常小学校と称する  
昭和22年 綾織小学校と改称、綾織中学校を創設し、本校内に併置  
昭和28年 小学校創立80周年記念式典を挙行  
昭和33年 校歌制定式典を挙行  
多田邦子作詞、千葉了道作曲  
昭和38年 学校プール完成  
昭和42年 若竹鼓笛隊結成  
昭和47年 新校舎に移転完了、校舎鉄筋2階建屋内体育館完成、落成式、校章制定  
昭和48年 創立100周年記念式典並びに祝賀会、記念誌発行、記念造園を実施  
平成5年 綾織小学校創立120周年並びにプール落成記念式典及び祝賀会を挙行  
平成10年 コンピュータ室設置  
平成14年 校歌碑建立  
平成16年 運動大好き岩手っ子育成事業実践校県指定文科省「体力向上実践校」指定  
平成17年 岩手県学校安全優良校賞受賞（県教委）  
平成21年 校舎改築工事開始  
平成22年 新校舎完成  
平成23年 校舎供用開始、落成記念式典挙行  
平成24年 市教委指定学校公開研究会「国語科」  
平成25年 多年にわたる「水生生物による水質調査」に感謝状（県）  
旧綾織中学校校舎を小学校特別教室に改造  
平成27年 特別支援教育学級を設置  
平成28年 石上の園20周年 本校への感謝状受賞  
プール床塗装工事  
平成29年 市教委指定学校公開研究会「算数科」  
岩手県よい歯の学校表彰「優良校」  
令和2年 特別支援学級開設（知的1、情緒1）  
令和3年 情報通信ネットワーク環境整備工事終了  
県P連よりPTA団体表彰受賞

## ●地域の状況

綾織町は、遠野盆地の西部に位置し、南部及び北部、西部と山地に囲まれている。中央部の平野は水田として開け、米が主要産物となっている。

最近では兼業農家が大半であるが、国道283号沿いの道の駅「風の丘」では、地元農家の野菜直売が人気を集めている。「遠野物語」に関わる観光名所も多く、縄文後期の遺跡も注目されている。

各家庭は共稼ぎが多く、ほとんどの児童が下校後は児童館で過ごす。保護者の学校への協力がとても良く、学校行事や参観日、PTA作業などには、ほぼ全家庭が参加する。

## ●教育目標

豊かな心を持ち、自ら学び続けるたくましい子ども

○心をあわせすすむ子ども [やさしく]

○すすんで勉強する子ども [かしこく]

○たくましく生きる子ども [たくましく]

## ●本年度の研究主題

「自分ごととして学びをとらえ、  
学び続ける子どもを目指して」  
～主体的に思考し、表現する力を高める  
算数科の授業づくり～

## ●特色ある教育活動

◇地域に根ざした「ふるさと綾織学習」

① 水生生物調査…環境学習/居住地の汚染調査

② さき織り…地域人材活用

/タペストリーの制作

③ 子ども語り部/昔話を題材とした表現活動

④ 交流学习/石上の園、祖父母との交流

⑤ 農業体験学習/勤労体験（畑の作物）

⑥ ふるさと地域探訪学習/遠足、地域探検

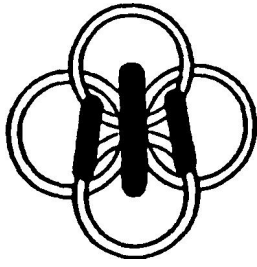
⑦ 郷土料理学習/郷土料理の学習と調理

⑧ 復興学習/遠野市の後方支援、綾織の支援

◇ 徳・知・体のバランスのとれた教育推進

◇ 「まなびフェスト」達成に向けた取組

◇ 生命の尊重と安全教育の推進



# 遠野市立 小友小学校

所在地 〒028-0481 遠野市小友町16-133  
電 話 0198-68-2220 FAX 0198-68-2220

校 長 菊 池 春 夫 児童数 32名  
副校長 佐 藤 泰 之 職員数 13名

## ●主な沿革

- 昭和58年 鮎貝小学校、小友小学校、長野小学校、鷹鳥屋小学校の4校の統合により遠野市立小友小学校創立  
(在校児童数 152名、教職員数11名)
- 昭和59年 校章、校歌を制定
- 昭和61年 校旗作成委員会から校旗を寄贈
- 昭和63年 プール完成、築山設置(喜輪山と命名)  
遠野市立小友小学校落成式挙行
- 平成元年 学校花壇設置(P T A奉仕活動)
- 平成3年 かぜの子学級(特殊学級)新設
- 平成4年 生活科実践推進協力校指定(岩手県)  
開校10周年記念式典
- 平成6年 教員住宅(公舎)1棟2世帯竣工
- 平成8年 スポーツ活動推進校指定(岩手県)
- 平成9年 人権教育開発実践校指定(遠野市教育委員会)  
人権教育研究指定(文部省)
- 平成10年 「人権教育」学校公開
- 平成13年 第51回県へき研久慈大会において研究発表  
第17回東北地区へき研山形大会において研究発表
- 平成14年 プール上屋落成式  
開校20周年記念式典
- 平成15年 わかる授業創造(国語)授業公開
- 平成16年 青少年赤十字加盟20周年表彰受賞
- 平成17年 F M F 米国教育者学校訪問受入れ
- 平成21年 道徳教育研究指定(遠野市教育委員会)  
遠野物語発刊 100周年記念ステージに  
全校児童参加  
スクールバス更新
- 平成22年 道徳学校公開研究会
- 平成24年 財団法人遠野市教育文化振興財団「教育文化奨励賞(団体の部)」受賞  
岩手県教育委員会より復興教育推進校に指定
- 平成25年 岩手県教育委員会より道徳教育推進事業実施校に指定  
開校30周年記念式典
- 平成26年 岩手県教育研究発表会にて道徳教育実践発表
- 平成29年 学校公開研究会(算数)
- 平成30年 遠野市観光協会より昔話まつり感謝状受賞
- 平成31年 鷹鳥屋森林愛護少年団に移行
- 令和3年 「子ども語り部活動」第26回いわてユネスコ文化賞受賞

## ●地域の状況

小友町は、遠野市の南西端に位置し、西部は奥州市、南部は住田町に接しており、総面積は102km<sup>2</sup>である。

集落は、長野川に沿った長野地区、鷹鳥屋川と山谷川に沿った鷹鳥屋地区と山谷地区、長野川と鷹鳥屋川の合流点を中心とした小友地区、小友川の下流に沿った鮎貝地区の5地区で形成されている。各地区は、それぞれ険しい山に囲まれた寒冷地である。

交通路は、国道107号が南北に縦断し、町の中心部小友地区から遠野・江刺線が西方に横断している。

地区内の生産状況は、米づくりを主体とする山地農業であり、他に、畜産、ハウス野菜栽培が盛んである。

小友は、慶長年間に長野に金鉱が発見されて大きく発展を遂げた。金鉱景気は明治から昭和初期まで続いた。広大な面積を占める山林の仕事に従事している人もいるが、第2種兼業農家が大方を占めており、夫婦共稼ぎの家庭が多い。各地区には郷土芸能や伝統行事があり、小・中学生が伝承活動を行っている。学校の教育活動とタイアップした活動は、地域の教育の源泉となり、子どもの健全育成の大きな力となっている。

## ●教育目標

- 「進んで学びよく考える子ども」
  - ① 学習習慣を身につけ、進んで学習に取り組みます。
  - ② 自分の考えを磨き表現します。
- 「明るくて思いやりのある子ども」
  - ① 相手のことを考えて行動します。
  - ② 人の役に立つよう進んで行動します。
- 「健康でねばり強い子ども」
  - ① めあてを決めて、進んで運動します。
  - ② 規則正しく生活し、健康な体をつくります。

## ●本年度の研究主題

「主体的に学ぶ児童を育てる指導のあり方」  
ー算数科における「学びあい」と「振り返り」の工夫を通してー

## ●特色ある教育活動

- ・伝承活動  
「小友の話っこ聞きたいな」の表現活動  
小友地区に伝わる昔話やしし踊りや歌で構成されており、全校児童一体となって取り組んでいる。
- ・ふれあい活動  
ふれあいホーム小友への訪問交流  
被災地への訪問  
地域の独居老人宅へ手作りカレンダーや年賀状を届ける活動
- ・子ども語り部認定児童による市や地域活動における「語り」の披露



# 遠野市立 附馬牛小学校

所在地 〒028-0663

遠野市附馬牛町下附馬牛11-43-1

電話 0198-64-2220 FAX 0198-64-2220

校長 高橋 淳 児童数 40名

副校長 河野 俊治 職員数 13名

## ●主な沿革

- 昭和51年 遠野市立附馬牛小学校（明治7年創立）、遠野市立東禅寺小学校（明治9年創立）及び同小出分校の3校を統合して遠野市立附馬牛小学校とする
- 昭和52年 新校舎、屋内運動場、プール並びに地区センター庁舎完成による合同落成式挙行
- 昭和54年 遠野市教育委員会指定「理科」学校公開
- 昭和58年 遠野市教育委員会指定「国語」学校公開
- 昭和59年 教育の森造林
- 昭和60年 遠野市教育委員会指定「学校林実験校」
- 昭和62年 遠野市教育委員会指定「勤労体験推進校」
- 平成3年 ノースロップ賞受賞（学校林緑化推進活動）
- 平成4年 岩手県指定「自然保護モデル校」
- 平成5年 遠野市教育委員会指定「特別活動」学校公開
- 平成6年 創立120周年記念式典挙行
- 平成8年 県・市指定「環境教育推進校」
- 平成9年 授業実践交流会「作文指導」自主公開
- 平成10年 プール上屋完成
- 平成11年 森林ボランティアのぞみの森調整事業第48回全国へき地教育研究大会会場校
- 平成13年 岩手県教育表彰学校教育賞受賞
- 平成14年 授業実践交流会「総合的な学習の時間」自主公開
- 平成16年 第47回岩手県造形教育研究大会遠野地区大会会場校
- 平成17年 遠野地区小規模・複式学校教育研究会授業研究会（3学年算数）
- 平成19年 大出小中学校閉校（3月）に伴い、学区が7区となる
- 平成23年 遠野市教育委員会研究指定学校公開研究会（小中連携・算数）
- 平成24年 日航財団スカラシップ交流事業（12ヵ国との交流会）
- 平成26年 遠野市教育委員会指定「国語・算数」学校公開  
旧附馬牛中学校校舎に校舎移転
- 平成27年 校庭に築山設置
- 平成30年 いわてユネスコ活動奨励賞受賞（遠野ユニバーニャ交流）
- 令和元年 市教育委員会指定学校公開研究会（国語）
- 令和2年 青少年赤十字活動30年継続感謝状授受
- 令和3年 第37回東北地区へき地教育研究大会兼第61回岩手県小規模・複式学校教育研究会岩手中部大会附馬牛会場

## ●地域の状況

本校は、遠野市の市街地から北に約12km、猿ヶ石川に沿ってバスで約30分のところに位置し、周囲は自然美に恵まれ、遠くに霊峰早池峰を望む景勝の地にある。

学区は3区からなり、その中心部は上柳集落及びその周辺で、保育所、地区センター、郵便局、お寺、商店街があり、人家も密集している。

その他の地区は、20戸～30戸位の集落を形成し、各地に点在している。

この地は、遠野郷文化発祥の地ともいわれ、早池峰山信仰を中心に早くから山岳信仰、仏教、神道の拠点ともなった地域でもある。

## ●学校教育目標

心身ともに健康で学力があり、向上心と実践力をもった子どもの育成

- 1 思いやりのある心豊かな子ども
- 2 進んで学習する子ども
- 3 進んで体をきたえる子ども

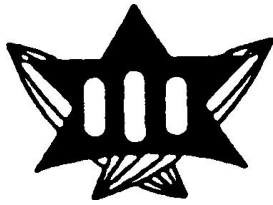
## ●本年度の研究主題

児童が「わかる」「できる」を実感できる  
国語の授業づくり

～複式学級における学び合い、学びを表現する児童の育成をとおして～

## ●特色ある教育活動

- 1 附馬牛の郷に学ぶ  
地域の人材を活用しながら地域を素材とした学習を進めていく中で、先人の生き方を学び、郷土愛を高めるとともに、自分の生き方を考える。
- 2 小規模校の特性を活かした活動  
たてわり班遊び・体力づくり（マラソン・長縄跳び）
- 3 ふれあいホームや障害者支援施設遠野ユニバーニャとの交流



# 遠野市立 土淵小学校

所在地 〒028-0555 遠野市土淵町土淵6-1  
電 話 0198-62-2804 FAX 0198-62-2804

校 長 日 影 館 亨 児童数 79名  
副校長 石 澤 綾 子 職員数 15名

## ●主な沿革

明治10年 土淵常堅寺に創立  
明治14年 公立土淵小学校と改称  
明治23年 土淵町留場内に位置変更  
明治37年 校舎新築落成式  
大正5年 飯豊分教場、山口分教場開設  
昭和7年 琴畑分教場開設  
昭和22年 土淵村立土淵小学校と改称  
昭和26年 柄内分校が土淵第二小学校に独立  
昭和29年 遠野市立土淵小学校と改称  
昭和50年 遠野市交通安全研究指定校  
昭和53年 現在地に新校舎建築・山口分校閉校  
昭和54年 創立 100周年記念式典挙行  
水泳用プール完成  
昭和58年 岩手県道徳教育研究会大会会場  
昭和59年 土淵第二小学校本校に統合  
平成元年 校庭拡張  
平成4年 IBC作文学校賞  
平成7年 県学校安全優良校表彰  
道徳教育公開、県道徳研究会大会会場  
平成8年 昔語り伝承活動テレビ放映  
平成9年 創立 120周年記念式典  
平成10年 文部省教育映画「生涯学習」に出演  
民放テレビ「ドキュメント'98」で全国放送  
平成11年 県学校環境衛生優良校  
「子ども語り部」の発表（教振運動）  
平成12年 市民憲章運動推進協議会から「実践活動」受賞  
平成13年 県歯科医師会優良校表彰  
平成15年 学校公開（国際理解教育）  
平成16年 岩手県学校歯科保健優良校表彰  
平成19年 日本赤十字社「青少年赤十字金色有功章」受章  
平成20年 児童会資源回収等で遠野市から環境表彰  
子ども語り部活動でふるさと公社から感謝状  
平成21年 いわてユネスコ文化賞受賞（2回目）  
教育文化奨励賞受賞（2回目）  
遠野市教育委員会指定小中連携教育研究公開  
特別支援学級設置  
平成25年 20年間にわたる水生生物調査の功績により  
平成27年 県から感謝状、教育文化奨励賞受賞（3  
回目）  
平成28年 遠野市教育委員会指定学校公開（国語科、  
算数科、社会科、特別支援教育）  
平成29年 140周年記念ステージ幕一式購入  
青少年赤十字加盟継続30年表彰  
平成30年 「早寝早起き朝ごはん」運動文部科学大臣賞受賞  
平成31年 校舎大規模改造第1期工事完了  
令和2年 校舎大規模改造第2期工事、体育館大規模改造工事完了  
岩手県教育表彰受賞  
教育文化奨励賞受賞（4回目）  
令和3年 遠野市教育委員会指定授業実践交流会（算数科）  
岩手県PTA広報コンクール最優秀賞受賞（2回目）

## ●地域の状況

本学区は、遠野市の北東部に位置し、国道 340号  
をはさんで南北にやや細長く非常に広い。南部は平  
坦で比較的水田が多い。北部は傾斜地で畑地の割合  
が高い。集落は、国道 340号沿いと、それから入っ  
た枝道に点在している。

産業の中心は農業で、水稻、たばこ、ハウレンソ  
ウ、ホップ等が栽培されている。近年は、副業とし  
て誘致企業やスーパー等への就業が増えてきている。

また、土淵町は、柳田國男の「遠野物語」の生み  
の親である民俗学者佐々木喜善の生まれ育った地で  
あり、それを語り継ぐ子ども語り部の活動が行われ  
ている。地域においては郷土芸能としてしし踊りや  
神楽、さんさ踊り等が継承されている。

## ●教育目標

自らの未来を切り拓く主体的・創造的な子ども  
の育成

- ・よく考える子〔知〕
- ・心ゆたかな子〔徳〕
- ・たくましい子〔体〕

## ●本年度の研究主題

分かった喜び、できた楽しさを感じる児童の育成  
～数学的な見方・考え方を働かせ、能動的に学び合うた  
めの教師のコーディネート工夫～

## ●特色ある教育活動

- 1 学習意欲、思考力、判断力、表現力の向上を  
目指す教育活動の推進
- 2 地域の人的・物的教育資源を活かし、地域へ  
の理解を深めるふるさと教育の推進  
（子ども語り部活動・ホップ学習・稲作体験・  
琴畑水源林植樹・伝承園訪問・土淵保育園訪問  
など）
- 3 保護者と教育目標を共有し、まなびフェスト  
達成に向けた日常取組の充実（家庭学習、早ね  
・早起き・朝ごはん、もく読みなど）



# 遠野市立 青 笹 小 学 校

所在地 〒028-0503 遠野市青笹町青笹11-1  
電 話 0198-62-2802 FAX 0198-62-2802

校 長 鈴 木 久美子 児童数 135名  
副校長 戸 羽 太 一 職員数 16名

## ●主な沿革

明治8年 青笹小学校創立  
昭和41年 青笹小学校名目統合発表（2校1分校）  
昭和42年 統合校舎新築工事落成  
青笹しし踊りの伝承活動開始  
昭和43年 体育館工事落成  
昭和46年 上閉伊管内国語教育研究会開催  
昭和48年 市指定国語教育研究公開開催  
昭和50年 放送教育研究（国・社・理）公開開催  
昭和51年 創立100周年並びに学校統合10周年記念行事挙  
行  
昭和55年 市教委指定国語（作文）研究公開  
昭和57年 飯豊地区学区変更（土淵小学校へ）  
昭和58年 博報賞受賞（国語教育）  
昭和59年 教育文化奨励賞受賞（国語教科）  
昭和60年 よい歯の学校表彰受賞  
交通安全模範校の学校表彰受賞（県知事）  
昭和61年 教育文化奨励賞受賞（交通安全）  
昭和63年 日本赤十字岩手支部青年赤十字加盟  
平成3年 健康優良学校奨励賞受賞（県教育委員会）  
平成5年 交通安全学校表彰（東北管区警察局長賞、東北交通協会会長賞受賞）・遠野市功労者表彰（交通安全）  
平成8年 市教委指定国語（作文）研究公開開催  
平成11年 体育館完成  
平成13年 新校舎・上屋付きプール完成  
平成18年 市教委指定小中連携教育研究公開  
平成19年 日本赤十字社「青少年赤十字金色有功章」受章  
平成21年 県学校環境衛生「優良校」受賞  
平成20年～22年「地球温暖化を防ごう隊」県表彰  
平成24年 青笹小学校PTA県教育表彰  
平成25年 青笹小学校PTA優良PTA文部科学大臣表彰  
平成26年 市教委指定算数研究公開  
平成28年 青笹小創立50周年記念行事挙  
行  
平成29年 日本赤十字社加盟30年表彰  
平成30年 全国学校図書館協議会「学校賞」受賞  
令和元年 遠野市教委指定学校公開（国語）  
岩手県学校図書館研究会遠野大会  
令和2年 子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰  
「どんぐり・花を育てようin遠野」開催  
岩手県PTA連合会表彰

## ●地域の状況

本校学区は、遠野市の中心市街地から東方約5kmに位置し、学区の中央を国道283号が走り釜石市へ通じている。周囲は東に六角牛山、北に早池峰山、西に石上山のいわゆる遠野三山を眺めることができる自然に恵まれた静かな農村地帯である。

ここ数年、児童数に大きな変化は見られない。農家の家庭も多いが、保護者は会社員として市内や近隣地域に働きに出ている。

また、学区内には遠野運動公園野球場、陸上競技場などのスポーツ・レクリエーション施設や遠野市総合防災センターが整備され、将来の発展が期待されている。

## ●教育目標

- ・よく考え、本気で学ぶ子ども（知育）
- ・豊かな心で、思いやりのある子ども（徳育）
- ・強い体で、たくましい子ども（体育）

## ●本年度の研究主題

見通しをもち、主体的に学ぶ子どもの育成  
～国語科「読むこと」における学習意欲を高める指導の工夫～

## ●特色ある教育活動

- 1 中学校区小中連携による教育活動の推進と学力向上に結び付く授業改善の取組
- 2 郷土の誇りを育てる無形文化財「青笹しし踊り」の伝承活動
- 3 地域を知り、地域に学ぶ体験活動  
（青笹森林愛護少年団活動、稲作体験、昔遊び、豆腐作り）
- 4 通年の体力づくり（マラソン・縄跳び）と健康安全教育の推進（早寝・早起き・朝ごはん、う歯改善への取組）



# 遠野市立 上郷小学校

所在地 〒028-0771 遠野市上郷町佐比内46-56-1  
電 話 0198-65-2031 FAX 0198-65-2031

校 長 関 口 一 二 児童数 47名  
副校長 赤 塚 知 秋 職員数 13名

## ●主な沿革

- 明治7年 上郷小学校の前身である板沢小学校を曹源寺内に開校
- 明治8年 平倉に平倉小学校開校
- 明治10年 来内に来内小学校開校
- 明治13年 佐比内・細越に佐比内小学校、東細越小学校、西細越小学校開校
- 昭和24年 校歌を制定
- 昭和29年 町村合併による遠野市の誕生で遠野市立上郷小学校と改称
- 昭和41年 統合校舎新築落成記念式典挙行  
完全給食開始
- 昭和49年 開校 100周年記念式典挙行  
校庭等に体力づくり施設設置
- 昭和56年 プール完成落成式
- 昭和57年 校舎大改装工事完了
- 平成6年 開校 120周年記念式典挙行
- 平成7年 健康推進学校県代表として全国表彰
- 平成11年 学校安全優良校
- 平成12年 日本赤十字から銀色有功章受章
- 平成13年 県小学校国際理解（英会話）調査研究校（平成13・14年）指定
- 平成14年 国際理解教育（英語活動等）公開授業
- 平成16年 ジョイント・スクール推進事業（小・中連携・県指定）  
校舎改築工事開始
- 平成17年 小・中連携教育公開研究会（平成15～17年市指定、平成15・16年県指定）
- 平成18年 校舎、体育館改築工事完成
- 平成19年 校舎落成記念式典並びに創立 130周年記念式典挙行
- 平成21年 外国語活動研究推進校（文科省指定）
- 平成22年 管内外国語中核教員研修会公開授業
- 平成24年 学校環境優良校表彰
- 平成26年 特別支援学級1学級（知的）設置  
開校140周年記念事業実施（航空写真撮影・講演会）
- 平成27年 市教委指定「算数科」学校公開
- 平成28年 特別支援学級1学級（情緒）設置
- 平成31年 複式学級設置
- 令和2年 市教委指定授業実践交流会（算数科）

## ●地域の状況

本校は、昭和29年の町村合併以前における「上郷村」全域を学区としている。本校学区は市の東部に位置し、北東には六角牛山、東部には大開山がある。

町内を早瀬川と猫川が流れ、その川沿いの低地では米、野菜、葉たばこ、ホップ等が生産されている。

上郷は、昔から遠野盆地と三陸沿岸地方とを結ぶ交通及び物資流通上の要路に当たり、さらに釜石製鉄所の創業や大峰鉱山の開山により農産物を中心とした物資や労働力の供給地として栄えていた。しかし、昭和46年の大峰鉱山閉山以降、人口は減少し、高齢化が進んでいる。

## ●教育目標

- ・すすんで「学ぶ」子ども
- ・美しい心で「表現する」子ども
- ・つよい体に「きたえる」子ども

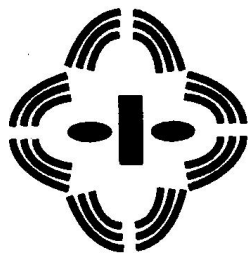
## ●本年度の研究主題

主体的に取り組む子どもの育成  
～算数科における「学習意欲の持続」と「学び合い」の工夫を通して～

## ●特色ある教育活動

～豊かな心と丈夫な体を培う教育の推進～

- ◎ 心を育てるふれあい活動
  - ・縦割り班活動等を通じた異年齢児童との交流
  - ・上郷しし踊りを通じた地域文化の伝承
  - ・「なでる牧場」や「農業と販売体験」、「語り部」「国際理解教育」等の地域素材や人材との体験学習
- ◎ 体をきたえる実践活動
  - ・徒歩通学の奨励や休み時間や授業中でのマラソン、サーキット、縄跳び等による体力づくり
  - ・食育の推進等による健康教育の推進
  - ・保健安全意識と基本的生活習慣の定着をめざした取組



# 遠野市立 宮守小学校

所在地 〒028-0304 遠野市宮守町下宮守26-6  
電 話 0198-67-2135 FAX 0198-67-2135

校 長 菊 池 国 子 児童数 81名  
副校長 長 畑 美 穂 職員数 14名

## ●主な沿革

- 明治7年 公立下宮守小学校を開校  
明治8年 公立上宮守小学校を開校  
明治9年 宮守小学校第1分校を開校（塚沢小学校）  
宮守小学校第2分校を開校（鹿込小学校）  
昭和52年 宮守・塚沢・鹿込・上宮守の4小学校統合  
により宮守村立宮守小学校となる  
スクールバス運行を開始  
校歌・校章を制定  
昭和54年 学校公開研究会（国語科）  
昭和58年 新校舎完成  
昭和59年 新体育館完成  
昭和59年 学校公開研究会（国語・算数科）  
昭和60年 学校公開研究会（国語・算数科）  
昭和63年 学校公開研究会（国語科）  
平成3年 開校15周年記念で校訓を制定  
平成4年 学校公開研究会（国語科）  
平成6年 学校安全優良校表彰（県教委）  
平成8年 学校公開研究会（国語科）  
平成10年 学校安全優良校表彰（県教委）  
平成12年 学校公開研究会（総合）  
平成15年 体育館と校舎東1階・2階トイレ水洗化  
平成16年 学校公開研究会（算数科）  
平成17年 市村合併で遠野市立宮守小学校と改称  
平成18年 創立30周年事業  
（遊具設置・記念バザー・記念誌発行）  
伝統芸能伝承活動「さんさ踊り」導入  
優良少年消防クラブ全国表彰  
平成19年 伝統芸能「宮小さんさ踊り」を開始し、  
遠野まつりに参加  
平成20年・21年 農山漁村におけるふるさと生活体験推進  
校として、5年生が宿泊体験活動  
平成23年 少年消防クラブが岩手県幼少婦人防火委  
員会長表彰  
平成24年 岩手県学校歯科保健優秀校受賞（～27年）  
平成26年 学校公開研究会（算数科）  
平成27年 いわてユネスコ文化賞受賞  
平成28年 創立40周年事業（記念誌発行）  
平成29年 新プール完成  
令和元年 学校公開研究会（算数科）  
令和2年 少年消防クラブ総務大臣賞受賞

## ●地域の状況

学区は、四方を山に囲まれた農村地帯である。北側に国道396号、南側に国道283号とJR釜石線が走る内陸部と沿岸部とを結ぶ交通の要所でもある。

父母や地域の教育に対する理解、関心は極めて高く、学校への協力、支援は大きい。社会教育、就学前教育、健康教育にも大きな力が注がれている。

## ●教育目標

心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成

- 1 明るく、思いやりのある子
- 2 よく考え、学習する子
- 3 健康で、たくましい子

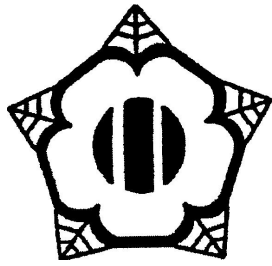
## ●本年度の研究主題

思考力・判断力・表現力を育てる国語指導のありかた

～意欲をもって学び合う授業づくりを通して～

## ●特色ある教育活動

- 1 ともりっ子を育てる「かがやき学習」  
・宮守の地域探検・観察・調査（郷土食づくり）  
・「生きること」「かかわること」を考える体験学習
- 2 異年齢の交流により、協力や思いやりの心を育む縦割り班活動
- 3 さんさ踊りの伝承芸能活動
- 4 朝読書・ブックボランティアの読み聞かせ等の読書活動



# 遠野市立 達曾部 小学校

所在地 〒028-0305 遠野市宮守町達曾部15-10  
電 話 0198-67-6133 FAX 0198-67-6133

校 長 高 橋 弘 寿 児童数 43名  
副校長 加 藤 貴 之 職員数 15名

## ●主な沿革

明治7年 第七大学第十九中学区第十一番小学校として開校  
昭和53年 達曾部小学校と中斉小学校の2校が統合して宮守村立達曾部小学校が創立  
昭和55年 体育館落成式、旧達曾部中学校に移転  
昭和57年 県学校環境緑化コンクールで入選  
昭和62年 学校統合10周年記念式典を挙げる（トランペット鼓隊披露）  
平成5年 文部省・村教委指定「道徳」の公開研究会  
平成9年 村教委指定「国語」の公開研究会  
平成10年 県へき地・小規模教育研究大会で実践発表  
村立小中学校統合20周年記念式典開催  
平成12年 新校舎落成式典、祝賀会挙げる  
平成13年 体育館改修工事開始  
校庭及び遊具完成  
平成14年 プール完成  
宮守村教育委員会指定「総合・生活科」の公開研究会実施  
平成15年 県グリーンスクール研究校指定（～16年度）  
平成17年 市村合併で遠野市立達曾部小学校と改称  
平成18年 学校安全優良校として受賞（県教委）  
平成19年 統合30周年記念事業実施  
平成20年 中国地域保健研修視察団来校  
平成21年 県小規模・複式学校教育研究大会実践発表  
平成23年 岩手県学校歯科保健優良校受賞  
平成24年 岩手県学校歯科保健優良校受賞  
平成25年 市教委指定「国語」の公開研究会  
岩手県学校歯科保健優良校受賞  
平成26年 第19回いわてユネスコ文化賞受賞  
（湯屋神楽芸能の保存活動）  
平成27年 地球温暖化防ごう隊県表彰  
平成28年 読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰  
平成29年 創立40周年記念誌発行  
平成30年 市教委指定学校公開研究会「聞く・話す」  
令和元年 達曾部小学校ホームページ開設  
令和2年 観察園の木を剪定、校庭整地  
令和3年 遠野市環境保全実践校表彰

## ●地域の状況

本校学区は遠野市の北西部に位置し、盛岡市・花巻市と遠野中心市街地をつなぐ西の玄関口となっている。達曾部という地名は「樺の木が多くある沢」を意味するアイヌ語に由来する。周りには水田が広がり、達曾部川と里山に囲まれたのどかなこの地は、昔は盛岡と遠野・沿岸部を結ぶ交通の要地となっていた。

また、豊かな清流を生かしたわさびが特産物となっていて、いろいろな食品に加工されている。

## ●教育目標

未来を創る「自立と共生」

～自ら学び 共によりよく生きようとする子ども～  
かしこく やさしく たくましく

## ●本年度の研究主題

主体的に学ぶ児童の育成を目指して

～社会科・生活科の導入と、  
表現活動の工夫を通して～

## ●特色ある教育活動

5つの分野により自立と共生を目指す学校経営

### 1 まなび（学びの自立）

- ・個に応じた指導の推進
- ・読書活動の充実

### 2 こころ（他者との共生）

- ・道徳指導、教育相談の充実
- ・一人一役、異学年活動の充実

### 3 からだ（生活の自立）

- ・基本的生活習慣の確立
- ・メディア指導

### 4 P T A（未来への自立）

- ・学校と家庭の共通理解に立った協働活動
- ・家族の一員としての意識づくり

### 5 地域連携（地域との共生）

- ・保育園、児童クラブ、中学校との連携
- ・キャリアパスポートを活用した「ふるさと教育」の充実（人、文化、歴史）





# 遠野市立 鱒 沢 小 学 校

所在地 〒028-0303 遠野市宮守町下鱒沢17-5  
電 話 0198-66-2270 FAX 0198-66-2270

校 長 栃 内 秀 茂 児童数 15名  
副校長 小 原 由 理 子 職員数 9名

## ●主な沿革

明治7年 上鱒沢小学校創立  
下鱒沢小学校創立  
明治32年 下鱒沢小学校迷岡分教場開始  
昭和22年 上鱒沢小学校を鱒沢村立上鱒沢小学校と改称  
下鱒沢小学校を鱒沢村立鱒沢小学校と改称  
昭和23年 鱒沢村立迷岡小学校独立昇格  
昭和30年 鱒沢村立上鱒沢小学校、同鱒沢小学校、同迷岡小学校をそれぞれ宮守村立上鱒沢小学校、同鱒沢小学校、同迷岡小学校と改称  
昭和46年 宮守村立鱒沢小学校、同上鱒沢小学校を統合し、宮守村立鱒沢小学校創立  
昭和46年 水泳プール完成  
昭和47年 鉄筋3階建統合校舎完成  
昭和49年 創立100周年記念式典挙行  
昭和52年 宮守村立鱒沢小学校、同迷岡小学校を統合し、宮守村立鱒沢小学校創立  
昭和58年 「よい歯の学校」全国表彰  
昭和61年 屋内運動場落成  
平成3年 屋外運動場拡張工事竣工  
平成6年 特別教室（図工室・図書室）竣工  
平成10年 文部省地域指定研究「エイズ教育」学校公開研究会開催  
平成13年 スキーゲレンデ完成  
平成17年 市村合併で遠野市立鱒沢小学校と改称  
平成18年 統合30周年記念誌発刊  
平成19年 遠野市指定研究「算数」学校公開研究会  
鱒沢児童クラブ併設  
平成20年 防火扉の改修工事  
平成21年 耐震補強工事完成  
県特別支援教育研究大会・授業公開  
平成22年 緊急雇用対策事業による遊具の塗装  
平成23年 特別支援学級設置  
校庭南側雑木林（本校及びJR東日本の敷地）大規模伐採  
平成24年 岩手県PTA連合会広報コンクール最優秀賞受賞  
平成25年 本校PTA岩手県教育表彰  
平成26年 優良PTA文部科学大臣表彰  
平成27年 遠野市指定研究「国語」学校公開研究会  
平成28年 統合40周年記念誌発刊  
平成29年 いわてユネスコ文化賞受賞  
令和2年 遠野市教委指定授業実践交流会（国語科）  
令和3年 「交通安全優良学校」（全日本交通安全協会）

## ●地域の状況

鱒沢は、宮守町南部に位置し、猿ヶ石川の両岸に広がる農山村地域である。

学校は、この猿ヶ石川、国道283号と107号の分岐点、JR釜石線鱒沢駅を見下ろす高台にある。

学区民の教育に寄せる関心は高く、学校教育に対しても協力的である。

## ●教育目標

- ・ 進んで学ぶ子
- ・ 思いやりのある子
- ・ 体のじょうぶな子
- ・ ねばり強い子

## ●本年度の研究主題

主体的に学びに向かう子どもの育成  
～国語科における確かな読みの力を育てる  
指導の在り方～

## ●特色ある教育活動

- 1 地域の人々に学ぶ活動
  - ・ 郷土芸能しし踊りの伝承活動
  - ・ ふるさと学習活動
- 2 全校児童が心をつなげて表現する合唱奏「故郷の詩」の伝承活動
- 3 業間や放課後を活用した諸活動
  - ・ はきはき広場や児童集会
  - ・ ハッスルタイムやとことんタイム
- 4 図書ボランティアによる読書活動の推進
  - ・ 読み聞かせ



# 遠野市立 遠野中学校

所在地 〒028-0541 遠野市松崎町白岩11-30  
電 話 0198-62-2814 FAX 0198-60-2433

校 長 堀 村 克 利 生徒数 343名  
副校長 西 田 牧 恵 職員数 38名

## ●主な沿革

- 平成25年 2月 校舎改築第一期工事完成  
4月 遠野市立中学校再編成計画に基づき、遠野中学校、綾織中学校及び附馬牛中学校を閉校し、遠野市立遠野中学校を開校（生徒数413名、職員数32名）  
4月 遠野中学校開校式並びに第一回入学式  
8月 サッカー部 全国大会出場（ベスト8）  
平成26年 8月 サッカー部 東北大会 第3位  
陸上部東北大会男子の部総合第2位  
9月 校舎改築第二工期工事完成  
平成27年10月 学校公開研究会  
平成28年 2月 体育館改修工事完成  
8月 サッカー部 東北大会第 3位  
平成29年 8月 サッカー部 東北大会 準優勝  
サッカー部 全国大会出場  
9月 県防災スクール指定事業「避難所運営訓練」  
平成30年 7月 ブラジル視覚障がい者協会との交流会  
8月 サッカー部 東北大会出場（6年連続）  
11月 文科省国立教育政策研究所  
研究指定校事業 中学校外国語 公開研究会  
令和元年 8月 サッカー部 東北大会出場（7年連続）  
陸上部東北大会出場  
全日本春季軟式野球大会県予選優勝（全国大会出場権獲得）  
10月 サッカー部、野球部県新人大会優勝  
11月 県中文祭スローガン部門最優秀賞  
令和2年 9月 市教育委員会指定授業実践交流会  
10月 陸上部女子 県駅伝大会 第2位  
サッカー部 県新人大会 優勝  
11月 剣道部女子 県新人大会 第3位  
令和3年 4月 盛岡市内一周継走大会  
男子・女子ともに第3位  
8月 サッカー部 東北大会第3位  
サッカー部 全国大会出場  
10月 東北女子駅伝大会 第9位

## ●地域の状況

本校は、遠野盆地の中央部に位置し、学区は市街地（遠野町）と遠野バイパス周辺の新興住宅地（松崎町）、西に広がる田園地帯（綾織町）、北に伸びる農村地帯（附馬牛町）から構成されており、それぞれが交通の要路をなし、文化や産業交流の中心となっている。

学区民の教育に対する関心は高く、学校教育に対しても熱心で協力的である。

## ●学校目標

「知性を磨き 支え合い 夢拓く遠中生」  
（勤勉） （協働） （開拓）  
遠野に学び、<sup>ふるさと</sup>遠野を語る<sup>ふるさと</sup>、<sup>とおのびと</sup>遠野人の育成

## ●本年度の研究主題

主体的に学ぶ生徒の育成  
～「関わり合い」を育てるICT活用の  
場面を探りながら～

## ●特色ある教育活動

- 「関わり合い、支え合い、育つ、育てる」  
（コロナ禍でも、生徒同士、教師と生徒、地域と生徒等豊かな関わりから、感性を磨き自己を高める）
- 1 「共感的・協働的な学び合い」のある授業
  - 2 生徒会活動の充実と認め合う学級づくり
  - 3 生徒の生命を守り安全・安心な学校生活
  - 4 一人ひとりを大切にする生徒指導
  - 5 特別支援教育の充実と共通理解
  - 6 保護者・地域と連携・協働する教育活動
  - 7 地域・中高連携を活かした進路指導とキャリア教育の充実
  - 8 花巻清風支援学校分教室との日常的な交流・連携



# 遠野市立 遠野東中学校

---

所在地 〒028-0503 遠野市青笹町青笹10-16  
電 話 0198-62-2816 FAX 0198-62-2816

---

校 長 佐々木 誠 生徒数 131名  
副校長 小田島 篤 史 職員数 23名

---

## ●主な沿革

平成25年 校舎増築、大規模改造工事完成  
遠野市立中学校再編成計画に基づき、土淵  
中学校、青笹中学校及び上郷中学校を閉校  
し、遠野市立遠野東中学校を開校（生徒数  
163名、職員数20名）  
遠野東中学校開校式並びに第一回入学式

平成29年 遠野市教育委員会指定学校公開研究会  
体育館改修完了

平成30年 岩手県中学校総合文化祭最優秀賞を受賞  
令和元年 全国中学校総合文化祭富山大会出場

## ●地域の状況

本校の学区は、遠野市の南東部に位置する上郷地域と北東部に位置する土淵地域と東部に位置する青笹地域の3地域で構成されている。純農村地帯であるが、ほとんどが兼業農家であり、米作・葉たばこ・ホップ等の栽培に従事し共働きの家庭が多い。

古くから沿岸との交通の要所であったが、最近では沿岸部復興の物資輸送のための道路網の整備が進み、交通量も増えてきている。

土淵地域は「遠野物語」の中心地であり、観光資源が豊富である。また、学区全体を通して、伝承活動が盛んであり子供たちも重要な担い手となっている。教育文化に関わる地域の関心は高く保護者は教育熱心であり、地域で子供を育てようという風土がある。

## ●教育目標

「知・徳・体を鍛え  
未来を拓く人間性豊かな生徒の育成」

## ●本年度の研究主題

学び合い、考えを深める生徒の育成  
～主体的で協働的な活動を通して～

## ●特色ある教育活動

- 1 地域の歴史、文化、産業等を理解する。
  - ・地域人材やそれぞれの専門分野の知識が豊富な方から学ぶ機会を通し、郷土への理解を深める学習をする。
  - ・伝承活動に参加し、地域文化の継承者としての自覚を高める学習をする。
- 2 地域の人々とのつながりを深める。
  - ・地区行事などへの参加を通して交流を深めるとともに、地域社会の構成者としての役割を果たす学習をする。
  - ・地域の施設設備の清掃やボランティア活動を行い、奉仕の精神を身につける学習をする。
- 3 東日本大震災からの復興の状況を理解する。
  - ・復興事業に取り組んでいる方からのお話により、その状況を理解する。
  - ・災害復興に向けて、自分ができることを考え今後の活動に対する学習を深める。



# 遠野市立 遠野西中学校

所在地 〒028-0304 遠野市宮守町下宮守39-65  
電話 0198-67-2139 FAX 0198-67-3513

校長 新井野 邦 夫 生徒数 103名  
副校長 小 林 一 志 職員数 24名

## ●主な沿革

- 平成25年 遠野市立中学校再編成計画に基づき、小友中学校及び宮守中学校を閉校し、遠野市立遠野西中学校を開校（生徒数 145名、職員数18名）
- 平成27年 給食センター跡に多目的ホール完成  
太陽光発電システム稼動  
全国いじめ問題子供サミットに岩手代表として参加
- 平成28年 プール落成式
- 令和3年 岩手県PTA連合会広報コンクール最優秀賞  
全国中学校文化祭出場(氷口御祝)  
岩手県中学校新人大会軟式野球優勝

## ●地域の状況

本校は、平成25年、宮守町に設置されていた宮守中学校と小友町に設置されていた小友中学校が統合し、遠野西中学校として新設された。

遠野市の西部に位置する小友町と宮守町の全体が学区となっており、北は花巻市大迫町、西は花巻市東和町、奥州市江刺区、南は住田町と隣接している。

小友町、宮守町ともに米作りを主体とする農業が盛んである。水がきれいで県内有数のワサビの産地でもある。また、御祝や神楽などの伝統芸能も各地区で大切に伝承されてきた。

保護者や学区民の教育に対する関心は高く、たいへん協力的である。また、学校に対する地域の期待も大きい。

## ●教育目標

「郷土を愛し、新しい時代をたくましく生き抜く  
人間の育成」

- ・表現力を大切にし、主体的に学ぶ生徒（知）
- ・行動力を大切にし、豊かな人間性を身につけた生徒（徳）
- ・命を大切にし、心身ともに健康な生徒（体）
- ・思いを大切にし、地域や社会と関わり頑張りぬく生徒（志）

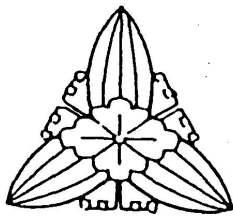
## ●本年度の研究主題

「深い学び」を実感できる生徒の育成  
～自主的に学ぶ自学システムの構築を目指して～  
〈研究の目標〉

生徒にとって「深い学び」を実感できる授業を教師が追求し、実践を重ねることにより、生徒に成就感や達成感を味わせ、学ぶことに対する自主性や主体性をさらに高める。

## ●特色ある教育活動

- 1 「あいさつ」「合唱」「応援」を柱とした校風づくり  
(1) 常に互いにあいさつが交わされる学校  
(2) 日常的に歌声が響き合う学校  
(3) 小友中と宮守中の伝統を生かした応援を創り出し、お互いを励まし合える学校
- 2 地域の教育力を生かした学校づくり  
(1) 地域の講師による「銀河ドリーム教室」  
(ふるさとの達人に学ぶ) の実施  
(2) 伝統芸能、ふきとり、全校写生会  
(3) 学校通信「西中 文の風」の学区内全戸配布
- 3 生徒が「深い学び」を実感できる授業づくり  
(1) 3つの視点を大切にしたい授業研究と実践  
視点1 学習意欲の向上  
視点2 言語活動の充実  
視点3 「ふり返り」の充実  
(2) 学習サイクルの定着（家庭学習との連動）  
(3) 「互見授業」の実施  
(4) 小中連携による学力向上実践



# 岩手県立 遠野高等学校

所在地 〒028-0525 遠野市六日町3-17  
電話 0198-62-2823 FAX 0198-62-2805

校長 三浦 立 生徒数 314名  
副校長 佐藤 新一 職員数 40名

## ●主な沿革

明治34年 岩手県立遠野中学校として六日町（現地）に開設  
大正14年 創立25周年記念式典を挙行  
昭和5年 創立30周年記念式典を挙行  
昭和15年 創立40周年記念式典を挙行  
昭和23年 岩手県立遠野第一高等学校と改称  
昭和24年 遠野第一高等学校と第二高等学校が統合、岩手県立遠野高等学校となる  
昭和26年 創立50周年記念式典を挙行  
昭和33年 農業科設置  
昭和35年 創立60周年記念式典を挙行  
昭和38年 商業科設置  
昭和39年 農業科が県立遠野農業高等学校として独立  
昭和39年 3期に分けて新校舎竣工  
～45年  
昭和45年 鋼板高床式プール完成  
昭和46年 創立70周年記念式典を挙行  
昭和49年 城西会館竣工  
昭和56年 創立80周年記念式典を挙行  
昭和59年 商業科産振棟、第2体育館、格技場竣工  
平成元年 グラウンド改修工事竣工  
平成3年 創立90周年記念式典を挙行  
平成4年 商業科閉科  
平成8年 新校舎改築工事着工  
平成10年 新校舎竣工（県立高校初の瓦屋根校舎）  
平成12年 セミナーハウス（城西会館）竣工  
平成13年 創立100周年記念式典を挙行  
平成14年 創立100周年記念事業「哲学の庭」竣工  
平成19年 第1体育館竣工  
平成22年 情報ビジネス校閉校  
平成23年 創立110周年記念式典を挙行  
令和元年 文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」（地域魅力化型）アソシエイト校指定  
～3年  
令和3年 創立120周年記念式典を挙行

## ●地域の状況

鍋倉城址の西、旧桜馬場に位置し、武家屋敷跡や愛宕神社が近くにある落ち着いた環境で、威風堂々とした瓦屋根の校舎が勉学に相応しい雰囲気醸し出している。遠野地域の教育の中核としての歴史と伝統をもち、学業はもとより、部活動や様々な活動において活躍し、有為なる人材を数多く輩出している。

## ●教育目標

教育基本法及び学校教育法に基づき、次のような人間の育成を目標とする。

- 1 豊かな知性と人間愛をもつ人
- 2 高い徳性と美を求め心をもつ人
- 3 強い体力と自主・自律の精神をもつ人

## ●校訓 「修徳尚武」

徳を修め、武を尊び、心身ともに豊かになること

## ●校是 「師弟一如」

先生と生徒が一つとなって、真理を探究し校訓を実践すること

## ●目指す学校像と行動指針

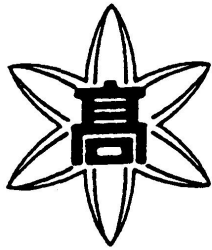
〈目指す学校像〉～魅力あふれる学校であるために～

- 1 生徒が輝く学校
- 2 満足度の高い学校
- 3 地域と共に歩む学校

〈行動指針〉～生徒も教員も生き生きと活動するために～

生徒：グローバルに考え、ローカルに行動し、未来を切り拓いて行く力を身につける。  
教員：生徒の多様な能力の開発と伸長を追求し、自らも学び続け、資質の向上を図る。

- 「確かな学力の育成」を目指して全校を挙げてICTを活用するなど、質の高い教育活動を行っている。
- 運動部・文化部ともに活発に活動しており、中でもサッカー部は、強豪として知られている。他にも陸上競技部や弓道部が全国的な活躍をしている。
- 総合的な探究の時間は、「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」を実施し、高い評価を得ている。
- 対外交流事業を推進しており、海外高校生の受け入れや生徒の海外派遣も充実している。
- 伝統行事として、他に類を見ない「うさぎ狩り」を隔年で行っている



# 岩手県立 遠野緑峰高等学校

所在地 〒028-0541 遠野市松崎町白岩 21-14-1  
電話 0198-62-2827 FAX 0198-62-2828

校長 高橋 堅 生徒数 128名  
副校長 佐藤 紀文 職員数 41名

## ●主な沿革

昭和23年 県立遠野第一高等学校土淵分校として開校  
昭和31年 普通科から農業科に学科変更  
昭和32年 現在地に新校舎落成移転  
昭和33年 全日制課程農業科設置  
昭和39年 県立遠野高校より分離独立、県立遠野農業高等学校となる  
昭和55年 新校舎落成並びに創立30周年記念式典  
昭和63年 創立40周年記念式典挙行  
平成2年 情報処理科新設（1学級募集）  
校名を岩手県立遠野緑峰高等学校と改称  
平成3年 アメリカ・テネシー州チャタヌーガCSAS校に生徒派遣（第1回）  
平成4年 総合農業科・生活科学科各1学級を募集停止し、生産技術科を新設（1学級募集）情報処理科2学級募集  
平成10年 創立50周年記念式典挙行、第49回日本学校農業クラブ連盟全国大会プロジェクト発表Bの部 最優秀賞農林水産大臣賞受賞  
平成12年 第51回日本学校農業クラブ連盟全国大会プロジェクト発表Bの部 最優秀賞農林水産大臣賞受賞  
平成13年 岩手県教育表彰（実績顕著者学校教育）  
情報処理科1学級募集  
平成14年 第12回全国産業教育フェア意見・体験発表大会 文部科学大臣奨励賞受賞  
平成20年 創立60周年記念式講演会  
第59回日本学校農業クラブ連盟全国大会家畜審査競技の部最優秀賞・農林水産大臣賞受賞  
平成22年 第40回岩手県高等学校生徒商業研究発表大会第1位  
平成23年 岩手県高等学校珠算・電卓競技大会新人大会電卓団体の部優勝  
平成24年 岩手県高等学校珠算・電卓競技大会電卓団体の部優勝、新人大会電卓団体の部優勝  
平成26年 草花研究班 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞受賞  
平成28年 岩手県教育表彰受賞  
第3回高校生ビジネスプラン・グランプリ全国大会 優秀賞受賞  
第67回日本学校農業クラブ全国大会プロジェクト発表分野「Ⅲ類」優秀賞受賞  
平成29年 第24回コカ・コーラ環境教育賞  
次世代支援部門 最優秀賞受賞  
平成29年度文部科学大臣優秀教職員表彰受賞  
第3回全国ユース環境活動発表大会  
環境大臣賞受賞  
低炭素杯2018 環境大臣グランプリ受賞  
平成30年 創立70周年記念式典挙行  
第18回環境甲子園最優秀賞受賞  
第8回毎日地球未来賞次世代応援賞受賞  
令和元年 第70回日本学校農業クラブ全国大会プロジェクト発表部門「Ⅲ類」優秀賞受賞  
漬物グランプリ2019 グランプリ受賞  
経済産業省情報処理技術者試験 IT パスポート試験合格

## ●地域の状況

市内を一望できる松崎町白岩の高台に位置し、遠野郷八幡宮など歴史的建造物にも隣接した風光明媚な環境の中、東京ドーム5個分を超える広大な校地で、小鳥のさえずりや四季の移ろいを身近に感じながら、生徒は学習、部活動や特別学習に励んでいる。

## ●教育目標

- 1 未来を切り拓く感性と創造性豊かな人間を育てる
- 2 農業・商業を中心に幅広い産業に対応した実践力を育てる
- 3 郷土・地域社会に貢献する積極的な態度と実践力を育てる

## ●今年度の重点目標

- 1 基本的生活習慣の確立と規範意識を持って行動できる生徒の育成
- 2 いじめ対策委員会の取組みを中核としたいじめの防止
- 3 わかる授業・魅力ある授業の実践と個に応じた指導
- 4 主体的に学ぶ態度の育成と専門研究活動の充実

## ●学科の目標

- 1 生産技術科  
教科「農業」と「家庭」の各分野の学習を通して、自ら課題を見つけ解決できる能力と実践力を育てると共に、地域産業界に対応できる人材を育成する。
- 2 情報処理科  
教科「商業」の各分野の学習を通して、ビジネスについての知識と技術を習得させ、社会人として適切に対応できる能力と態度を育てると共に、地域産業界に貢献できる人材を育成する。

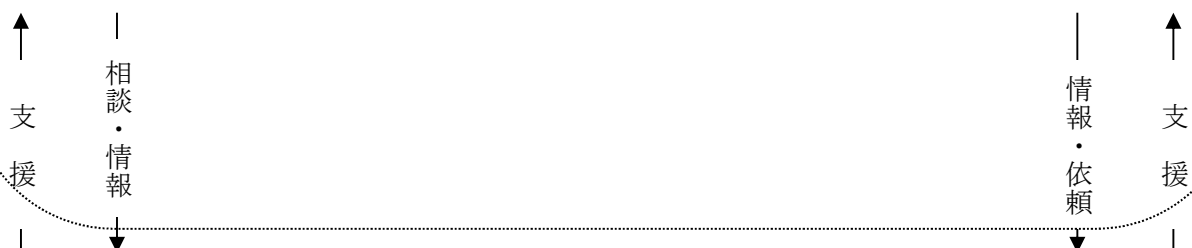
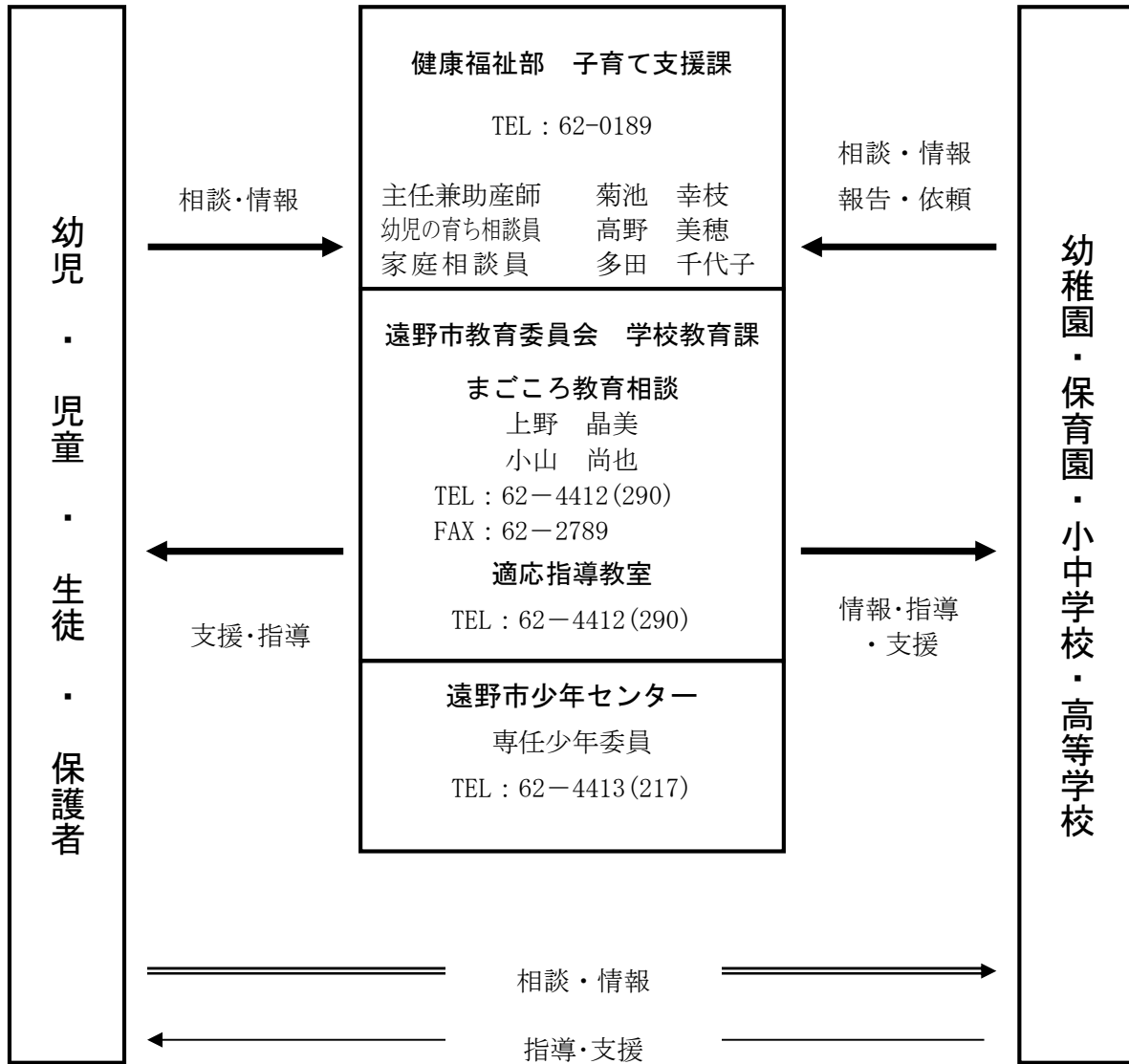
## ●特色ある教育活動

- ・農業クラブ、商業クラブの自主的活動  
（プロジェクト発表会、農家研修、校内意見発表会、チャレンジショップ、各種競技会等）
- ・総合的探究の時間  
（「遠野ゼミナール」郷土をみつめる学習活動、田植え稲刈り実習、農商連携授業等）

遠野市生徒指導推進協議会組織図



# 遠野市教育相談ネットワーク

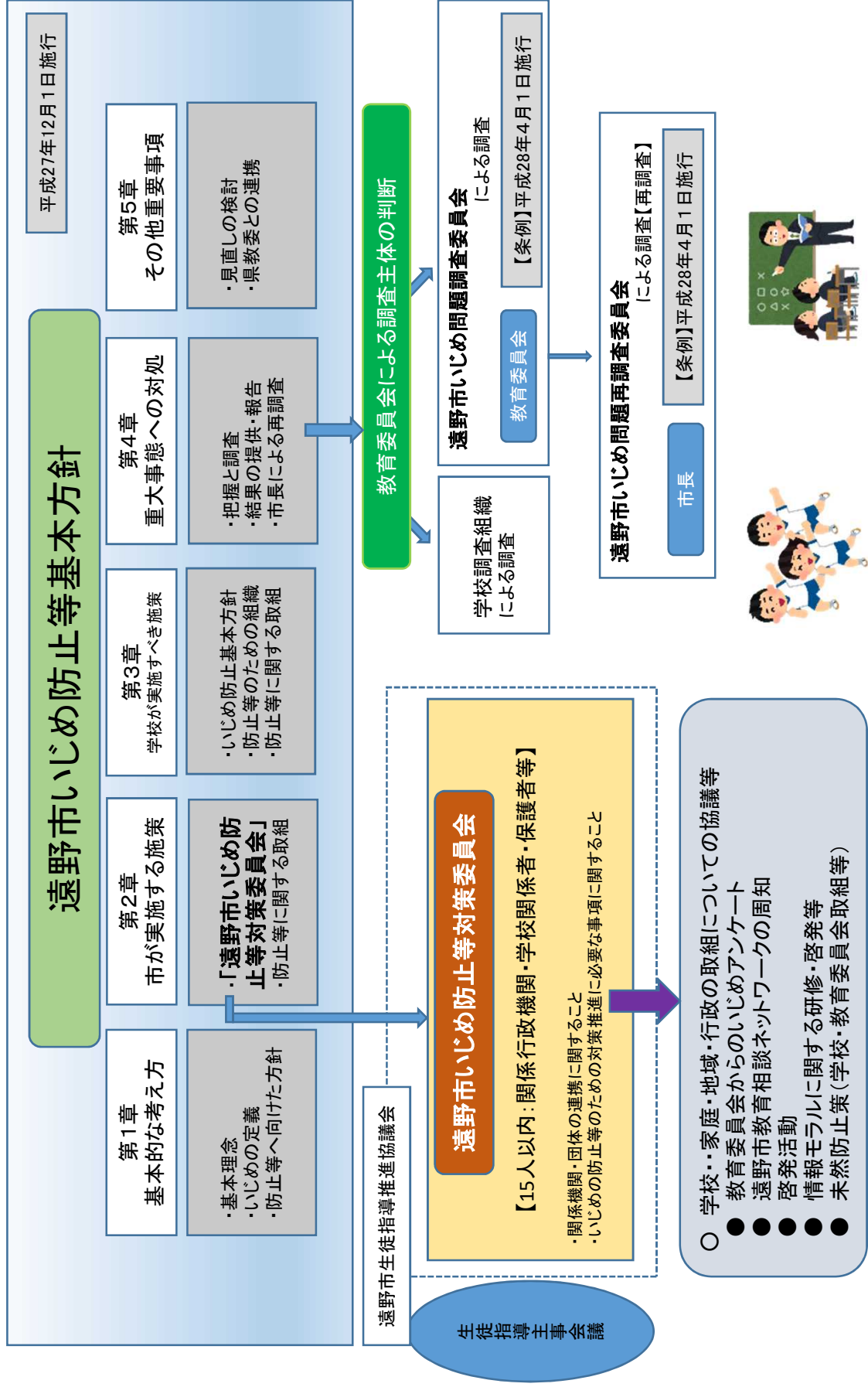


## 関係機関





### ③ いじめ問題への対応について



学校・家庭・地域・行政 みんなで取り組むいじめ防止対策



## 4 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）

「コミュニティ・スクール」＝「学校運営協議会」を設置した学校のこと

### (1) 導入までの経緯

学校運営協議会は、平成16年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」によって創設され、校長が作成する学校運営に関する基本方針の承認等を通じて、対象学校の運営について協議することをその役割とし、任意に設置できることとされていました。

岩手県教育委員会では、このことを受け、「いわて型コミュニティ・スクール」と称し、学校経営の評価が客観的にできるよう、可能な限り数値目標を設定した「まなびフェスト」を作成する取組を進めてきました。

本市においては、平成14年度から各町に地域教育協議会を設立し、小・中学校の地域教育を推進するとともに、開かれた学校づくりや外部評価の役割を担うなど、本市の教育に大きな役割を果たしてきました。

国においては、従来の学校運営に加え、学校に必要な支援に関する事項等を協議することにより、「開かれた学校づくり」から一歩進んだ「地域とともにある学校づくり」を進めるため、学校運営協議会制度の移行を促すことをねらい、平成29年に法改正を行い、任意設置から努力義務化しました。このことから、本市では令和4年度から、全ての市立小・中学校において学校運営協議会制度を導入しました。

### (2) 目的と設置

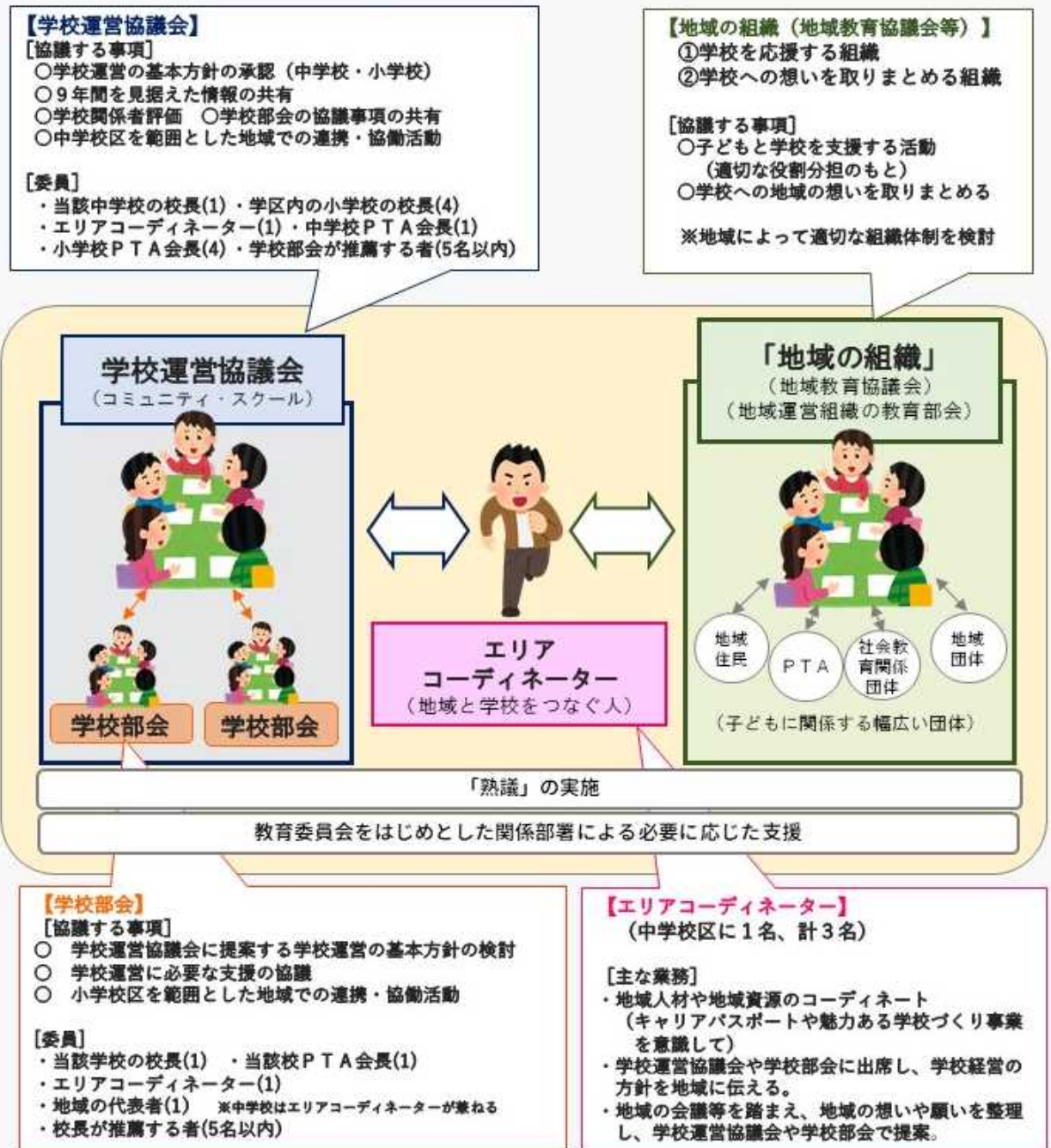
本市は、地域住民の学校運営への参画により、学校や地域を取り巻く諸課題の対応と「遠野のふるさと教育」を推進し、遠野の宝である子どもたちの「生きる力」を育むことについて、今までよりも一歩進んだ取組を進めようと、学校運営協議会を各中学校区で設置しました。

これは、法において「小学校に在籍する児童のうち多数の者が進学する中学校において、これらの学校が相互に密接に連携し、その所在する地域の特色を生かした教育活動を行う場合は、二つ以上の学校について、一つの学校運営協議会を置くことができる」という規定があること、これまで本市において取り組んできた中学校区での学力の向上に係る取組及び、「キャリア教育」の視点で作成した「キャリア・パスポート」に係る取組を踏まえ、義務教育9年間の取組を地域と共有し、学校経営に参画できる体制としたものです。

また、各学校独自の取組や子どもたちの地域理解、文化継承意識の醸成などについては、学校単位での協議により実行に移すことができるよう、学校運営協議会の中に学校部会を併せて設置しました。



### (3) 推進体制と役割



### (4) 導入によって想定される主な効果と令和4年度の取組

学校運営協議会制度の導入によって、児童・生徒においては、学びや体験活動の充実により、自己肯定感や他人を思いやる心が育ち、「生きる力」が育まれます。また、学校では、教職員が地域を知ることにより、教育活動や働き方の改善が図られます。

地域住民は、学校運営に関わることで、自らの知識や経験を子どもたちに伝えることにより、自己有用感を感じるとともに、地域課題の解決につながるなど、地域づくり活動が活発になることが期待されます。

令和4年度は、試行の年として学校運営協議会や学校部会を踏まえた地域学校協働活動の実践と、熟議等を活用した意見の交流や共有に取り組み、PDC Aサイクルにより、制度の成果と課題を明らかにしたうえで、令和5年度につなげることをとしています。

## 5 学校教育課の運営方針と計画

### (1) 運営方針

Society5.0時代の到来やグローバル化の進展など、社会が大きく変化する中、児童生徒が安全で安心な学校生活を送りながら個の能力に応じた指導の充実により生きる力を身に付け、ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材を育成する教育の実現を目指す。

### (2) 重点施策

#### ○ 教育内容の充実

遠野市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」の目標達成に向け、次の5項目に重点を置き教育内容の充実を図る。

- ① 学校経営の質的向上      ② 確かな学力の育成      ③ 豊かな人間性の育成  
④ 健やかな体の育成      ⑤ 特別支援教育の充実

### (3) 施策の概要

施策の重点	施策の内容
学校経営の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校・家庭・地域が連携し取組む内容を示した「まなびフェスト」を協働して実践することにより学校経営の充実を図る。</li> <li>学校運営協議会の設置を推進し、地域に開かれた教育課程による学校経営の充実を図る。</li> <li>校内外の研修機会への積極参加による実践的指導力を高める人材育成と保護者や地域人材及び地域資源の受入により、学校経営の質的向上を図る。</li> </ul>
確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や家庭学習において、児童生徒の学びの個別最適化を図り、一人ひとりに応じた学力を身に付けさせる取組を推進する。</li> <li>GIGAスクール運用に伴いICTを活用した児童生徒の個々の状況に応じた学習の推進と教職員の研究実践の充実を図る。</li> <li>中学校区単位の小中連携した学力向上の取組を継続し、全国標準学力検査等諸調査の分析を児童生徒一人ひとりに反映した学力向上に取り組む。</li> <li>実用英語技能検定の活用と外国語指導助手の配置等により、外国語教育の充実を図る。</li> </ul>
豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権を尊重する心の育成、「特別の教科 道徳」を要としたすべての教育活動を通じて豊かな心を育む教育を推進する。</li> <li>「令和・南部藩寺子屋交流事業」や「魅力ある学校づくり事業」での郷土の歴史や文化の理解、「遠野市キャリア・パスポート」による「ふるさと教育」を柱としたキャリア形成と未来を創造していく人材の育成に取り組む</li> <li>生徒指導上の諸問題への対応として、教育相談体制と指導体制の強化と専門的知見を有する専門家等の人材の積極的活用と配置を図る。</li> </ul>
健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国と比較して、永久歯のむし歯の率と肥満傾向が高い現状にあることから、フッ化物洗口による虫歯予防の継続と各種検診による疾病の早期発見や家庭と連携した生活習慣の定着などの学校保健活動を支援する。</li> <li>体力・運動能力向上を目的とした学校体育や部活動の意義を大切にしながら、部活動指導員を配置し子どもたちの健康を損なうことなく、心身の健全な発達に資する取組みに努める。</li> </ul>
特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼保小中をつなぐ「サポートファイルすてっぷ」の活用を図り、子どもたちと保護者が安心できる環境整備に努める。</li> <li>通常学級に在籍する個別の支援が必要な児童生徒への対応として、特別支援教育支援員の継続配置と研修の充実を図り、支援体制の充実を図る。</li> <li>「聴こえの障がい」がある児童には、障がいに応じた支援システムを導入し、「言葉の障がい」には、ことばの教室の設置や巡回指導を継続する。</li> </ul>

**(4) 主な事業****(事業費は令和4年度当初予算額)**

事業名	事業の内容	事業費(千円)
体育・文化行事奨励費	児童生徒作品展 児童生徒文集「遠野」発行 中総体サッカー競技開催地負担 小学校・中学校体育及び文化団体への補助 中総体等選手派遣費補助	3,930
魅力ある学校づくり事業	魅力ある学校づくり事業 / 実施学校数 14校 遠野わらすっこ「夢の教室」 / 実施学校数 7校	2,616
令和・南部藩寺子屋交流事業	令和・南部藩寺子屋交流事業実行委員会負担金 八戸市への派遣児童数 26名	600
特別支援教育推進事業	特別支援教育支援員の配置 13校 / 19名 学習指導講師 1名	24,864
学力向上対策事業	標準学力検査及び知能検査の実施 / 1回 教育相談員の配置 / 4名 教育研究所全体研修会及び発表会の開催 / 2回 4研究部会による研究活動 ①学力向上研究員部会 ②社会科副読本部会 ③ICT教育部会 ④キャリア教育部会 授業実践交流会の開催 / 3校各1回 指導主事の学校支援	21,495
特定教科集中対策事業	特定教科学習支援員の配置 / 数学学習支援員 4名 外国語指導助手派遣 / 14校 / 3名 / 延べ550回 英検受験対策学習会の開催 / 4回 英検I B Aテストの受験 / 対象：中学1・2年生 実用英語技能検定2～4級の受験 / 対象：中学3年生	22,621

## 6 総務企画部（管財課）／学校総務課の運営方針と計画

### (1) 運営方針

子どもたちが安心して学び、個性や能力を発揮することができる環境づくりを進めるとともに、時代の変化に適切に対応した教育環境の整備を推進し、明日の遠野を担う子どもたちが郷土に誇りを持ち、夢を育むことができる教育行政の実現をめざす。

### (2) 重点施策

- 児童生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送ることができるよう、計画的に学校施設を整備するとともに、公共施設ロングライフ事業により、施設の維持補修を適切に実施する。
- 老朽化により使用できない児童生徒用の机と椅子が増えているため、計画的な更新を進め、安全な学習環境の整備を図る。
- スクールバスの運行について、児童生徒及び運行業者への安全指導を徹底する。
- G I G Aスクール構想により整備をした通信ネットワーク環境及び学習用コンピュータなど、I C T機器の効果的な運用方法について教職員へ支援を行う。

### (3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
学校施設の整備	児童生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送ることができるよう、経営企画部管財課と連携し、施設の環境整備、維持を適切に実施
学校設備の整備	木の温もりに触れ、快適な環境で学習に取り組むことができるよう、木製の机と椅子の整備を実施
通学対策の整備	スクールバス運行について、児童生徒及び運行業者への安全指導の徹底
教材の充実	教材備品、図書、理科教材の充実及びI C T機器の活用支援
教育費の支援	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の世帯への援助

### (4) 主な事業

(事業費は令和4年度予算額)

事業名	事業の内容	事業費(千円)
学校管理	【小学校】 学校施設管理費等	(管) 71,499 (総) 25,193
	【中学校】 学校施設管理費等	(管) 29,259 (総) 12,631
(R3からの繰越) 学校管理	【小学校】 ○鱒沢小学校照明器具LED化工事 ○校長室・職員室空調設備設置工事 校長室…小友、青笹、上郷、宮守、達曾部、鱒沢 職員室…綾織、小友、上郷、達曾部、鱒沢 ○附馬牛小学校及び土淵小学校樹木伐採業務委託	(管) 14,663 (総) 1,840
	【中学校】 ○遠野東中学校樹木伐採業務委託	(総) 1,450
木の温もりに触れる環境づくり事業	遠野北小学校の木製机・椅子の製作業務委託 ※ 令和4年度は半数を更新	(総) 10,154
小学校校舎長寿命化改修事業	小友小学校校舎長寿命化改修実施設計業務委託	(管) 15,048

(R3からの繰越) 小学校屋内運動場 長寿命化改修事業 費	【小学校】 ○小友小学校屋内運動場長寿命化改修 … 工事請負費、工事監理委託料、備品購入費ほか ○達曽部小学校屋内運動場長寿命化改修 … 工事請負費、工事監理委託料、備品購入費ほか	(管) 243,689
通学対策費	【小学校】 ○宮守小学校スクールバスの更新 ※ 現利用バスは遠野西中の達曽部長崎線へ配置替 ○スクールバス等の運行・車両管理 ※ 中型バス 3台 マイクロバス 2台 ワゴン 2台 タクシー 1台 ○通学費助成…等	(管) 16,127 (総) 22,339
	【中学校】 ○スクールバス等の運行 ※ 中型バス 3台 マイクロ 6台 ワゴン 9台	(管) 13,963 (総) 62,347
教材整備費	【小学校】 ○教材備品、児童用図書 ○G I G Aスクール端末等借上料 ○デジタルドリルソフト使用料 ○電子黒板賃借 ○指導用教材…等 ○理科教育備品購入費（鱒沢、遠野、遠野北、綾織）	(総) 58,772
	【中学校】 ○教材備品、生徒用図書 ○G I G Aスクール端末等借上料 ○デジタルドリルソフト使用料 ○電子黒板賃借 ○指導用教材…等 ○理科教育備品購入費（3校）	(総) 23,016
就学援助費	経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の 保護者に対し、学用品費、学校給食費等の援助 令和4年度からオンライン学習通信費の支給要件を拡 充して支給	小学校 (総) 21,149 中学校 (総) 16,563
育英事業	経済的な事由により修学が困難と認められる優秀な学 生に対し、奨学資金を貸与 ○継続分（47名） 21,960千円 大学生等45名、高校生2名 ○新規分（27名） 12,360千円 大学生等25名、高校生2名 ○その他事務費…等	(総) 34,438
公共施設ロング ライフ事業	・学校施設に係る集合修繕委託料	【小学校】 (管) 5,800
		【中学校】 (管) 1,700

※（管）：管財課、（総）：学校総務課の所管事業費を指す。

## 7 学校給食センターの運営方針と計画

### (1) 運営方針

成長期にある児童生徒に栄養バランスとれたおいしい給食を提供し、健全な心と体、生きる力を育む。また、地産地消を進めるとともに、郷土の食文化や地域の農産物への理解を深め、生産者や給食に関わる人たちに感謝の心を育む食育の推進を図る。

第3次遠野市食育推進プラン「とおのっこプラン」(計画期間：令和3～7年度)の施策を総合食育センター「ばすぼる」を推進拠点として展開し、食生活に関する情報提供と健康的な食習慣の定着を図る。

### (2) 重点施策

- 安全安心な学校給食の提供
- 給食メニューの充実
- 地産地消と食育の推進
- 食育活動の推進と支援
- 食育推進ネットワーク会議による総合的な食育活動と研修会の実施
- 給食食材費(賄材料費)の一部を市が負担

### (3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
安全安心な学校給食の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校給食衛生管理基準」に基づき、衛生管理の徹底を図る</li> <li>・調理配送業務受託業者、食材納入業者、学校などの給食関係者と連携し、安全衛生管理の徹底と、安全安心な給食の提供に努める。学校給食で使用している食材の野菜の残留農薬検査を実施する。</li> <li>・学校給食摂取基準に基づいた給食の提供に努める。</li> </ul>
給食メニューの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に応じた遠野産の食材を使用した給食メニューや児童生徒の希望メニューの提供など、学校給食メニューの充実を図る。</li> <li>・旬の果物やデザートなど、子どもたちが楽しく、季節を感じる献立の提供に努める。</li> <li>・市における食物アレルギー対応マニュアルに基づき、主菜の食物アレルギー代替食の提供を行う。</li> <li>・「給食だより」の充実を図るとともに、ホームページや遠野テレビを活用した情報発信に努める。</li> <li>・保護者や市民に給食試食会や施設見学を通して、学校給食への理解を深めてもらうよう努める。</li> </ul>
地産地消と食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野市産直連絡協議会等と連携し、地元の農畜産物や食材を積極的に使用するとともに、食材の安全・安定確保を図る。</li> <li>・学校給食を支える人たちとの共食を通じて食育の推進を図る「交流すまいる給食」を実施する。</li> </ul>
学校給食費の収納対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費の期限内納付の促進や滞納保護者に対して、訪問等により納付を促すとともに、長期滞納者には児童手当からの支払方法等の相談など、学校との連携のもと、滞納解消に努める。</li> </ul>
食育活動の推進と支援	<p>子どもから高齢者まで、生涯にわたり明るく充実した生活を送るため、「食」が基本であることの認識に立ち、食に関する知識や食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるように支援する。</p>
食育推進ネットワーク会議による総合的な食育活動	<p>食育を効果的に推進していくため、関係者、関係団体等で構成する「遠野市食育推進ネットワーク会議」を中心に、食育に関する情報の共有化を図り、相互の連携・協力により食育推進活動を展開する。食育推進協力店登録事業の取組を進める。</p>



## (4) 主な事業

(事業費は令和4年度当初予算額)

事業名	事業の内容	事業費(千円)
学校給食事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食供給人員 1,907人</li> <li>・小学校年間給食回数：168食（米飯128回 パン40回）</li> <li>・中学校年間給食回数：168食（米飯128回 パン40回）</li> <li>・年間給食費               <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生 42,840円(255.00円/食)</li> <li>小学校教員 49,220円(293.02円/食)</li> <li>中学校生徒 50,150円(298.52円/食)</li> <li>中学校教員 58,880円(350.52円/食)</li> </ul> </li> <li>・年間賄材料費（給食費に上乘分）               <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生 47,370円(27円/食 4,530円/年を市が負担)</li> <li>中学生生徒 58,880円(52円/食 8,730円/年を市が負担)</li> </ul> </li> <li>・主菜の食物アレルギー代替食の提供</li> <li>・希望メニューの実施 各学校年1回</li> <li>・地場産物使用割合目標 66.0%</li> </ul>	213,827
交流給食事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交流すまいる給食の実施（3回実施） 児童生徒が生産者及び給食にかかわる関係者と一緒に給食を食べ、対話を通じて郷土の食文化や農産物への理解を深める。</li> <li>※ 新型コロナウイルス感染症対策により中止の場合あり</li> </ul>	
ばすぽる推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ライフステージに応じた食育事業の実施 とおのっこプランに基づく年代ごとのライフステージに応じて、主に学童期から壮年期の食育事業に取り組む。               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学童期：望ましい食習慣の定着 ちびっこ栄養教室、親子で学ぶ食育講座</li> <li>(2) 思春期：自立に向けた食生活の基礎づくり 中学生食育講座、高校生健康講座、郷土料理伝承講座</li> <li>(3) 青年期：健康的な食生活の実現 若者対象食育講座、子育て世代の食育講座</li> <li>(4) 壮年期：健康的な食生活の実践 食生活改善推進員育成、食改善普及講習会</li> </ol> </li> <li>○ 食育の祭典の開催 市民の食を通じて健康づくりの関心を高めるとともに、食育の拠点施設である総合食育センターの活用をピーアールする。</li> <li>○ 総合的な食育推進に伴うネットワーク会議の活動展開 市内関係機関、関係団体と連携を図りながら、一体的な食育を推進する。また、会員を対象に研修会を実施する。</li> <li>○ 食育の周知 遠野テレビ、ホームページ等を活用し、「食育月間」「食育の日」など食育に関する情報を市民に発信し、周知を図る。</li> </ul>	1,282
総合給食事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者の見守りを兼ねて、宅配弁当を提供することにより、高齢者の福祉の向上を図る。 実施主体：遠野市社会福祉協議会 提供予定：週3日 1日約50食</li> <li>○ 遠野市生きがい活動支援通所事業（サテライト）に弁当を提供する。（週5日 1日約20食）</li> </ul>	健康福祉部 所管事業

## 8 社会教育行政（市民センター生涯学習スポーツ課）の運営方針と計画

### (1) 運営方針

第2次遠野市総合計画後期基本計画のもと、生涯学習や国際交流の推進、スポーツの振興と共生社会の実現に向け、市民一人ひとりが、自ら進んで学び、芸術文化に触れ、生涯スポーツに取り組むなど心豊かで健康的な生活をおくるための支援に当たるとともに、郷土を愛し支えていく人材の育成を推進し、夢と誇りを育む学びのまちの実現を目指す。

### (2) 重点施策

- 社会教育の充実と芸術文化活動の推進
- 学校と地域の連携・協働
- 国際交流の推進
- スポーツの推進と共生社会の実現

### (3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
社会教育の充実と芸術文化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターや地区センターを拠点として、市民のニーズや地域課題の解決につながる学習機会の提供に努めるとともに、家庭における教育力の向上を図るため、家庭教育の課題に即した学習機会の充実を図る。</li> <li>・社会教育を基盤とした「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に向けた人材育成の取組みを図る。</li> <li>・芸術文化活動の推進のため、優れた芸術に触れる機会の充実や市民の芸術活動に向けた支援を図る。</li> </ul>
学校と地域の連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域総掛かりによる教育を図り、子どもたちの生きる力を育むため、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動の一体的推進を図る。</li> </ul>
国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際的な視野を持ちグローバルに活躍できる人材の育成を図るため、国際理解講座等を開催し、より多くの市民が参加できるよう充実を図る。</li> </ul>
スポーツの推進と共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がそれぞれの体力や年齢、目的等に応じて、いつでもスポーツに楽しむことができる生涯スポーツの推進とともに、パラスポーツを通じた障がい理解の機会創出による「心のバリアフリー」の推進により、共生社会の実現を図る。</li> </ul>

### (4) 主な事業

（事業費は令和4年度当初予算額）

事業名	事業の内容	事業費(千円)
学びのまちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センター、地区公民館等を会場とした社会教育及び生涯学習講座の開催の支援（資質向上に向けた研修等）</li> <li>・広報遠野や市ホームページ等を活用した生涯学習情報の提供と「学びの出前講座」の開催</li> <li>・家庭教育ゼミナールの開催</li> <li>・社会教育関係団体の活動支援</li> <li>・生涯学習、芸術文化振興業務の一部を民間（（一財）遠野市教育文化振興財団）へ委託</li> <li>・旧土淵中学校の利活用調査の検討</li> <li>・遠野・花巻連携「まなびキャンパスカード」事業</li> </ul>	49,604

事業名	事業の内容	事業費(千円)
若者と女性の活躍推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次男女共同参画基本計画「と・お・のいきいき参画プラン」の推進と女性団体の支援</li> <li>・「はたちのつどい」の開催と実行委員会の運営支援</li> <li>・若者の活躍推進と青少年団体の活動支援</li> </ul>	1,407
芸術文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の舞台遠野物語ファンタジーの事業費補助</li> <li>・芸術文化協会の事業費補助</li> <li>・市民が優れた芸術に触れる機会の創出（文化芸術による子供の育成事業等）</li> </ul>	2,100
高齢者元気アップ活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人スポーツ大会支援</li> <li>・市老人クラブ連合会活動支援</li> </ul>	3,311
青少年健全育成活動事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少年委員を中心とした、青少年の健全育成・環境浄化活動の実施</li> <li>・再犯や非行の防止に向けた活動の支援</li> </ul>	803
学校と地域の連携・協働推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会及び学校部会の開催</li> <li>・エリアコーディネーターの配置</li> <li>・学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進に資する研修の実施</li> </ul>	5,687
国際交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市等交流事業実行委員会の活動支援（中高生海外派遣交流事業への支援等）</li> <li>・外国人生活文化教育支援事業</li> </ul>	2,670
生涯スポーツ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の活動支援</li> <li>・学校施設開放事業（スポーツ団体等の活動場所）</li> <li>・エクササイズ教室の開催</li> <li>・キッズ元気アップ応援隊事業（就学前児童を対象とした運動教室）</li> <li>・各町体協による健康づくり、町民交流を目的としたイベントの開催（予算は市体協補助金に計上）</li> </ul>	7,545
アスリートスポーツ推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会・スポーツイベント等の開催支援（日本スポーツマスターズ2022岩手大会サッカー競技）</li> <li>・スポーツ振興に係る補助金の交付（市スポーツ少年団、市体育協会、ジュニアスポーツレベルアップ事業、次世代スポーツ選手全国大会等出場補助、スポーツ等合宿支援事業）</li> <li>・児童運動能力アップトレーニング事業（小学校の体育の授業への外部講師派遣）</li> </ul>	13,169
広域連携推進事業（花巻市との連携事業）	児童生徒パラスポーツ体験交流	600
先導的共生社会ホストタウン推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツを通じた障がい理解教室の実施</li> <li>・遠野市共生社会実践事業者研修会</li> </ul>	1,027
公共施設ロングライフ事業費	生涯学習スポーツ施設の集合修繕	500

## 9 文化行政（市民センター文化課 / こども本の森運営企画室）の運営方針と計画

### (1) 運営方針

地域や関係団体と連携して文化資源の収集と掘り起し、調査研究に取り組むとともに、郷土の誇り得る文化の伝承・発展に努め、文化を生かしたまちづくりを推進する。また、遠野の歴史を後世に残し伝えるため、重要文化財千葉家住宅の整備や未来の指針となる新たな『遠野市史』の編さんを推進するとともに、積極的な市民参加を図りながら、郷土の誇りと一体感を醸成し、郷土を担う人材を育てる。更には、本を通して文化を発信する「こども本の森遠野」の着実な運営を推進する。

### (2) 重点施策

- 読書普及活動、図書館の利用促進を図るため、積極的な情報発信に努め、読書ボランティア等と連携し、活発な読書活動を推進する。また、第4次遠野市子どもの読書推進計画に基づき、読書環境と利用者の利便性の向上に努め、生涯学習の振興を図る。
- 柳田國男没後60年に合わせた特別展を開催し、『遠野物語』と遠野の文化の発信に努める。
- 国指定重要文化財「千葉家住宅」の保存修理工事を推進する。
- 市史「資料編」「通史編」「民俗編」の編さんに向け、資料の収集、整理、研究、活用を市民と協働で進める。
- 「こども本の森遠野」の着実な運営体制を推進し、市民皆で育てる持続可能な仕組みを構築する。

### (3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
図書館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書普及活動及び図書館利用の促進とともに、システムを活用し、業務の効率化と迅速化を図る。また、広報紙、ホームページ等により積極的に情報発信を行う。図書館教室等の内容を充実させ、市民に図書館業務への理解を深めてもらう。</li> <li>・学校図書室・読書ボランティア・児童館・福祉施設等と連携し、施設貸出の充実、移動図書館車の効率的運行に努める。</li> <li>・関係機関と連携し、充実した企画展示等を開催する。</li> <li>・読書ボランティア団体等と連携し、情報共有を図り、活発な読書活動を支援し、読書ボランティアの育成を推進する。</li> <li>・映画会等の開催により子どもの視聴覚教育を推進する。</li> <li>・図書の配布時期を早め、早期に家庭で本に触れる機会を提供し、乳児家族に対しての読書推進の周知・啓発を図る。</li> </ul>
博物館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳田國男没後60年に合わせた特別展「遠野物語の世界」、企画展として「京極夏彦のえほん遠野物語原画展」と「遠野物語と山の信仰」を開催し、『遠野物語』と遠野の歴史・文化について、市内外に向けた情報発信に努める。冬季には遠野町家のひな祭りに開催に合わせ特別展「遠野のひな人形」を開催、遠野商工会と連携を図りながら中心市街地のにぎわい創出に努める。</li> <li>・学校教育に対応した「博物館教室」を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。</li> <li>・市民向けに講座を開催し、文化に親しむ機会を提供する。</li> <li>・資料収集、整理、保存に努め、博物館の充実を図る。</li> </ul>

文化財保護調査事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定に向けた文化財の調査を実施し、適切な保護に努めるとともに、説明板の設置など文化財の周知に努める。</li> <li>・ 国指定重要文化財「千葉家住宅」の保護のため、保存修理工事を推進し、主屋の茅葺屋根工事などを行う。修理工事見学会を開催し進捗状況を公開する。古文書などの資料整理を進める。</li> <li>・ 遠野遺産認定制度を推進する。</li> <li>・ 国の重要文化的景観「遠野 荒川高原牧場 土淵山口集落」の保存・活用を図る。</li> <li>・ 郷土芸能の保存伝承を図るため、映像等の記録・保存を継続し、備品整備、公演等に対する伝承活動の支援を行う。</li> <li>・ 埋蔵文化財の発掘調査等に対応する。収蔵資料の円滑な活用を目的として、出土遺物のデータベース化を推進する。企画展、体験教室を開催する。</li> </ul>
遠野文化調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民と協働して人づくりを推進するため、文化情報発信により地域文化の活性化を図る。</li> <li>・ 子ども語り部の認定と「語り部スポット」のこだわりの語り部によるもてなしで、中心市街地の賑わいを創出する。</li> </ul>
「遠野市史」編さん事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市史編さん委員会、各専門部会の会議を開催しながら、「資料編」「通史編」「民俗編」の編さん作業を進める。</li> <li>・ 編さんに関する資料調査や収集、整理を進め、資料を適切に保管する。市史編さん講座等を開催し、人材育成を図る。</li> </ul>
こども本の森遠野運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界的建築家・安藤忠雄氏から寄贈していただいた「こども本の森遠野」の着実な運営を推進するため、「こども本の森遠野を育てる会」をはじめとし更に市民みんなで本の森を育てる仕組みを構築し、地域の底力と世界的発信力を結集した運営体制の推進を図る。</li> <li>また、安藤忠雄氏から「過去を学び、今を考え、未来を想像してほしい」とメッセージをいただいていることから、市としては子どもたちに、ICTを活用した確かな学力の育成と併せて「想像力と創造力」を育む居場所として将来を見据えた持続可能な仕組みを構築する。</li> </ul>

#### (4) 主な事業

(事業費は令和4年度当初予算額)

事業名	事業の内容	事業費(千円)
図書館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 館内図書サービス活動の充実（図書資料・新聞・雑誌のニーズに沿った整備、新聞のマイクロフィルム化、定期的な企画展開催、多読者表彰、図書館教室、研修会等の実施）。</li> <li>・ 館外図書サービス活動の充実（移動図書館車の市内全域での運行、学校図書館等各施設の配架図書の定期的な入替え、まちなか図書館配架図書の充実）。</li> <li>・ 学校、地域における読書ボランティア団体への支援。</li> </ul>	16,639
視聴覚教育振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館、児童館等での定期的な映画会等の開催、学校等への学習教材の貸出しによる映像情報の提供。</li> <li>・ 教材の整備と機材の利用普及。</li> </ul>	255
ブックスタート事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3～5ヶ月児の親子を対象としたブックスタート事業の実施</li> </ul>	275

博物館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展・企画展の開催 企画展「京極夏彦のえほん遠野物語原画展」 4/22～5/22 特別展「遠野物語の世界」7/22～8/30 企画展「遠野物語と山の信仰」10/7～11/23 特別展「遠野のひな人形」2023年2/10～3/5</li> <li>・教育普及活動の実施 通年で市内小中高校生向けの「博物館教室」開催 企画展に合わせたギャラリートークを毎月1回開催 地区センター等を会場とした移動展と解説会を開催</li> <li>・寄託資料の管理、歴史・民俗学関係資料の収集、分類、整理、保管。</li> </ul>	11,966
文化財調査保護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財調査・保護、未指定文化財調査、保護啓蒙活動。</li> <li>・郷土芸能保存継承のための備品整備及び共演会開催への助成。</li> </ul>	1,801
遠野遺産認定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野遺産認定事業の推進（募集、調査、委員会開催、認定、表示板設置、ガイドブック作成）。</li> </ul>	1,518
埋蔵文化財発掘調査事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財の保護、開発に伴う埋蔵文化財包蔵地の発掘調査の実施。</li> <li>・調査記録、出土遺物の適正管理及び仕様台帳の整備。</li> <li>・埋蔵文化財に関する企画展、体験教室等開催。</li> </ul>	12,299
文化的景観保存事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土淵山口集落の保存活用事業及び情報発信事業。</li> <li>・「遠野の景観」保存調査委員会開催。</li> </ul>	901
重要文化財千葉家住宅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定重要文化財「千葉家住宅」の保護のため、保存修理工事を推進し、主屋の茅葺屋根工事などを行う。修理工事見学会を開催し進捗状況を公開する。</li> <li>・古文書等資料の整理。</li> </ul>	224,459
遠野文化調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野市教育文化振興財団への文化発信事業業務委託。</li> <li>・こども語り部認定、2カ所の語り部スポット運営支援。</li> </ul>	8,322
「遠野市史」編さん事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市史編さん委員会の開催、各専門部会（原始・古代・中世、近世、近現代、民俗）運営。</li> <li>・資料の調査、収集、整理及び市史編さん講座等開催。</li> </ul>	10,189
こども本の森遠野運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着実な運営体制の更なる推進</li> <li>・開館1周年記念事業の実施及び「こども本の森中之島」及び「こども本の森神戸」との連携</li> <li>・市内外の教育関係機関、震災関連施設、観光関係機関等との連携</li> <li>・来館者を増やすための継続的な発信と寄附募集</li> <li>・イベントの開催 月2～3回</li> </ul>	19,685

## 10 少子化対策・子ども・子育て支援（健康福祉部子育て支援課）の運営方針と計画

### (1) 運営方針

第2次遠野市総合計画後期基本計画の将来像の実現に向けて計画している施策を展開するとともに、「第2次遠野わらすっこプラン」の中間年となることから、これまで2年間の成果と課題を的確に捉え、各施策を進化させながら「出産から子育てまで切目のない施策」を着実に実行するとともに、急速に変化する社会情勢や世界規模の感染症拡大など、新たな脅威に対応した施策に取り組む。

### (2) 重点施策

- 少子化対策・子ども・子育て支援総合計画の推進
- 子育て支援の充実
- 保育環境の充実
- 児童の健全育成
- ひとり親家庭等への支援の充実

### (3) 施策の概要

主要な施策	施策の内容
少子化対策・子ども・子育て支援総合計画の推進	わらすっこプランに基づき、市内の子どもや保護者だけでなく、子どもの権利を保障する大人（保護者、地域、学校、事業所）も対象とした子育て支援施策事業の推進
子育て支援の充実	小さな拠点による地域づくりの中で、子どもの幸せを第一に考えて、子育てをしているすべての人が安心してゆとりのある子育てができるよう、地域における多様な子育て支援を推進 独身男女の出会いの機会増大と結婚への機運の醸成を図る施策の推進
保育環境の充実	保護者の就労や出産等のため児童を保育できないと認められる保護者等に代わって、保育所において児童の保育を実施 私立保育所、認定こども園、幼稚園機能の円滑な運営のため、運営費の助成による保育及び幼児教育の充実 老朽化した保育所等施設の計画的な整備による保育環境の充実
児童の健全育成	老朽化した児童館や児童クラブを計画的に整備し、子どもたちが健全に育つことができる環境づくりを推進 遠野市子ども家庭総合支援拠点を運営し、市要保護児童対策地域協議会を組織する福祉、保健、医療、教育等の関係機関との連携のもと、子どもやその保護者に寄り添った継続的な支援による児童虐待の発生防止と早期対応
ひとり親家庭等への支援の充実	ひとり親家庭の現況やニーズの把握を踏まえた、関係機関との連携による総合的な支援の推進

## (4) 主な事業

(事業費は令和4年度当初予算額)

事業名	事業の内容	事業費(千円)
未来へつなぐこども家庭支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども家庭支援員(助産師、家庭相談員、女性相談員)の配置</li> <li>要支援児童、要保護児童及びその保護者への支援</li> <li>小児総合アドバイザーの活用</li> <li>要保護児童対策地域協議会の運営(代表者会議1回、実務者会議4回、ケース検討会議随時)</li> <li>離婚・DV等に関する女性相談</li> <li>子育て短期支援事業(児童養護施設、母子生活支援施設、乳児院等へのショートステイ)</li> <li>子育て家庭ヘルパー派遣</li> </ul>	6,832
看護保育安心サポート事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>病児等保育施設「わらっぺホーム」運営業務委託</li> <li>病児等保育施設「わらっぺホーム」運営巡回指導業務委託</li> </ul>	13,762
わらすっこの療育支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育教室(のびっこ教室、ジャンプ教室、幼児ことばの教室)の運営</li> <li>臨床心理士による出張心理相談・施設支援等</li> <li>難聴児補聴器購入費助成</li> <li>障害児通所給付費等支給(放課後等デイサービス、障害児相談支援)</li> <li>のびのび子育て応援事業(日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業を利用した小学生または特別支援学校小学部児童の自己負担分助成)</li> <li>花巻清風支援学校本校へのスクールバス運行</li> </ul>	45,131
わらすっこの居場所事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館指定管理委託 7カ所(遠野、綾織、白岩、上郷、青笹、宮守、附馬牛)</li> <li>児童クラブ運営業務委託 4カ所(土淵、小友、鱒沢、達曽部)</li> </ul>	118,654
児童扶養手当給付費	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童扶養手当法に基づく児童扶養手当の給付</li> </ul>	97,954
保育所等運営事業費(保育所運営委託)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所運営委託(市内13カ所及び広域利用)</li> <li>認定こども園運営費負担(市内1カ所及び広域利用)</li> <li>子育てのための施設等利用給付</li> <li>教育・保育施設副食費助成</li> </ul>	960,254
保育所等運営事業費(保育所設置者運営)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別保育事業業務委託(障害児保育事業、保育所地域活動事業、地域子育て支援拠点事業、延長保育事業、一時預かり事業)</li> <li>遠野市保育協会運営事業費補助</li> <li>子育て環境育成事業費補助(企業内託児施設運営費助成)</li> </ul>	59,389
みんなで応援子育てのまち推進事業費(わらすっこプラン推進事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠野市わらすっこ条例普及啓発事業</li> <li>遠野市わらすっこ支援委員会運営事業</li> <li>遠野市わらすっこ基金事業</li> <li>遠野市いきいき岩手結婚サポートセンター入会登録料補助</li> </ul>	1,150
みんなで応援子育てのまち推進事業費(わらすっこ基金助成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>わらすっこ基金助成事業補助</li> <li>施設使用料サポート事業費補助</li> </ul>	2,727



事業名	事業の内容	事業費(千円)
みんなで応援子育てのまち推進事業費 (わらすっこ応援券交付事業)	・木製写真立てと1万円分のわらすっこ応援券の贈呈 (130人分)	1,843
ファミリー・サポート・センター推進事業費	・会員制による育児依頼・援助活動 ・会員向け研修会の実施	3,821
新型コロナウイルス感染症予防対策事業費	・子育て施設ヘルパー派遣(保育所、幼稚園、認定こども園、児童館、児童クラブ、放課後等デイサービス事業所)	2,228
保育施設等感染症対策事業費	・市内保育所等に対する消毒等衛生用品の配布	3,120
ひとり親家庭総合支援事業費	・母子生活支援施設入所業務委託 ・高等職業訓練促進給付金 ・高等職業訓練修了支援給付金 ・自立支援教育訓練給付金	2,824
児童館施設整備事業費	・小友児童クラブ改修工事 ・達首部児童クラブ改修工事	30,514
遠野北小学校エリア子どもの居場所づくり推進事業費	・白岩児童センター基本設計業務 ・白岩児童センター用地購入等	26,191
幼稚園応援事業費	・私立幼稚園運営費負担(市内1カ所) ・子育てのための施設等利用給付 ・教育・保育施設副食費助成	31,427